

金星文字解読による反重力モーター開発特集

UFO contactee

SINCE 1961
GAP-JAPAN NEWSLETTER



UFO/超能力/宇宙哲学

コンタクティー

金星文字 （シンブンジル） を解読してUFOの推進原理 （ツイントリニティ） を解明！

AUTUMN
1993

122

星々への切符 （反重力モーター開発のカギ）



オメ教授が発見した金星 （？） 文字

不思議な体験連続の人生

私だけが見るUFO

万物は人間の想念に感応する

四感・生命の息・転生



CONTENTS <Dedicated to Space Brothers and Cosmic Consciousness>

〈巻頭言〉 UFOと太陽系	1
金星文字を解読してUFOの推進原理を解明!	2
〈写真〉 奈良公園上空のUFO	松村芳之 7
星々への切符	遠藤昭則 8
〈写真〉 北部チャールストンの円盤	10
オメ教授が発見した金星?文字	久保田八郎 18
GAP短信	21
科学-SCIENCE	22
不思議な体験連続の人生	千葉福造 24
オーラで異星人を見分ける	紙屋光孝 27
私だけが見るUFO(1)	須山有美子 28
私だけが見るUFO(2)	宮本浩子 29
万物は人間の想念に感應する	塩谷信男 31
四感・生命の息・転生	G.アダムスキー 34
〈投稿欄〉ユーコン広場	42
不思議な黄金色の影	加藤純一 44
秋田支部UFO観測会・懇談会成功	45
大盛況の大坂支部大会	46
本誌/『ツクナノバー掲載記事目録	48
〈予告〉1993年度日本GAP総会	49
〈広告〉新アダムスキー全集	50
編集後記	51
日本GAP全国月例セミナー案内	52



金星人からジョージ・アダムスキーに伝えられた金星のシンボルマーク。2個の图形の内、左側は宇宙の父性原理(陽)、右側は母性原理(陰)を意味する。円は宇宙をあらわしている。

GAPについて

GAPは「知らせる運動」という意味の世界的なグループ活動で、世界中の人々がUFOの真相について“知る”機会を与えられるべきであるという見地に基づいて1959年にジョージ・アダムスキーによって創始されました。彼の願いは「最大多数の人が現代の真実を発見して、来たるべき時代に眼を轉じること、人間はすべて“コズミック・パワー”的である」そのパワーの諸法則が宇宙に満ちていてそれを確信をもって知ること」にありました。この諸法則は他の世界(惑星)から来る友好的な訪問者からもたらされた“生命の科学”的理解を通じて体得できます。

日本GAPの目的はUFOとスペース・プラザーズ問題を関心ある人々に伝えることにより、奉仕活動を通じて真実の解明と宇宙の法則の実践を呼びかけることがあります。その中心思想は次のとおりです。

1. この太陽系の他の惑星群には偉大な発達をとげた人類が居住しているが、米ソ等の大国政府はこの真相を隠している。
2. 他の世界から来る人々はこの世界の政治家や科学者とひそかにコンタクト(接触)しており、危機に陥った地球に対して救援の手をさしのべている。官民を問わずスペース・プラザーズとコンタクトしている人々が少數存在すると思われるが、通常その真相は洩らされていない。
3. ジョージ・アダムスキーがもたらした哲学は、人類の精神の向上と地球の輝かしい未来を築くために不可欠のものである。

本誌は他の団体・個人と対立するものではなく、政治・宗教と関係のない非営利刊行物です。本誌が読者に対して多少とも役立てば幸いです。

〈表紙写真〉

1977年7月11日の昼頃、ドイツのブルツブルク郊外に出現したUFOを、ディーター・クロール氏が連続6枚の素晴らしい写真を撮影した最後の1枚。凸レンズのようにふくらんだドーム付きの金属質の物体が接近したところ。

(巻頭言)
UFOと太陽系



四月二二日付の新聞によると、我らの太陽系の最遠方の惑星である冥王星の外側を回っている小天体が発見されたという。これまで冥王星以遠には太陽系に属する天体は存在しないというのが天文学上の定説であつたために、これは太陽系の構造を考え直させる画期的な発見だと国立天文台の学者が述べている。

発見したのはハワイ大学天文学研究所のデイヴィッド・ジューリット教授とカリフオルニア大学バークレー校のジェイン・ルー博士で、ハワイのマウ

ロイド帯によつて加速されるので、距離の自乗に反比例して弱まることはなく、遠い二番惑星までビームが到達して、そこでも地球と同じような温暖な気候が得られるというのである。

今回のハワイ大学の発見は、アダムスキーの太陽系理論の正しさを証明する糸口になるかも知れない。というの外側の小天体にしても、イギリスの権威ある某科学専門誌に掲載されている記事は、あれほどの大発見にしては、かなり簡単なもので、もどかしい思いをして、編者が話したら、その専門誌に掲載される科学記事類は研究結果のほんの一部分などM氏がいう。政府の圧力、または学者自身の隠蔽によって、画期的な発見がガラス張りで記録され、それが大衆に広められ、その結果、人々は「アダムスキー」を疑惑視する自由が人間にある一方、否定的な断言を疑惑視する自由があつてもよい。実は大國政府の宇宙探査における諸発見事は、政治という厚いヴェールのもとに隠蔽されて極秘にされているケースが多いのであって、記者会見で政府のスポーツマンが発表する内容は、完全に歪められているか、または真相の一部分にすぎない、ということをもつと認識する必要がある。

アダムスキーを疑惑視する自由が人間にあり、それは、日本にはチヨンマゲを結つて腰に刀をさしたサムライがまだ存在していると思い込んでいたので、想像を絶する近代的な巨大都市東京に目を回していた。

四月に当方から贈った東京と日本の写真集を見たイギリスのある研究家は「トーキョーでは自動車が空中を走っている。日本人はなんという偉大な賢明な民族なのか！」と、腰を抜かさんばかりに驚いたと言つてきた。高架道路を写真で見て仰天したらしい。

どだい地球人の知識階級さえも狭い地球上の他国のことを見られないのだから、まして大衆にとって別な惑星の文明などは想像外だろう。

だが失望は禁物だ。強烈な信念と希望と絶対に諦めない力、怒濤のパワーをもつてアダムスキー支持活動を続行したい。理解ある多数の方々のご支援をお願いする次第である。

アダムスキーによれば、我らの太陽系は九個の惑星から成つてゐるのではなく、全部で一二個あり、その間にアステロイド帯が二カ所あり、最遠の一
二個目の惑星の外側に第三アステロイド帯があるという。第一アステロイド

帶は火星と木星の間にあり、第二アステロイド帶は海王星と冥王星の間にあ
るといつてゐる。

これら三カ所のアステロイド帶は、
テレビのプラウン管のアノードの役目
をしている。つまりカソードから発射
される電子ビームはそれぞれのアノ
ードによつて加速されながらスクリーン
に到達するが、これと同様に、太陽か
ら放射されるビームも三カ所のアステ
ロイド帶によつて加速されるので、距
離の自乗に反比例して弱まることはな
く、遠い二番惑星までビームが到達
して、そこでも地球と同じような温暖
な気候が得られるというのである。

今回のハワイ大学の発見は、アダム
スキーの太陽系理論の正しさを証明す
る糸口になるかも知れない。というの
は、太陽系の各惑星に関する天文学
でもまだ謎が多く、不可思議な現象が未
解決のまま残されているために、太陽
系の実態は不可解であつたからだ。

アダムスキー問題が一般人の関心の
めにならぬのは、金星は灼熱地獄
で、到底生物の住めるような環境では
ないという金星探査機による「発見」
を、絶対的に正しいと信じ込んでいる
世界の科学者や一般人のナイスを
大國政府が巧妙に利用しているからで
ある。

先日、東京駅前で久しぶりにばつた
り出会つた科学技術者のM氏によると、
四年前アメリカが打ち上げた金星探査

機のマゼランによる観測結果が殆ど發
表されていないので、何がどうなつて
いるのかわからぬといふ。

そういうえば、初めに述べた冥王星の
外側の小天体にしても、イギリスの権
威ある某科学専門誌に掲載されている
記事は、あれほどの大発見にしては、
かなり簡単なもので、もどかしい思い
をして、編者が話したら、その専
門誌に掲載される科学記事類は研究結
果のほんの一部などM氏がいふ。

アダムスキーを疑惑視する自由が人
間にあり、それは、日本にはチヨン
マゲを結つて腰に刀をさしたサムライ
がまだ存在していると思い込んでいた
ので、想像を絶する近代的な巨大都市
東京に目を回していた。

四月に当方から贈った東京と日本の
写真集を見たイギリスのある研究家は
「トーキョーでは自動車が空中を走つ
ている。日本人はなんという偉大な賢
明な民族なのか！」と、腰を抜かさん
ばかりに驚いたと言つてきた。高架道
路を写真で見て仰天したらしい。

どだい地球人の知識階級さえも狭い
地球上の他国のことを見られないのだから、
まして大衆にとって別な惑星の文明など
は想像外だろう。

だが失望は禁物だ。強烈な信念と希望と絶対に諦めない力、怒濤のパワーをもつてアダムスキー支持活動を続行したい。理解ある多数の方々のご支援をお願いする次第である。

An Epoch-making Discovery of the Propelling Power of Space Ships from Other Planets
by Basil Van Den Berg

金星文字を解読し、UFOの推進原理を発見！

★バシリル・バン・デン・バーグ／久保田八郎訳

画期的なフリーエネルギー反重力モーターを開発した研究家の秘話

一九五一年一月一日、米カリフォルニア州デザートセンターで、ジョージ・アダムスキーが金星人と会見してから約一ヶ月後の二月三日、今度はパロマーレ山のアダムスキーの居宅のあるパロマーガーテンズへ超低空で飛来したスカウト・シップ（俗にいう円盤）が、アダムスキーの立っていた場所から三〇メートル以内と思われる位置まで来たとき、円盤の丸窓から手が出て、一枚のネガホルダーを地上へ落とした。

これは一ヶ月前にデザートセンターの砂漠でアダムスキーが撮影したフィルムの一枚をホルダーごと借りて行った金星人が返却に来たのである。現像したアダムスキーは、撮影したはずの円盤のかわりに不思議な文字のようなものと図形が出現しているのを見て驚いた（詳細は新アダムスキー全集第一巻「惑星からの地球訪問者」（中央

アート出版社刊）一二五頁を参照）。）の奇妙な文字は金星文字といわれて研究家の調査対象になったが、容易に意味は判明しなかった。

後日、南アフリカ共和国ノハネスバーグのバシリル・バン・デン・バーグがこれを解読して画期的な反重力モーターを開発し、世界のUFO研究界で大センセーションを巻き起こしたが、後に彼は何者かに拉致されて行方不明となつた。

しかしこの件はこの頃はやりのフリー・エネルギーによる原動機の先駆をなすものであり、しかもUFOといわれる別な惑星から来る宇宙船の推進原理を解明したものとして、重大きわまりない開発であったといわれている。少々古い事柄だが、ここにその記事を掲げて読者の参考に供したい。

なお、この金星文字（実際は文字ではない）をさりに研究解読した日本G

△D.余眞・遠藤昭則氏の「星々への切符」と題する記事もあわせて掲げた。

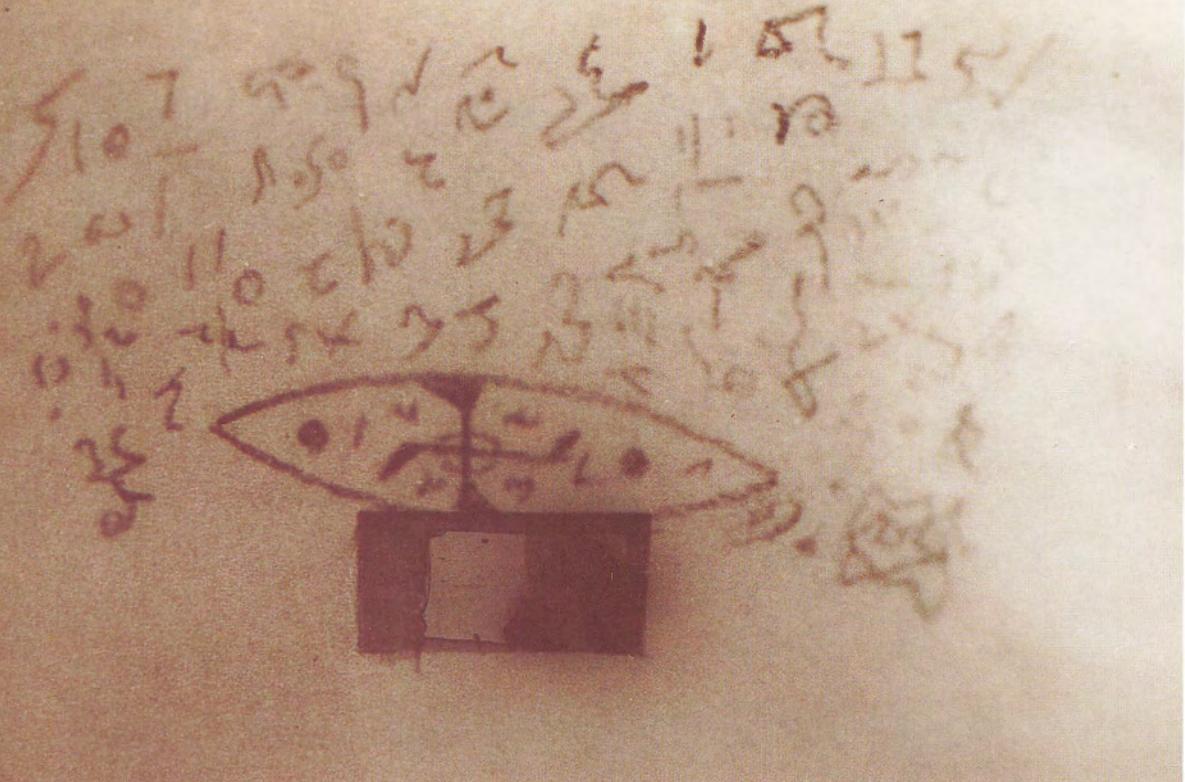
氏は完全に解読して画期的なモーターの開発に成功したと伝えられている。遠藤氏は、かなり以前からこの解説研究に打ち込んでいたが、あるとき、氏が開発した小型のモーターを編者の眼前で実験して見せた。磁石を並べただけのモーターがゆっくりと回転するのを編者は確かに目撃した。

バーグによれば、「あまりに簡単なので『こんな物をどうして七歳の子供でも思いつかなかつたのだらう』といつて科学者は驚くだらう」といふ。

「とにかく簡単な事です。あまりむづかしく考えると、かえつてわからなくなります」と遠藤氏も編者に語つてゐた。もちろん電磁気の知識は必要だが、シンプルな事の中には真理があるのだ。地球人は簡単な物事をあまりにも複雑にしきるが、

世界のできるだけ多くの読者に対してもUFOに関して多数の書物が書かれているが、私自身の発見により心から断言できるのは、あらゆる書物の中でも最重要なのはジョージ・アダムスキー氏の著書だということである。私がこう言うのは、彼は徹底した誠実と正直によって、しかも偉大な勇気をもつて、UFOに関する明白な事実を世界に伝えようと努力したからである。

（著者）久保田八郎



1952年12月13日、パロマガーデンズへ飛来した金星の円盤からアダムスキーに向かって落とされた金星文字。この写真はアダムスキーより、ネガから直接焼いた印画が編者（久保田八郎）に贈られたもの。

重大な意味を含む金星文字

私は自分が読むあらゆる書物の内容について、注意深く賛否両論を考えることなしにウ呑みに信じてしまうような男ではない。両論を考えるときでも私の判断は別にしておく。正当化に必要な証拠なしに他人の言を判断することは賢明でないということを私は知つたので、初めて彼の書物を読んだとき、多くの人がやるよう無造作にアダムスキーを非難することはしなかった。イカサマ師かホンモノかを示す証拠は何もなかつたからだ。

彼の著書を読むに先立つて私のUFOに対する関心はゼロだった。それ以前にUFOのことを聞いたり読んだりしたことはなかつたからである。したがつて賛否のいずれをとるかは何とも言えなかつた。私の興味を呼び起こしたのはアダムスキーの著書に掲載された円盤の写真と、第二次大戦中三時間にわたつて私の乗つた爆撃機を追跡してきた奇妙な物体が驚くほどよく似てゐることだつた。その件については基

私はアダムスキー氏に関しては全く公然と“誠実・正直”という言葉を用いるが、これは科学者と素人の両方に對して、ジョージ・アダムスキーの主張が非の打ち所のない真実なのであると、いう決定的な証拠を私が持つてゐるからである。

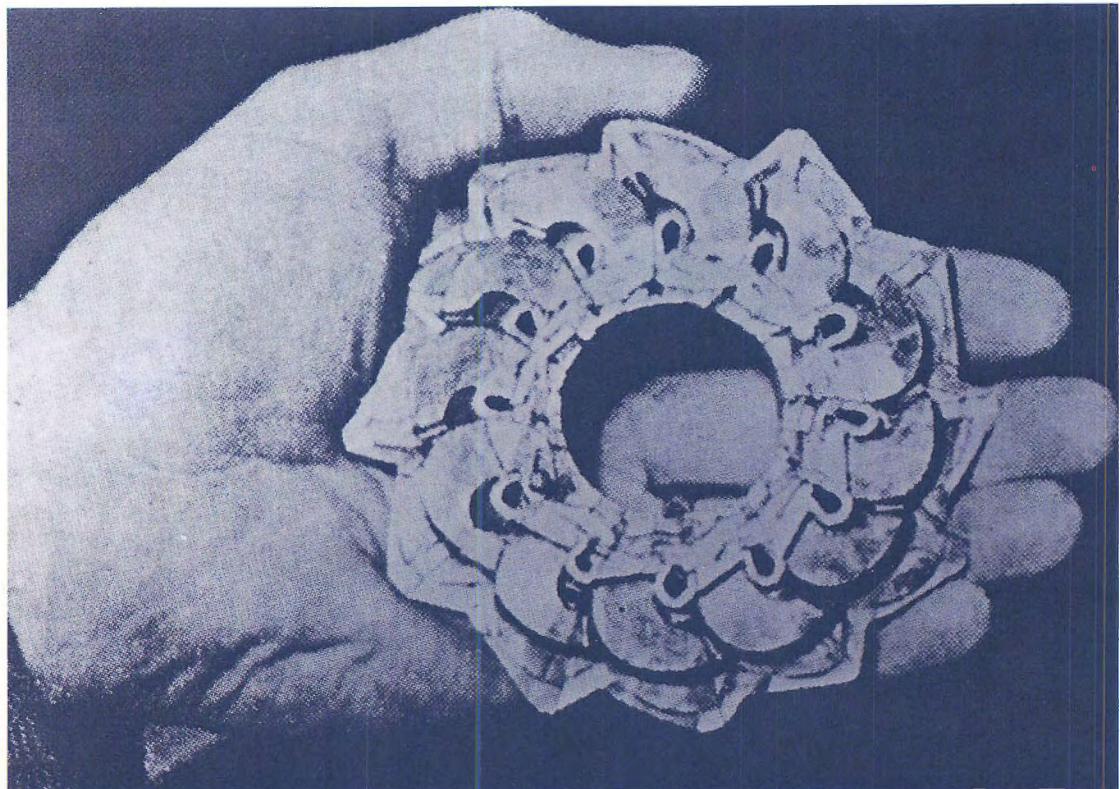
私はアダムスキー氏に関しては全く公然と“誠実・正直”という言葉を用いるが、これは科学者と素人の両方に對して、ジョージ・アダムスキーの主張が非の打ち所のない真実なのであると、いう決定的な証拠を私が持つてゐるからである。

アダムスキーの物語と私の戦争中の目撃とのあいだに何かの関連があるらしいという結論に達してから、私は金星人がそのような乗物からアダムスキーに投げ落とした象形文字のメッセージの写真にすごい興味をおぼえた。

私の意見は次のとおりであつた。もし彼の著書に何か真実があり、私自身の目撃と関連があるならば、この象形文字が何かの解答を与えるかもしれない。

そのとき以来私は長く象形文字と取り組み、確実な意味をもつように各文字を組み合わせようとあらゆる方法を試みた。そしてついに正確な“経路”を発見することに成功した。それを用いれば象形文字が解説できるのである。ここに至つて、これはアダムスキー氏がやつた賢明ないたずらだつたのか、それとも実際に別な惑星の人間によつて彼に与えられた象形文字だつたのかと私は大いに考えた。

このことは真実を発見するのにもつと多くの理由を与えた。なぜならこの象形文字は科学の最大の進歩のための基礎となるかもしれないし、さもなければ時間の浪費になるかもしれないと思つたからだ。そこでアダムスキー氏



▲バーグが開発した画期的な反重力モーター。

一九六二年四月二九日の朝、別な惑星から来た人間とのコンタクト事件がアフリカの一流日曜紙「システム」の大見出しとなつた。この事件におけるコンタクティー（異星人に会つた人）といふのはヨハネスバーグ（注）南アフ

★ フィリップ・J・ヒューマン 異星人に会つていたバーグ氏

英國「空飛ぶ円盤評論」通信員

そのモーターだけはまだ地球で発明されていないし、しかも象形文字によつて解説されたからには大きな疑問が起つてくる。「その象形文字メッセージはどこから来たのか？」。

そのモーターだけはまだ地球で発明されていないし、しかも象形文字によつて解説されたからには大きな疑問が起つてくる。「その象形文字メッセージはどこから来たのか？」。

リカ共和国トランスヴァール州の商業・金鉱の中心地で南アフリカ最大の都市）のバシリル・バン・デン・バーグ氏であった。私はいつもジョージ・アダムスキーリーを信ずる傾向にあり、このコンタクトも主として問題のアダムス

に手紙を出して象形文字の鮮明な写真を送つてくれと頼んだ。著書に出ている写真是鮮明さを欠くからである。写真を受け取つてからあらん限りの力を發揮して各文字から意味をひろい集めよう至難の業にとりかかつた。年月が経過するにつれて次第に意味がわかつってきた。それは地球上のなにびとといえどもいたずらのタネとして用いることなど絶対にできないような情報を伝えたすばらしい知識を示していく。文字は円盤の真相を詳細に伝え、二個の強力な磁気モーターと小型円盤の推進法、内外の詳細な設計などを伝えていた！

明らかにこの地球上の人間からではない。それは子供にでもわかる。科学者がどんなに権威を保とうとしてもこのことは否定できない。しかも科学者は大衆を迷わしているのである。

以上の発見はアダムスキーリーの真実性と別な惑星から来る宇宙の実際的な証拠を生み出したので、アダムスキーリーの線に沿つて、まさしく大衆のものである事実を大衆に伝えたいたいというのが私の意図である。

政府にせよ何にせよ、いかなる干渉妨害を行なうはもう遅すぎる。この種の妨害は数年前に予測され、そのため過去に種々の計画が実行され、眞実が人類にもたらされるのを妨げようとする運動に對立して世界中で極秘裏に実施されたからである。今や世界はこの証拠を有しているし、それは誤っているどころではないので、アダムスキーリー氏は文句なしに弁護されるだろう。

キーの象形文字に基づくものなので、個人的にパン・デン・バーグ氏に会うことに熱中していた。

二人は文通を始めたが、私は彼の謙虚さ、誠実さ、率直さに感銘を受けた。ついに第一回の会見に相互の都合のよい日がとりきめられた。

一九六二年八月二日、木曜日の朝、会見のためにヨハネスバーグのエロフ街を歩いて行くときの私の感情と想念を説明するのは困難である。ある町角に接近したとき一人の背の高いすらりとした親切そうな目付きの男が、流れゆく買物客の列を見つめているのに気づいた。それがバシル・パン・デン・バーグだつた。そのコンタクト実話が南アフリカで大センセーションを起したが、ついには星々への道を切り開くかもしれない魔法の公式を持つていて称するその男と私は握手した。

二人はすぐに好都合な喫茶店を見つけて静かな場所にすわった。私のカバンの中にはアダムスキーの象形文字と驚くほどよく似た象形文字の刻まれた玉石を北部ブラジルで発見したというマルセル・オメ教授の驚くべき記事が載っている。(注)本号18頁の記事を参照)

私は相手があくらんだ折込カバンと奇妙な肩かけカバンを持参しているの気づいた。彼はそのあくらんだやつを調べてみるといつて私に渡した。そ

れはアダムスキーハーの象形文字を解説して発明したモーターの一端である。その物体は鋼製らしい。私がその重量と“生きているように見える”事実を口に出すと彼は微笑して言つた。

「それが生きていることに気づいて下さってうれしいです。ほら、ここに磁石(複数)があります！」

それから彼はきわめて詳細にその重要性を述べて、明らかにその製作に関するばかり大な量の仕事を示すファイアルを開いた。そこには数百の三角形の図面があった。私はいかにもわかつたような顔をしてしばしば偉そうにうなづいたが、同時に相手をあわれんだ。科学的なわけのわからぬ言葉がこちらの無理解な耳に響いてくるからだ。私は思った。

バシル君、キミは救われないやつだなあ。そんなこたあおれには何の意味もないよ！

彼はわかつていたにちがいない。突然次のよう尋ねたからだ。

「それであなたがあれほど見せたいといつていた雑誌は何が載つていてですか？」

ブラジルの象形文字に関するオメ教授の写真を見せたとき相手の反応がどうなるだろうかと思つた。彼は瞬間呆然となつて叫んだ。

「こいつは驚いた！ 全く奇怪なことだ！ 図形がさかさまになつていて、

彼はアダムスキーハーの金星文字の二枚のプリントを取り出した。それは、アダムスキーハーの書物に掲載されている写真をすばらしくきれいにしたものであることがわかつた。続いて彼はアダムスキーハー写真とオメ写真とを比較して、多くの類似点を興奮して指摘した。

二人のお茶はもう冷えていたが、それどころではない。

「この雑誌を私にゆずつて下さい。拡大鏡でもっと調べたいんです」と彼は懇願した。

「喜んでゆりますよ。だが時間がきた。ステム誌の人たちを待たせるわけにはゆかない」

同誌も私がヨハネスバーグに来たことを知つており、我々二人とインタビューブラジルにて、アダムスキーハーはアダムスキーハー写真の立体的な内容と、拡大鏡で文字を調べるたびに新しい意味を発見した様子を説明した。

「与えられた細目のすべては無限であるように思われます。アダムスキーハーの写真に彼らの意味を含ませることができることはこの金星人たちはすばらしい学者であるにちがいない。私は符号を解説するのに昼夜努力しました。たびたびやめようかとも思いましたが、まもなくモーターを作りました。す

べての細目はそこにありました。最初のモーターが準備できた日を決して忘れません。完全に作動しました。その日は私の誕生日でした。それから“ラザーズ(異星人)”に出会つたのです

二人はステム社に近づいたのでそれ以上に詳細を聞こうとはしなかつた。地下から印刷機の音が聞こえてくる。私は三〇年前に自分が印刷所で働いていた頃を思い出した。当時は罪な空飛ぶ田盤など知られてはいなかつたのに

やがて二人は広々とした事務所へ案内された。型どおりの紹介の後、私は非常な不安をもつて席についたが、それはいうものの円盤とそれを操縦する人たちを防衛する立場に立つことを名誉に思つた。心配する必要はない。私ははじめな友人たちの集まりの中にいる。彼らも“信ずる人”なのだ。

それは面白い体験で、インタビューは三時間近く続いた。またもオメ教授が議論的になり、私の貴重な専門誌がもう一度持主を変えることになつた。翌日の日曜日に掲載される記事に写真をつける必要があるからだ。

このステム社の人たちが示したように、あらゆる新聞のあらゆる編集者が円盤、特にその専門誌に興味を示してくれればよいがと思う。

うれしかつたのはインタビューのあいだパン・デン・バーグ氏が私の意見や評言を支持してくれたことである。

また私はこのおだやかな気取らない
"やり手"がステム編集陣から明らか
に尊敬されているのに感動した。

数時間後私はバン・デン・バーグ氏
をバスまで見送ったが、ついにコンタ
クトの件については語らなかつた。読

者に想像してもらうには彼の手紙を引
用するより他に仕方がない。

「現段階ではつきりさせたい点は私と
プラザーズとの会見に関して生じたス

テム誌編集者による誤解です。最初の
コンタクトではプラザーズはただ象形

文字の解説において私を正しい軌道に
もどそうとしただけでした。五年たつ
てから私は動搖し混乱していたからで
す。その五年間にモーターはすでに完

成していました。

二度目のコンタクトは短時間で行な
われ、第一回目のコンタクトを確証し
ただけです。うわさとは違つて、プラ
ザーズは自身のスケッチを持参したの
ではなく、また象形文字の解説を全然
助けてくれませんでした。くり返しま
す。プラザーズはただ従うべき正しい
道を指摘しただけです。私は正道から
はずれていて、自分の感情に頼つてブ
ラザーズとのレパシックな交信力を
失つていたからです。それがプラザー
ズの来訪の唯一の目的でした。

それ以来私は多くの解決をなしとげ、
自分自身の努力によつてばく大な知識
を獲得しました。プラザーズは"感情
による妨害"の愚かしさを教えてくれ、

以来私は感情に対しても警戒的となり、
こうして互いのテレパシー交信路を
確立させたのです。

私の目的はアダムスキーハー氏の真実性
と、あの象形文字はこの世界のもので
ないことを万人に立証することにあり
ます。私は象形文字のことを隠したま
ま『あの発明は自分一人でやつたのだ』
とウソをつこうと思えば容易にできま
す。そうすれば地球上のだれ一人とし
てそのウソに気づかないでしよう。ア
ダムスキーハーさえも!』

私は常にジョージ・アダムスキーハーを
信じていたが、同様にバシル・バン・
デン・バーグをも信ずるものである。

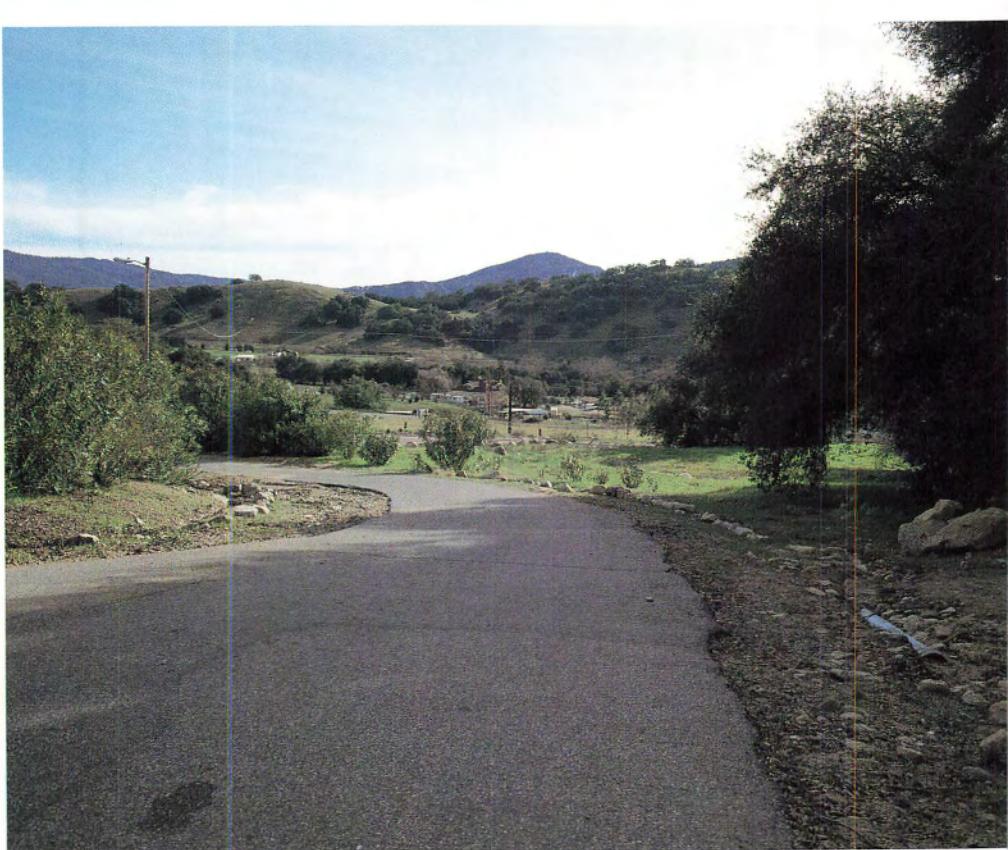
編者注

バン・デン・バーグ氏が円盤のモー
ターと同様な重力を遮断する画期的な
二個のモーターを発明したのは一九六
二年頃のこと、それは金星文字を解
読し、更に金星人とコンタクトしてア
ドバイスを受けたためであるといわ
れる。このモーターは磁石（複数）で
作動するもので、外部からの電気エネ
ルギーは必要としないという。

彼はこれを一九六三年に米国へ持つ
て行き一八カ国の科学者団に公開する
予定であったが、その前に謎の失踪を
とげた。何者かに拉致されたといふ噂
もあるが、詳細は不明である。発表す
るなどいうアダムスキーハーの警告を無視
した結果ともいわれている。

▶パロマーガーデンズの入り口。一九五二年一二月一三日に飛した円盤は、中央道路の曲がった
部分の位置あたりにネガホールダーを落としたと編者は聞いている。その後円盤は超低空で写真
中の彼方の家の上をかすめて、さらに後方の丘の上を越えて青空へ飛び去つた。この家は近年建
てられたもので、当時はそこに古い家があり、アダムスキーハーの助手のベーカー退役空軍軍曹が住
んでいて、円盤が接近した時に撮影した。その写真は新アダムスキーハー全集第一巻「第二惑星から
の地球訪問者」に掲載されている。

撮影／久保田八郎



奈良公園上空のUFO

文と写真／松村芳之

平成5年5月3日大阪支部大会で久保田会長講演中、午後2:30頃、講演の写真撮影をしていた私は後方でのカットを撮り終えてポジションを前方へ移した。1回目のシャッターを押したところ、なんと連続3カットのシャッターがおりてしまった。ピックリである。2回目は正常に切れた。3回目はまたも今度は連続2カットである。シャッタースイッチは連続にも出来るが、1コマ巻き上げでセットしてあったので、1回目のシャッターで連続シャッターが切れるモードにするには、カメラ裏フタのデータバックの操作ボタンカバーを開けて更にいろいろとセットしてからでないと出来ない。当然この時はこの様なセットはしていなかった。

当惑してしまったが、もしや上空に円盤が来ているのではと思い、望遠ズームレンズをセットして急ぎ会場外の公園に出た。あたりを見回すが目指す円盤はいない。いつもの癖で写って欲しいと念しながら四方の空を次々と撮ることにする。1回目のシャッターを切ると、また例のごとく3カット連続、2回目も3カット連続。ほとほと困ってしまう。カメラ本体の電池とデータバックの電池をはずして入れ直し正常に戻った。

この写真は、2回目の2カット目に写っていた物体(上部中央)。1カット目には移っていないので、約3分の1秒の間に出現したことになる。ちなみに、方向の異なる1回目写真の1カット目にも同じ様な物体が写っている。2カット目と3カット目には写っていない。

【データ】ニコンF4/AF-E口
80~200mm / 2.8D→200mm相当オート/フジ・スーパーG (ASA400・ネガカラー)



From Adamski's Photographic Plate, I Have Discovered the Secret of Saucers' Working Method of Propulsion
by Akinori Endo [GAP-Japan]

異々くの切符

★遠藤昭則

(日本GAP 東京本部役員)



GPOの推進原理を発見したもう一人の男

去る五月九日の東京月例セミナーで、日本GAP 東京本部役員の遠藤昭則氏が行なった講演の内容は、アダムスキーの金星文字を解読して氏が発見した画期的な反重力エンジンの理論に言及したものであった。しかし内容を公開するけれども講演中の一部分は省略してあるけれど、氏に対する質問「照会等は一切受け付けない」とを了解され

く使われるようになつたのは、久保田先生が出版されていた「コズモ」(後に「UFOと宇宙」と改題)が書店にてからだらうと思います。

長い間久保田先生のお近くで日本GAPの役員(助手)をさせていただいて感じますことは、久保田先生は日本で最も正しいUFO研究方法を私たちにいつも示しておられる方ではないかということです。

極端な感情の愚かさ

もちろんアダムスキー氏の日本への最高の紹介者でもありますし、UFO、スペーススピーピール(異星人)問題に関して、どのように進めばよいのかを私たちに常に示して下さっているようではありません。

『UFOコンタクティ』誌の中に記載された。確かにUFOという言葉が日本で多

く使われるようになったのは、久保田先生が出版されていた「コズモ」(後に「UFOと宇宙」と改題)が書店にてからだらうと思います。

A P の役員(助手)をさせていただいて感じますことは、久保田先生は日本で最も正しいUFO研究方法を私たちにいつも示しておられる方ではないか

ということです。

「人間とは活動する概念である」とアダムスキー氏は述べています。テレパシックな感受能力はけつして不可思議なことではなく、私たちが生活している日常に応用していることなのであります。そしてそれがないと私たちの身体は不活癡になるということが「新アダムスキー全集第二巻」にでてきます。

それは私たちにとって重要なことです。

自分自身を変えろ

私がGAPに入会しましたのは確か一九歳の頃だと思います。その頃はUFOという言葉は日本ではまだ新しくて、空飛ぶ円盤と呼ばれています。確かにUFOという言葉が日本で多

れています。それは内容から、そしてその奥にある深いフィーリングから感じられることがあります。ですから、私たち役員が集まつて全国向け発送のための「Uコン」の袋詰めをするときには、きまつてスペースピープルのあの心地良くなれる心の広がるようなフィーリングを上空から感じます。

久保田先生は五月三日の大阪支部大会のご講演の中で、「自分自身を変えようとする人をスペースピープルは援助される」と言されました。

そして私は、一番その努力をされているのは先生ではないかなと思つて聞いていました。それだからこそ私たちも、先生が出版されていた「コズモ」(後に「UFOと宇宙」と改題)が書店にてからだらうと思います。

A P の役員(助手)をさせていただいて感じますことは、久保田先生は日本で最も正しいUFO研究方法を私たちにいつも示しておられる方ではないか

ということです。

極端な感情は自律神経系を不調にさせます。いわゆる自律神経失調症といふものです。そうならなくとも私たちは日常抱く感情によって、内部の意識の騒ぎや、他の人や植物その他からのテレパシックな印象を聞きのがしています。

「人間とは活動する概念である」とアダムスキー氏は述べています。テレパシックな感受能力はけつして不可思議なことではなく、私たちが生活している日常に応用していることなのであります。そしてそれがないと私たちの身体は不活癡になるということが「新アダムスキー全集第二巻」にでてきます。

それは私たちにとって重要なことです。



▲遠藤昭則氏

撮影／久保田八郎

そこでスペースピープルは、私たちの抱く感情というものが極端すぎないようとして示唆しているのではないでしょか。しかしこれは感情を殺せということではないということは、社会常識的にわかることです。

彼らスペースピープルは私たちの心によつて起こされる極端な感情についての示唆を何らかの形で私たちに与えているようになります。

感情には法則があるということを発見した人が日本人にいます。森田正馬博士という方です。そのことが「自律神経失調症の正体と治し方」(白揚社)という本の中で真保弘博士が紹介しています。怒りの感情などが出来たときに応用できるものですが、ここでは省略しましよう。

アダムスキー氏は、「UFOコンタクト」の一・二号で、万華鏡の例を出していますが、もしも私がただの学校に勤めているだけの教員であった

なら、これまでのようなたくさんのレッスンを学べなかつたでしょ。そして多くの人に、多くの職業の人々に出会うことはできなかつたでしょ。多くの人に出会うことによって、書物では及びもつかないほどに多くのレッスンを学ぶことができます。最近それをつくづく思います。毎月のGAP 東京月例セミナー、総会、観測会などはその最高の場になつています。

想念で花を動かすには

その中で学んできたことは、私たちのいだく「感情」と「内部のフィーリング」についてのことでしょう。とにかく単なる理屈や言いわけ、こじつけ、その他では理解できない、全身で理解していくことを学ばせてもらつています。そして必要なことは忍耐力だと思います。そして重要なことを学ばせてもらつてはいるだけの教員であった

「生命の科学」には自然界は言葉で一緒に喜んだとき、花は動いてくれます。私たちが動かすのではなく、花自身が動いてくれます。これは私の体験です。

自然は意外と簡単です。一緒に喜べばいいのです。もちろん花に動いてほしいという「動機」は必要ですが、

「どうして君は動いてくれたのだろう」

君と僕の間には何のカルマがあるのだろう」とか言つていろいろと考え出します。

「花を愛しているから、そう動いたのではありませんか?」、「花が動いたとき、その花が感じたのと同じような内部のフィーリングをあ

ります。さらに超能力の開発法とか何かいって、手の先から氣が出ていることを思い、それが花を包むように思いました。確かに効果はあります、それがだけです。

それよりもその花を好きになつて、一緒に喜んだとき、花は動いてくれます。私たちが動かすのではなく、花自身が動いてくれます。これは私の体験です。

そこが最近になつて、自分の中で変化を感じるようになつきました。花が動くということを先ほどお話ししましたが、テレパシーといふことについて、改めて、何だこんな簡単なことだつたのかということが、ほんの少しわかるようになつてきたのです。

例えばテレパシーでは「一体化」ということがでできますが、「今、息子はどうしているのだろう」と思つたとき、息子さんは心の中で、

「今、お母さんはどうしているのだろう」と思うわけです。

それは母親と息子の一體化です。母親の想念が、息子さんの心の中に響いて、息子さんは自分の気持として思つたのです。極端に言うなら、息子さんは自分自身で、

「息子はどうしているのだろう」と思うでしょう。これが「一体化」です。母親と息子さんが一體化というよりも同じなのです。

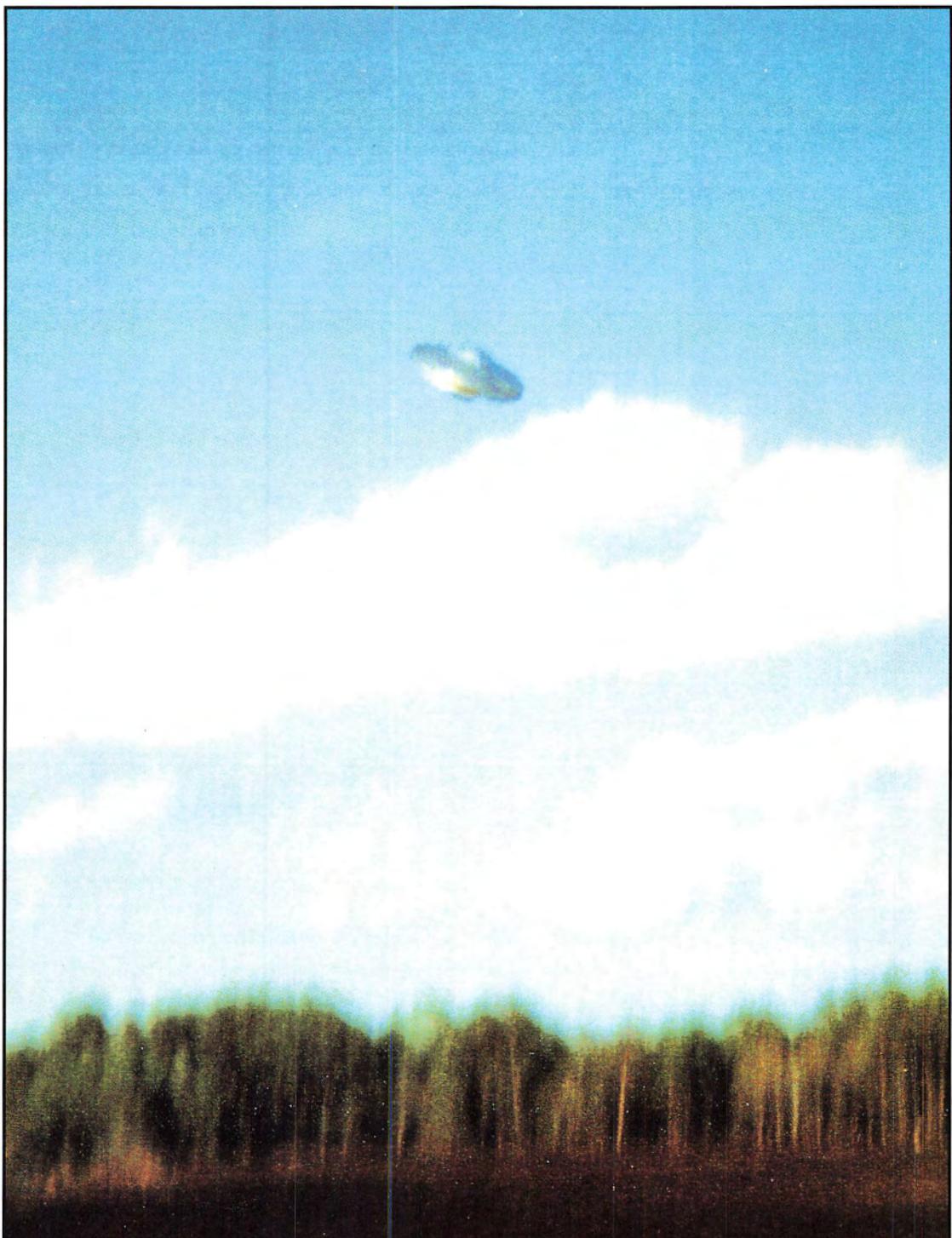
それは相手を洋服と思つて、それを着ようとしていることでもありません。私自身の内部にわき起つてくることなのです。なぜなら、一体化していれば

のフィーリングによって理解するといふことはできなかつたでしょ。そして多くの人に、多くの職業の人々に出会うことはできなかつたでしょ。

物では及びもつかないほどに多くのレッスンを学ぶことができます。最近それをつくづく思います。毎月のGAP 東京月例セミナー、総会、観測会などはその最高の場になつています。

例えば、花に振り向いてもらいたいのなら、花にいくら理屈を言つてもだめなのです。ましてや強制してもだめです。さらに超能力の開発法とか何かいって、手の先から氣が出ていることを思い、それが花を包むように思つましよう、などといふことも関係ありません。確かに効果はあります、それがだけです。

なたも感じていたはずです。お互いが磁気のように引き合つたわけです。私は内部のフィーリングということについては考えながら行なつてゐるのですが、中々うまくいくものではあります。



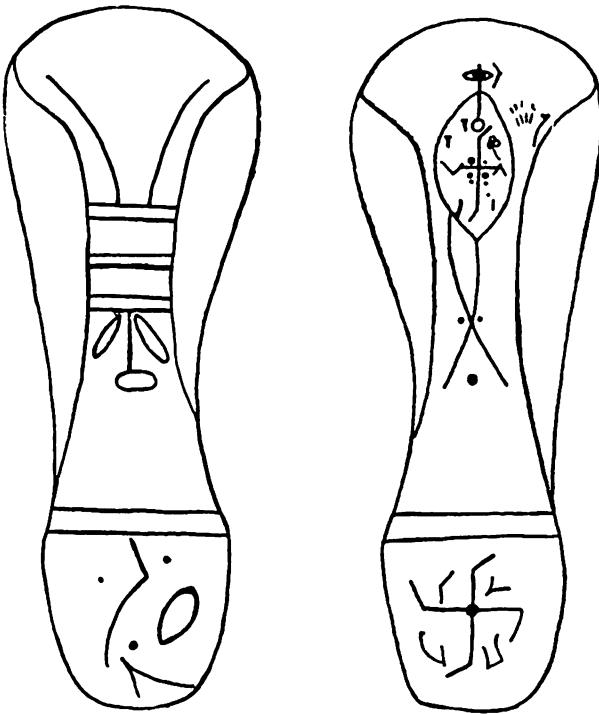
●北部チャールストンの円盤

1980年4月4日、米サウスカロライナ州北部チャールストンで、午後5時30分から6時までの間に出現した円盤を、ウィリアム・ハーマン氏が連続撮影した写真の一枚。直径約12メートルの円盤は、空中に停止したまま縦軸に対してふらつくコマのような運動を続けるのをハーマン氏は息をのんで見つめていたという。氏はUFOに2度遭遇している。

相手の中に出向いて行く必要はないからです。

しかし相手の内部とコンタクトをとろうとする意欲は必要です。そして自分の中にそれはあります。

これは何のテクニックもありません。距離というものを考えなければできることです。五月の東京月例セミナーのテレパシー練習では、ある方がそれを



左足

右足

応用して高得点を上げました。

このようにフィーリングの見つけ方について少し変えるようになつてから、宇宙文字についてもますますわかるようになってきました。

宇宙文字についての考察 続けて自分のこののような内面のこと、

一九五一年一月二〇日、米カリフォルニア州デザートセンターの砂漠地帯でアダムスキーと会見した金星人は、両足の靴の裏に刻まれていた左のような奇妙な图形を地面に残した。これは宇宙船の推進原理を意味する重要な暗号であるといわれていた。これまでに解説したのは南アフリカのバーグと日本人エンジーの二人だけであ

して宇宙文字についてお話しをさせて下さい。

私のことですから、それほどの研究はしていないのですが、何か皆様のヒントになれればよいがと思つております。

私の言つております宇宙文字とは、一九五二年一月、アメリカ、カリブオルニア州、デザート・センターでアダムスキー氏が金星人と会見したときに、その金星人が残した足跡にあつたものと、その後パロマー・ガーデンズに飛来したスカウト・シップから落とされたネガホルダーに入っていたフィルムに写つていた文字のようなもの二種類のことです。

その二種類にはスワステイカ(印の記号)が描かれています。そして、世界中のさまざまな人がそれらの解説を試みたのですが、ほとんどが心靈的な解説であつたと「新アダムスキー全集第一巻」に出ています。当時はその文字一つについて、自分なりの、自分で世界での解説をしていった人、そういう人たちが多かつたようです。

しかしその中で、純粹に科学的にさまざまな角度から取り組んで行つて解説に成功した人が、南アフリカ、ヨハネスバーグのバシリ・バン・デン・バーグ氏です。解説に成功したのはこの方だけではないでしょうか。

彼はその後行方不明になつてしましましたが、その前に公表してくれた写真や図面が現在でも幾つか公表されて

いたので、私たちは彼がしてきた研究に少しでも近付くことができるのです。

そしてそれについて真剣に考えようとしている多くの人がいるのは、この日本だけでしょう。それだけ日本人には何か不可思議な宇宙的なカルマがあると考えざるを得ません。

彼は新聞記者との対談の中で、ネガの文字から次のようなものを発見したと言っています。

- ①母船と小型円盤の推進方法
 - ②二個の強力な磁気モーター
 - ③船体の内外の詳細な設計図
- しかし「新アダムスキー全集第六巻」の中では、ネガの文字から、

①円盤の設計図

ネガと足跡の图形から、

②母船の設計図

また象形文字から、

③宇宙船で用いられる推進力と、パワーのコントロール方法

をバーグ氏は発見したと、アダムスキー氏は述べています。ここで問題となるのは象形文字ということです。それはネガの文字のことでしょうか。足跡の图形のことでしょうか。それについてはこれからお話ししていくこうと思います。

宇宙文字の解読方法

では、これらの文字を解説していくにはどうしたらよいのでしょうか。

バーグ氏は、自分の中のファーリングとその文字とをつき合わせながら解説作業をしていったと述べています。もちろん先程の感情については充分に注意を払っていたのでしよう。そして内部のファーリングというものがいかに大切なかということがここでわかれます。

しかしそれだけではダメです。とにかく科学的に考えなければなりません。もちろん先程の感情については充分に注意を払っていたのでしよう。そして内部のファーリングというものがいかに大切なかということがここでわかれます。

円盤の設計図

①ネガの文字を移動して組み合わせるための経路を見つける。

②各文字の意味を理解する。

①については考えることができます。各文字の間には、ある長さを基準とした長さの倍数の距離があるからです。そこには正三角形と二等辺三角形の法則もあるようです。また各文字の傾きにも法則があるのですが、それについては「UFOコンタクト」八九号に詳説しましたので、省略させていただきます。また②のことですが、各文字を立体的に見なければなりません。そのことによって結局、「新アダムスキ一全集第一巻」のようなスカウトシップの「円盤の設計図」ができるかもしれません。しかしそれは着陸ギアがどのようにあって、コンデンサー回路の中はこうで、磁気エンジンがどこにあるの

かといった外観的なものです。その原理を述べているのではありません。これでは円盤は動きません。では、その原理はどこにあるのでしょうか。

フリー・エネルギー装置

最近、Sという人に会いました。彼は電気関係の会社に勤めているのですが、フリー・エネルギー装置の研究家でもあります。

フリー・エネルギー装置とは、それが動いていくにつれて、電気や石油などの、現在地球で考えられているような外的な援助を必要とせずに自力で作動し続ける装置をいいます。

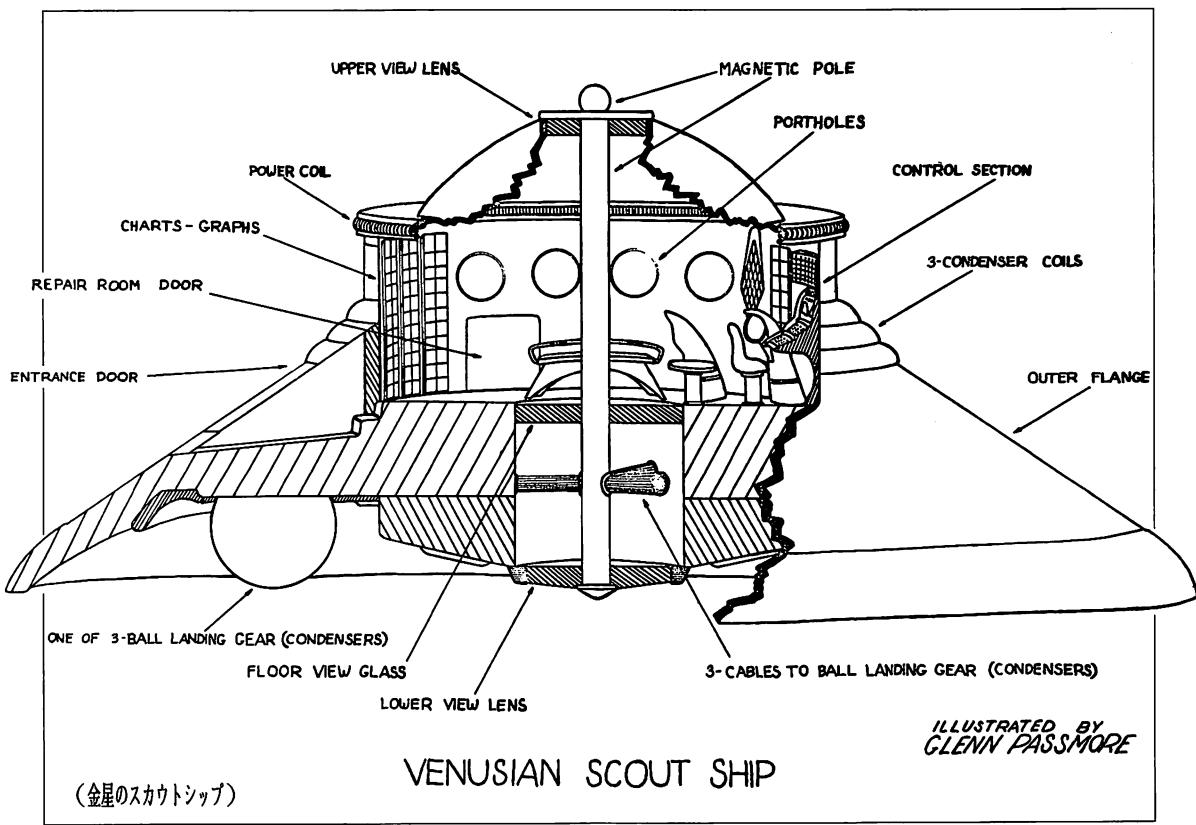
しかしここにも落とし穴があります。何の外力も必要としないということは、この宇宙とその系とが切り離されると考えてしまうことです。そのような系を考える人たちが現在でもいますが、それは永久機関といわれています。フリー・エネルギー装置もその中に入られられることがありました。

ところが最近になってやつて、フリー・エネルギー装置には何らかの外力が働く必要があると考えられるようになつきました。その外力と、それを得る方法とは次のようなものです。

①静電気の放電によって空間にある何らかのエネルギーとの共鳴作用によって、

②二つの静磁場の共鳴作用によって、

空間にある何らかのエネルギーとの共



(金星のスカウトシップ)

鳴を起こしてエネルギーを得るもの。
③交流電磁場を静電場に作用させるこ
とによって空間のエネルギーを活用す
るもの。

空間には電気的なものが充満してい
ると唱えたのはデイラックや他の科学
者ですが、それが地磁気や重力にも関
係しているのではないかといわれるよ
うにもなってきています。

そのS氏ですが、彼は四月にアメリ
カのデンバーで開かれたフリー・エネ
ルギー学会に出席してきたということ
で、そのお話を聞くことができました。
彼によりますと、昨年、一昨年まで
は一つの装置から、人力以上の電気出
力を取り出そうとする装置の研究成果
が発表されていたのですが、今年にな
つて、重力とフリー・エネルギー装置
との関係についての発表が多く出るよ
うになってきたというのです。

重力は簡単な原理で克服で きる

そして驚いたことに、何で簡単な、
と思うような原理を応用していたとい
うことです。

例えば、ここに一つの板磁石がある
とします。そこには片方の極から片方
の極へと磁力線が走っています。ちな
みに、あのムーダ大陸の研究家であつた
ジェームズ・チャーチワード氏は、「ム
ーの宇宙力」という本の中で、
「極性とは二種類の圧力によって生ず

るものである」

というようなことを述べています。

そこで同じ極を向かい合わせると反
発します。大人になるとそれ以上

まさかというようなことをいろいろと
考えようと思いませんが、子供でしたら、

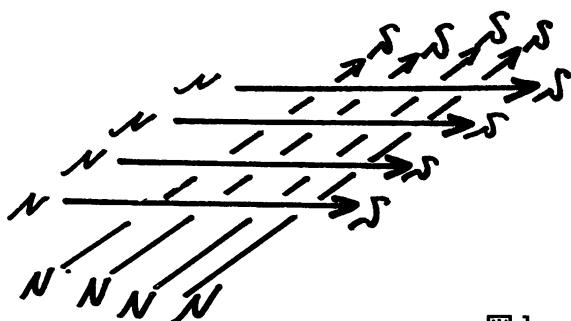
S氏が言っていたのもそのままかと
いうことでした。

先の板磁石を四枚、同じ極が内側で
向かい合うようにします。そしてその
周囲にコイルを巻いて電気を流すとい
うのです。それを一つ、つまり一組作
成しました。

他の発表では、直角方向に交差する
ことによってエネルギーを取り出す装
置もあったということです。

そしていろいろな発表を見るうちに、
今年は磁力線を直交させる(図1)

図1



磁力線は通常は直交することはあ
りません。しかしある周波数を持たせ
れば、それが可能になるのではないか
というのです。

磁力線の直交については、フラン
ク・スカリーの書物にも出てきます。

一九四〇年代にアメリカの砂漠に墜
落した円盤を調べることによって、円
盤群は地磁気を交差させることによつ
て航行しているようだと述べているの
です。そして船体には回転する輪がつ
いており、それはその地磁気の交差か
ら逃れようとするときに回転するとも
述べられています。

S氏の出席した学会はもともとは原
子力の研究が主流であったそうですが、

り、ある距離にすると共鳴し合つて、
重量が軽減するという発表だったとい
うことです。

鉱石ラジオの同調コイルのように、
コイルの中に入れて利用

うか。これからのエネルギー利用のも
のとしては、太陽電池、電気自動車、
段々と変わってきたのだそうです。

なぜ原子力が消えて行つたのでしょ
うか。これがフリー・エネルギーの研究へと
つながりました。

それがフリーエネルギーの研究へと
つながりました。

本会の家庭や工場にエネルギーを供

給することがはたしてできるものな
のでしょうか。

私はそうは思いません。それらが日
本全国の家庭や工場にエネルギーを供
給することがはたしてできるものな
のでしょうか。

なぜそれらの効率のよくないものを
私たちは考えようとしているのでしょうか。

私はそうは思いません。それらが日
本全国の家庭や工場にエネルギーを供
給することがはたしてできるものな
のでしょうか。

なぜそれらの効率のよくないものを
私たちは考えようとしているのでしょうか。

私たちには考えようとしているのでしょ
うか。

私たちには与えられたものに対して、
それだけのことしか考えようとせずに
それを受け売りして他の人に伝えよう
とする傾向があります。ですからエネ
ルギー問題にしても、それ以上考えら
れないようになっているのです。

しかしこの自然界に行き詰まりはな
いはずです。自然界の中にこそ、私た
ちが生活していくために必要な青写真
が隠されているとアダムスキーフ氏は述
べています。

花壇に出てみましょ。いろいろな
形の花があります。それらの花はどう

して、上空に向かつてあのような美しい形をしているのでしょうか。どうして茎は重力に対抗して上へと伸びようとするのでしょうか。そして花はどうして茎の先端についているのでしょうか。花びらの形には、重力を克服するための秘密があるのでしょうか。

そして上を向いている花びらは、上空からの光を受けて、それをどのように活用しているのでしょうか。そして花びらは大気中の静電気や地磁気などどのように関係しているのでしょうか。

バーグ氏の作り上げた磁気モーターの一部分の写真は美しい花の形をしています。

そういうえば一九四〇年代に墜落した円盤群の中に磁気モーターがあつたという話が少しあります。それはほとんど公表されていません。磁気モーターというものが、最高機密に属するものであると考えられます。

MJ・12といふものに関する噂が日本で流行ったとき、円盤の推進原理を異星人から教えてもらつて研究していたという科学者がTVに出てきました。あたかもそれらしく説明をしていたのですが、どうも怪しいものでした。なぜなら、自然界では少ない放射性物質を使うよりも、自然界に豊富にある静電気や磁気を使つた方がはるかに重力のコントロールには有利であるからです。

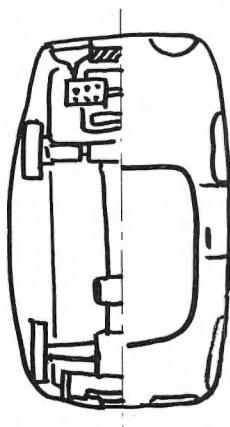


図2

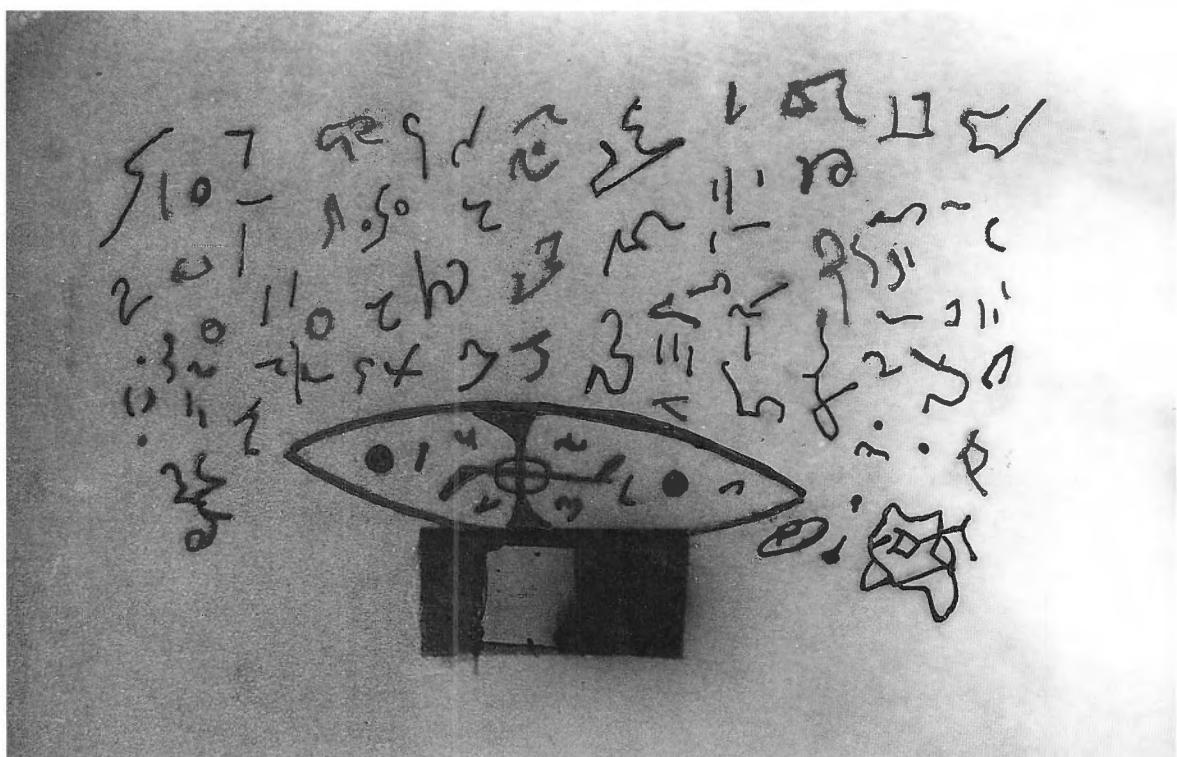
バーグ氏の作り上げた磁気モーターの一部分の写真は美しい花の形をしています。

そういうえば一九四〇年代に墜落した円盤群の中に磁気モーターがあつたという話が少しあります。それはほとんど公表されていません。磁気モーターといふものが、最高機密に属するものであると考えられます。

磁石の組み合わせ

宇宙文字に戻りましょう。

最近でも、他の遠い星系から来たといふ人に教えられたということで、円盤の推進原理を発表している写真がある日本の雑誌に出ています。それは何とS氏があるエネルギー学会で見たある研究者の発表したものでした。何ということはない、地球の研究者の発表を、あたかも異星人が教えてくれたと思わせていただけだつたのです。もちろんS氏に会つていなければ、それはわからなかつたことです。このようにして推進原理は煙に巻かれてしまします。



▲アダムスキーが受け取った金星文字と图形をわかりやすくするために遠藤氏が修正した写真。

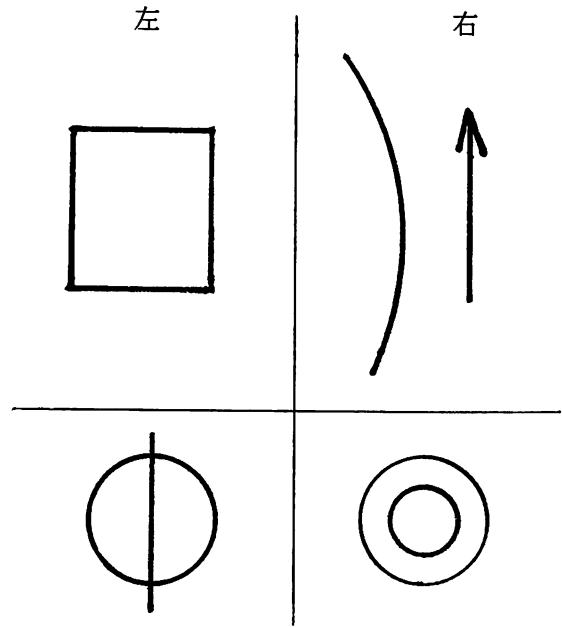


図3

ネガの中には一つとして同じものはありません。地球上の文字であるなら、主語、述語があり、動詞、助動詞があるので、同じ文字が何度も出てくるものなのですが、写真ではそうではありません。ネガの中だけでも六〇近い文字があります。したがつてこれは文章として解読するのではなく、パズルの一駒^{一こま}として使える可能性があります。

また、スペースビープルの描き方は地球のものとははるかに違うと思いつむと、落とし穴に入ってしまいます。

設計図としての描き方には地球で使われているのと全く同じ方法があります。いえ、その方が自然であるといえます。

ネガの中には一つとして同じものはあります。これは円盤の推進装置そのものではなくて、推進装置の原理を理解するための、教育用模型を作るための図と解釈した方がよいものです。そこでは、幾分か作り変える必要があるよう

く見るように、ちょっと見方を変えないと新しく立体映像が見えるものがありますが、そのようなものです。右半分は地球で使われている車の表面を描いた図です。この方法を使うと、足跡の图形の意味がわかつてきます。

また、磁力線の描き方も地球と同じです。

これらのことから、磁力線の組み合わせ方が見えてくるのです。実は金星人の靴の图形には、もうすでに磁気エンジンが描かれているのです。

最近ヴァーチュアル・リアリティー

ということで、ある規則のもとにコンピューターで描いた図なのに、少し遠

く見ると、左のカセットには上から見た図が、またその上には組み合わせ方の図が、そして左のカセットには一組の表面と内部の図が、さらにその上には横から見た図が出てきます。しかしこれだけでは反重力エンジンは出来ません。そして、どのようにして動くのかということもわかりません。それがどこにあるのかはただ見ただけでは謎です。

バーグ氏の磁気モーターの写真（実はあれは磁気モーターの全体ではなくて、単に一部でしかないのです）がありますが、あの中心に棒磁石を通すのかどうかも疑問です。

なぜなら、スカウトシップ（円盤）ではそのようなことも考えられるのですが、母船になると、磁気柱とモーターの中心線とが直交しているからです。ネガの文字を見てみましょう。そこにはまだ使われていない、あのスワステイカとそれを取り囲む紡錘状のものがります。

これも同じ原理で解読することができます。

しかしここでははつきりといえることは、その「始動」のためには念力を使う必要がないということです。もつと工学的なものです。

く見るように、ちょっと見方を変えないと新しく立体映像が見えるものがありますが、そのようなものです。右半分は地球で使われている車の表面を描いた図です。この方法を使うと、足跡の图形の意味がわかつてきます。

また、磁力線の描き方も地球と同じです。

これらのことから、磁力線の組み合わせ方が見えてくるのです。実は金星人の靴の图形には、もうすでに磁気エンジンが描かれているのです。

最近ヴァーチュアル・リアリティー

ということで、ある規則のもとにコンピューターで描いた図なのに、少し遠

静電気から推進力を考えるなら、カナダの研究家でハッチソンという人が、テスラ・コイルを使って物体の浮揚実験に成功したというニュースが以前ありました。彼の理論はS氏の話から推測するに、静電気の場を水面とすると、そこに二つのテスラ・コイルを置くと、その間にできる機能円磁场の共鳴線上に不可思議な働きが生ずるので、それを応用するようです。(図4)それを応用すると円盤は推進できるかも知れません。

地球は静電気の海です。それに何らかの働きが加わって、新たな力を生みます。

母船の設計図

出しているのかも知れません。
円盤の周囲に静電気の海を作り出し、それに何らかの高周波を加えれば、周囲の静電気の海と共鳴することも考えられます。

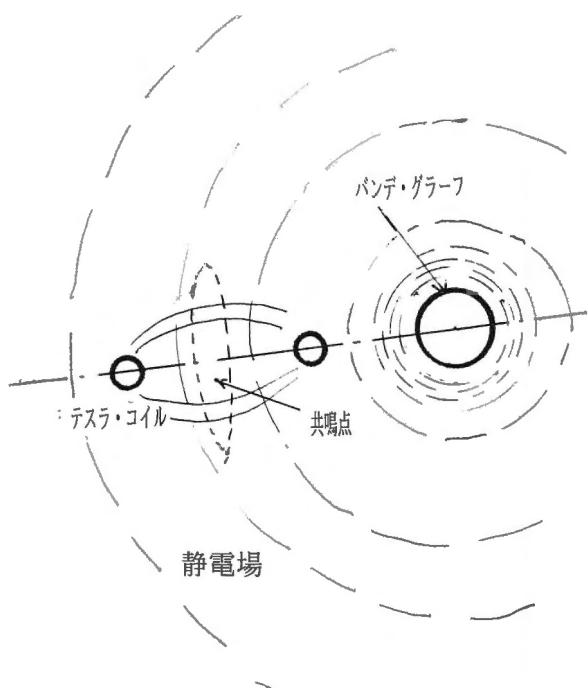


図4

ネガの文字の中でもまだ使われていないかったのは、紡錘状のものの中にある文字群と、右足跡の紡錘状のもの中にある图形群です。それらを組み合わせると母船の外観ができることがあります。

そして母船の図面ができるがつてきます。バーグ氏は、ネガの文字と足跡の图形からその設計図を作り上げたと述べています。

スカウトシップの設計図とともに、

母船の設計図も細かいところまでは出てきません。それらは「新アダムスキ一全集第一巻」に出ている図面(確かグレン・パスモアという人が描いたのではなかつたでしょうか)とほとんど同じです。もちろん違うところもありますが。



▲メキシコ市在住の愛弟子であったマリア・クリスティーナ・デ・ルエダ夫人(右から2人目)の大邸宅を訪れたアダムスキー(中央)。左端は夫君のルエダ氏。不動産業を営むメキシコきっての大富豪であった。

つてたり、心地よさが広がることがあります。それは上空に円盤などが出現してくれるときがそうですし、また街を歩いているときにそう感じることもあります。

私は普段はオーラを見ようとはしていません。ですから、街を歩いていても、あつ、この人はとすることはわからぬのですが、その広がるようなフレーリングはやつてきます。そしてそのときに初めてオーラを見るようにしています。

もちろん私の目でオーラを見ます。はつきりと。そのときには、自分の心中を見て変わり行く印象を見ていますが、テレパシーでの送信は行ないません。まず感じるだけです。アダムスキーキ氏ほどのテレパシー能力を持つ人でさえもそれが正しいテレパシーであつたかどうかを、後で実際にスペー

スペースピープルについて

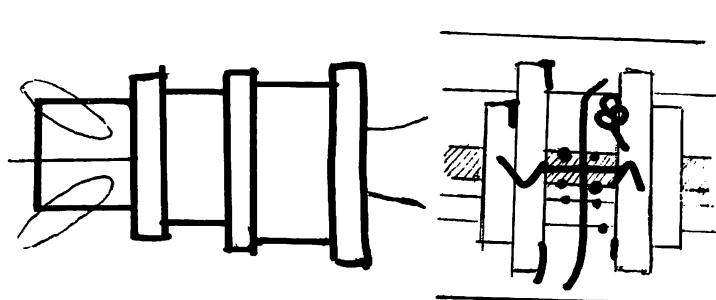


図5

ところでも話をしていたのですが、そのときに何か宇宙的なフレーリングがわき起こってきたことがあります。常日頃から自分の心の中を注意していると、突然今までの心の色とちがう、明るく広がるような色がや

すから、いくらオーラが良くても

そのために宇宙哲学が基本になる

ところでも話をしていたのですが、そのときに何か宇宙的なフレーリングがわき起こってきたことがあります。常日頃から自分の心の中を注意していると、突然今までの心の色とちがう、明るく広がるような色がや

すから、いくらオーラが良くても

そのために宇宙哲学が基本になる

ます。テレパシーでの送信は行ないません。まず感じるだけです。アダムスキーキ氏ほどのテレパシー能力を持つ人でさえもそれが正しいテレパシーであつたかどうかを、後で実際にスペースピープルに会って口頭で確認したところはいります。その人は無意識にこす人はいます。その人は無意識にこ

そして地球でもにこやかに笑う人やこちらの想念によって何らかの反応を起こす人はいます。その人は無意識にこす人はいます。その人は無意識にこ

う。それは久保田先生が言われるよう

に、彼らスペースピープルの驚異的な社会を私たちが見られるようになって初めて地球の人々の目がさめるようになつてわかつてくることなかつたのかも知れません。

これから日本は高齢化社会になると言われています。そしてそのためには、年齢に関係なく、「意欲的」に物ごとを考えていく時代になつていいくようです。

宇宙文字を解読することによってアダムスキーキ氏の真実性がますますクローズアップされることになります。

そして、内部の印象に気づきなさい」というアダムスキーキ氏の言葉が大きく認められるようになつてくるでしょう。いえ、それは現在では当たり前のことになつてているのです。それは企業でも応用され始めているのですから。

私たちには社会の変化を待つのではなく、ましてや救世主を待つのでもなく、自分の個性に気づき、それを生かしていくといろいろなことがわかつてきます。そうしてそれらが生かされなければ、やがて私たちは「星々への切符」を手に入れることができます。

このように内部の印象を使うようにしていくといろいろなことがわかつてきます。そうしてそれらが生かされなければ、やがて私たちは「星々への切符」を手に入れることができます。

私は注意深くなることにしています。本当のスペースピープルであるなら後必ずサインを受け取ります。それが確証になるのです。

ただし、私に関係のある方だけです。それ以外の方は、ああ、あの人はそうだったのかな、そうでなかつたのかなと思うだけです。いくらオーラを見えていても注意深くしています。

しかしこういったからといって、考え違いをなされないで下さい。確かにスペースピープルはたくさんこの日本でも活躍されているのです。

私は注意深くなることにしています。本当のスペースピープルであるなら後必ずサインを受け取ります。それが確証になるのです。

「星々への切符」というのは魅力的な言葉です。勤めの帰りにふと見上げる夜空に輝く星々は、いつでも手を広げて待つてくれます。しかしこの地球では戦火が絶えません。この地球が平和になるのはいつのことでしょう。

とによって宇宙文字の解読ができることがあります。ですから、その解読をしていても自然とのつながりをますます感じるようになるのです。

「星々への切符」というのは魅力的な言葉です。勤めの帰りにふと見上げる夜空に輝く星々は、いつでも手を広げて待つてくれます。しかしこの地球では戦火が絶えません。この地球が平和になるのはいつのことでしょう。

「星々への切符」というのは魅力的な言葉です。勤めの帰りにふと見上げる夜空に輝く星々は、いつでも手を広げて待つてくれます。しかしこの地球では戦火が絶えません。この地球が平和になるのはいつのことでしょう。

私は注意深くなることにしています。本当のスペースピープルであるなら後必ずサインを受け取ります。それが確証になるのです。

「星々への切符」というのは魅力的な言葉です。勤めの帰りにふと見上げる夜空に輝く星々は、いつでも手を広げて待つてくれます。しかしこの地球では戦火が絶えません。この地球が平和になるのはいつのことでしょう。

私は注意深くなることにしています。本当のスペースピープルであるなら後必ずサインを受け取ります。それが確証になるのです。

「星々への切符」というのは魅力的な言葉です。勤めの帰りにふと見上げる夜空に輝く星々は、いつでも手を広げて待つてくれます。しかしこの地球では戦火が絶えません。この地球が平和になるのはいつのことでしょう。

Professor Marcel Home's Great Discovery
by Hachiro Kubota

オメ教授が発見した金星? 文字

久保田八郎

南米の奥地で発見された不思議な文字は、円盤から投下されてアダムスキーに与えられた金星文字と酷似していた。一万数千年昔に南米の奥地へ金星人が到来していたのか。アダムスキーの金星文字はすでに解説されだが、類似の文字を発見した事実は太古における異星人の壮大なプロジェクトの一端を示すものなのか。少し古いがオメ教授の凄い体験実話を紹介。

マルセル・オメ教授

オメ教授の名がUFO研究界に急速に浮かび上がってきたのは、教授がUFOに関する興味を持つようになつたからではなく、ブラジルの秘境を探検した際にアダムスキー問題と重大な関係のある不思議な古代の文字と図形を発見したからである。この事件はかつてイギリスの『空飛ぶ円盤評論』誌にも報道されたし、各国の研究界でも話題となり、論議的となつたが、一万数千年をへだてて同じような図形が存在したという事実は、アダムスキーの体験の真実性を裏付ける有力な証拠となるようと思われる。

オメ教授は一八九七年にフランスで生まれた。アルジェリア北部のアルジ

エ大学で考古学を学んだあと、母校でアラビア古典を教えていたが、その後ブラジルへ渡つてサンパウロに居住するかたわら各種の科学団体のメンバーとなり、同市のアメリカ人博物館の館長となつてている。その前にはアフリカ大陸で一五年間をすごして、地中海沿岸諸国の古代の遺跡を調査した。

また教授はピグミー族も研究し、サハラ砂漠の有名な岩石彫刻紋様等も研究した。一九四〇年にはアメリカ、ハイチ、ベネズエラ経由でブラジルへ行き、ついにそこへ落ち着いて、南米の考古学センターからアマゾン河流域ハイチ、ベネズエラ経由でブラジルへ

的な古代の遺物を組織的に発見調査した最初の科学者であるが、彼自身はこのブラジル北部一帯を、一万数千年前に海中に没した失われた大陸『アトラシティス』の一部であると確信しているのである！

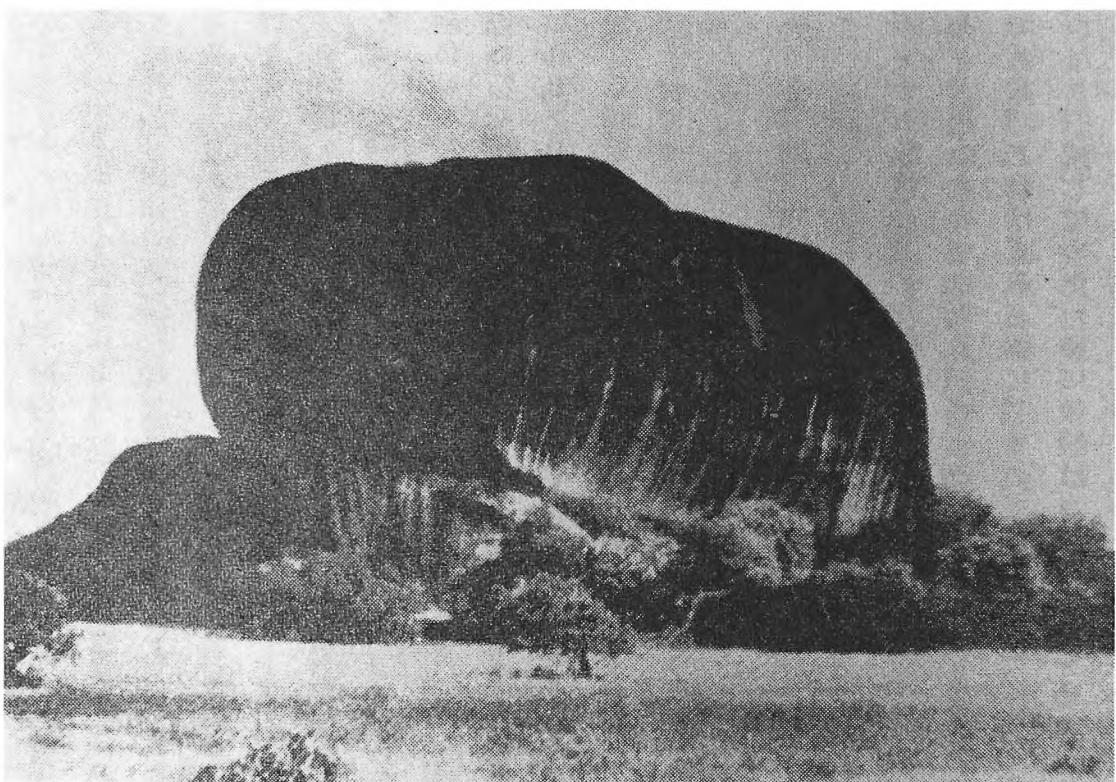
南米奥地の決死の探椥

一九四九年の秋、オメ教授は夫人、愛犬の『マルアイ』その他数名の従者とパーティを組んでブラジル北地を目指して探椥に出た。もちろんこれが最初ではなく、この他にもアマゾン河川流域一帯を踏査しているが、これはそのなかの一部分である。場所はブラジルの最北端、ベネズエラと英領ギアナとの国境地帯で人跡未踏の秘境である。

実際彼はブラジルの大未開地の神秘の一一大業績が打ち立てられることに一口にブラジルといつても非常に広く、ソル山（太陽の山の意）の高さが二五〇メートルもあり、その他一〇

▶愛犬マルアイを抱くマルセル・オメ





▲巨大なペドラ・ピントーダの奇岩。

一行がタラメという所へ来たときその付近に“ペドラ・ピントーダ”という巨大な一つ岩があるのを発見した。ペドラ・ピントーダとはポルトガル語であつて「色を塗った岩」の意味である。その名の示すとおり、この岩には赤く塗つたドルメンがあちこちに付属している。岩の高さは三〇メートル、長さ一〇〇メートル、奥行き八〇メートルの花崗岩で、太古の文明の印象的な遺跡として広漠たる平野の中にそびえ立つている。

岩の表面には六〇〇平方メートルにわたつて奇妙な紋様や図形が刻まれているが、まだ解読されとはいひない。岩全体が人間の頭がい骨のような形をした大タマゴ型である。オメ教授自身はこれを「アトランティス文明の石の書物」と呼んでいる。すなわちこれは失われた大陸アトランティスの巨石文化の遺跡の一部であつて、現在の文明とは全く関係のない物であると教授は考えているのである。

このペドラ・ピントーダへ来たとき豪雨に見舞われて一行は岩の内部へ入り込んでここで一夜を明かすことになった。一同が通路を通っているうちに偶然発見したのが“埋葬の洞窟”とク骸

○○メートル級の山が沢山あるからギアナ側からは簡単に入れないだろう。

大奇岩ペドラ・ピントーダ

一行がタラメという所へ来たときその付近に“ペドラ・ピントーダ”という巨大な一つ岩があるのを発見した。ペドラ・ピントーダとはポルトガル語であつて「色を塗つた岩」の意味である。その名の示すとおり、この岩には赤く塗つたドルメンがあちこちに付属している。岩の高さは三〇メートル、

長さ一〇〇メートル、奥行き八〇メートルの花崗岩で、太古の文明の印象的な遺跡として広漠たる平野の中にそびえ立つている。

岩の表面には六〇〇平方メートルにわたつて奇妙な紋様や図形が刻まれているが、まだ解読されとはいひない。岩全体が人間の頭がい骨のような形をした大タマゴ型である。オメ教授自身はこれを「アトランティス文明の石の書物」と呼んでいる。すなわちこれは失われた大陸アトランティスの巨石文化の遺跡の一部であつて、現在の文明とは全く関係のない物であると教授は考えているのである。

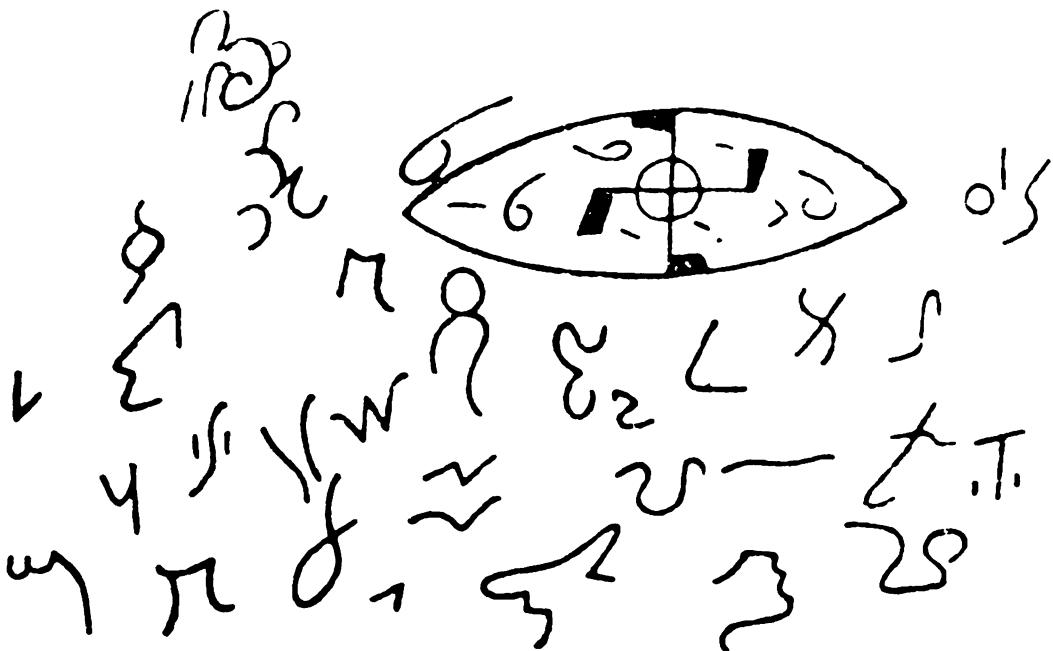
このペドラ・ピントーダへ来たとき豪雨に見舞われて一行は岩の内部へ入り込んでここで一夜を明かすことになった。一同が通路を通っているうちに偶然発見したのが“埋葬の洞窟”とク骸

さて、マルセル・オメ教授のこの探検行における最重要な発見物はこのペドラ・ピントーダそのものではなく、ペドラのすぐ隣りにあつた小さな奇妙な図形である。これはある石器に刻まれていたもので、多年風雨にさらされてかなり磨滅していたために教授はさほど気にとめなかつたが、一応参考資料として写し取つたのである。

しかし後になつてオメ教授みずからアダムスキイの最初の著書『空飛ぶ円盤は着陸した』を読んだとき、飛び上がらんばかりに驚いた。なんとそこに教授が持ち帰つた紋様とほとんど同じ種類の紋様と図形が金星人から与えられたものとして掲げられていたからである。

この点については教授は「私はアダムスキイの書物を読むまでは、あの紋様についてほとんど関心はなかつた」

骨の洞窟”である。この後者においては多数の人骨が発見された。恐怖すべき一夜であったと教授は述べている。岩の内部の探検は興味深く、あちこちに小洞穴群や赤い色を塗つたドルメン（二～三個の石の脚の上に平たい石を載せたもの）があり、儀式に使用したと思われる演壇も數ヵ所あつた。明らかに太古の文明の人間が聖なる場所とした形跡が残つている。



▲オメ教授がペドロ・ビンターダで発見した不思議な文字と図形。
アダムスキーの金星文字と酷似している。

アダムスキーが金星人からネガフィルムに記されたメッセージを受け取った模様については新アダムスキー全集第一巻『第二惑星からの地球訪問者』に出ていている。

オメ教授の紋様（上の図）とアダムスキーのそれとは象形文字が完全に同一ではないが、レンズ形の断面図状の図形とその中に描かれているスワステイカ（まんじ）は、フリーハンドで描かれているために多少のゆがみはあるにせよ、同一である。しかも両方共スワステイカの中心部に小円が画かれている。

前述のとおりこの事件はUFO研究界で大問題となつた。そして疑う人のなかには、アダムスキーとオメ教授が

と述懐している。アダムスキーが「空飛ぶ円盤は着陸した」を出したのはオメ教授が著書『太陽の子ら』を出す前であつたから、アダムスキーがオメ教授の発見を知つていたわけはない。第一、両者共互いに未知の人で、事前に連絡が行なわれた事実はないのである。

これはアダムスキーの金星人メッセージが事実であったことを立証する重要な傍証であつて、しかも「いざれ地球の土中からこれと同じような紋様の発見が報告されるだろう」と語つた金星人の言葉を裏付けることにもなる。そして一万四千年の太古にも別な惑星の人間がこの地球に来ていた事実を証拠立てるに至るのだ！

アダムスキーが金星人からネガフィルムに記されたメッセージを受け取った模様については新アダムスキー全集第一巻『第二惑星からの地球訪問者』に出ていている。

オメ教授の紋様（上の図）とアダムスキーのそれとは象形文字が完全に同一ではないが、レンズ形の断面図状の図形とその中に描かれているスワステイカ（まんじ）は、フリーハンドで描かれているために多少のゆがみはあるにせよ、同一である。しかも両方共スワステイカの中心部に小円が画かれている。

「私は大西洋沿岸の国々の口碑伝説や伝承詩などを研究したが、すべて巨鳥の伝説が確実に残つていて、それらは空中で火を噴いて大地を破壊しながら絶滅してしまつた」と教授は述べている。

ともかく紋様の発見は高度な考古学者によるものであるから、アダムスキーもこれを重視して著者で述べているほどだ。異星人は途方もない年代差と地球の各地とを結ぶ範囲で深遠なプロジェクトを太古から樹立していたのである。

グルになつて打つた芝居であるといつて非難する人もいた。これに対してアダムスキーもオメ教授も全く相手していない。ただ教授の方が積極的にアダムスキーの体験の真実性を支持しているだけである。そのことは過去の『空飛ぶ円盤評論』誌に大きく掲載された。オメ教授によると太古において空を飛ぶ機械を用いていた偉大な文明がこの地球上に存在したという。ジャイアント・バード（巨大な鳥）を持つ人々がこの地上に存在した時代があった。その巨大なシンボルは今なおペルーやアンデスの高地に刻まれていて、翼の両端間の距離が一五〇メートルに達するのである。これは非常な高空からではないと見られない。平たい地面または岩に刻まれたこのシンボル類は、宇宙旅行や空中戦をやつた人々のシンボルとみなしてよいだろう。

GAP短信

GAP NEWS

★大阪支部大会、大盛況

去る五月三日に奈良市の奈良県新公開堂で開催された今年度の大阪支部大会は、出席者がちょうど一〇〇名という空前の大盛況を呈した。久保田会長の講演に続いて質疑応答で終了したが、会場は終始熱気に満ちて素晴らしい雰囲気を盛り上げた。

翌日は快晴下を約六〇名がレンタルの自転車で走行、奈良県高市郡明日香村の遺跡めぐりツアーリーを実施。名高い遺跡を次々と周遊。古代の板蓋宮遺跡の草原で昼食をとった頃、歓喜と愉悦感は最高に達し、午後五時に駅で解散した。

なお来年度、大阪支部は大会開催を一休みし、かわって伊豆支部が五月連休に支部大会を開催する予定。

★伊豆支部、来年五月連休に大会開催

伊豆支部は一九九四年五月三、四、五日の三連休を利用して盛大な大会を開催する計画をたてている。支部代表高梨氏からの連絡によると、三日に大会を開催(会場未定)、四日と五日の二日間に渡つて伊豆半島周遊の画期的な観光を実施するという。詳細については本誌一二四号(来年一月発行予定)に掲載する。関東方面から参加しやすいので盛況が期待される。

なお從来伊豆支部は横文字でIZU支部と表記していたが、六月より漢字に改めることにした。

★日本GAP本年度海外研修旅行

既報のとおり本年度の海外研修旅行はアメリカのサンフランシスコ経由でメキシコ、グアテマラの古代マヤ遺跡視察の一〇日間の旅を実施する。出発は八月一三日。午後一時三〇分に成田空港第一ターミナルビル南ウイングのユナイテッド航空カウンター前に集合する。帰国は八月二二日午後四時二十五分成田着の予定。今回は一五〇名が参加する。サンフランシスコではダニエル・ロス夫妻が出迎えて夕食を共にする予定。メキシコとグアテマラでは久保田と田中の旧知の間柄であるメキシコ人ヤマダ氏が案内する。楽しい旅が予想される。

★大阪支部、アマチュア無線局を開局

大阪支部は四月に五年間のアマチュア無線局の運用を電波管理局より許可された。局名は「大阪GAP無線クラブ」で、呼び出しコールサインは「J K3YNM」。この局の運用者はアマチュア無線従事者免許を取得した者で、大阪支部会員であり、平塚代表の許可者であることを条件とする。現在の運用者は平塚和義、井原嘉彦、宇野秀樹の三名。

この局の電波は短波帯で、世界中のアマチュア無線局との交信が可能といふ実力を持つ。当面の運用は大阪支部活動時の連絡用とするが、全国の宇宙哲学実践に励む会員相互のコミュニケーションにも活用する。

去る五月の支部大会ではこの無線連絡により絶大な効果をあげた。会場運営で持場を離れずに代表の指示を伝えてスムーズに大会が開始できだし、翌日の観光ではサイクリングツアーや前後一キロにわたる列の移動に際しては、タクシーから発する平塚代表の指令を三台の無線機で受信して見事に統制し、無事故のツアーリーを達成した。今後も大いに利用したいと同支部の責任者・井原嘉彦氏が言っている。

★原永庫氏のパソコン通信、発展

日本GAP会員で医師の原氏がパソコン通信のネットワークを拡大しつつある。氏は神経科医として病院に勤務するかたわら本格的なパソコンによるGAP活動の拡大化とUFO問題の啓蒙活動に努力する篤行の人。新潟県出身。高校を出てブラジルへ渡り、サンパウロ大学医学部をトップの成績で卒業し、将来教授になれる試験に合格しながらこれを放棄、帰国してGAP活動に参加した英才。現在も博士号取得をめざして慶應医学部大学院へ週二日

研究に通うという超人的な努力を続けている。パソコン通信の詳細については本誌三三頁の広告を参照。

★CADET 誌が本誌を紹介
講談社発行の若い人向き雑誌として名高い「CADET」(カデット)誌七

月号(六月二〇日発売)に、ユニークな専門誌としてユーコン誌が紹介された。これにより読者から問合せが殺到して、またも会員が増加の一途をたどっている。

★今年度日本GAP総会

恒例の秋の総会は本号四九頁の予告どおり来たる一〇月一〇日(二連休の初日)に昨年と同じ機械振興会館(東京タワー前)の地下二階の大ホールで午後一時より五時まで盛大に開催される。今回は趣向を変えて多彩なプログラムを企画し、楽しい雰囲気のなかに宇宙的な波動を盛り上げるように運営。

夜の夕食会も今回ばかり自由に歩き回りながら相互の親睦を図るように設定。料理・飲み物は豊富。また連休なので翌日は都内観光も実施するが、バスでなしに電車を利用するのが特徴。交通渋滞がひどい都内ではこのほうが早く移動できる。四九頁の詳細予告を参照の上、参加希望者は早目に申し込まれたい。

★英語講座を連載
本誌は次号より久保田会長による英語講座を連載する。多年英米人との交流や厖大な翻訳活動から身につけた会長独特のパワーにより本物の英語が誰にも楽しく身につくように画期的な講座が展開する。特にアダムスキーの原書その他UFO専門誌などの現代英文を教材として生きた文語・口語英語を平易に説明。期待される。

「夢の農薬」人気上昇中

特定の害虫を防除でき、毒性がなく、しかも自然界でたやすく分解するフェロモン製剤の導入が本格化している。

フェロモンは動物が分泌する匂い物質であり、同じ種の仲間に限つてごく微量で性行動や逃避、集合などの信号になる。

人工的に作られた異性を引き付ける性フェロモンを農地に撒き、交尾を邪魔したり、一網打尽にしたりする。害虫も益虫も皆殺しにする殺虫剤と異なり、どの生物にも毒性がなく、環境に残らない。

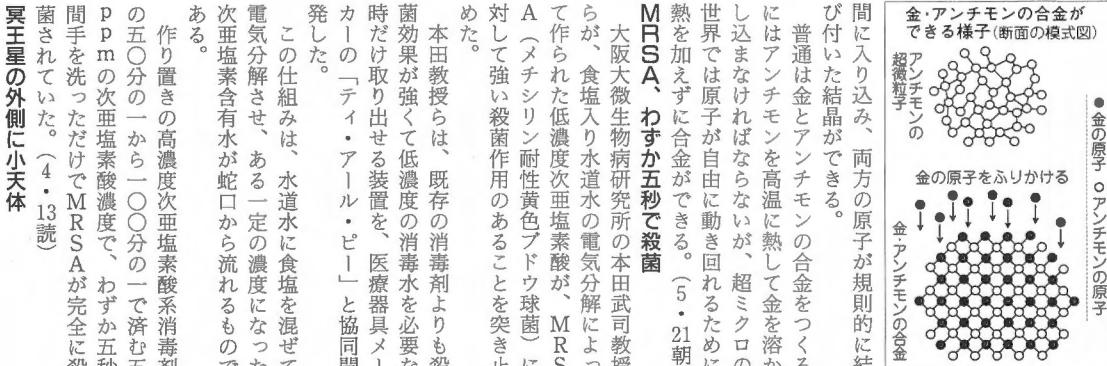
フェロモンメーカーが米国で実験したところ、ある害虫を減らしたら関係ないはずの別の害虫もいなくなつた。殺虫剤を使わないので害虫の天敵が元気になり、人間が壊した自然界のバランスが元に戻つたためであるという。(4・9朝)

ピラミッドに謎の部屋
カイロ近郊ギザにあるクフ王のピラミッドで、これまで知られていないかった部屋がドイツ科学者チームのビデオカメラ付き小型ロボットによって発見された。この部屋は「王の玄室」の下の女王の部屋から斜め上方に延びた穴の行き止まりにあり、クフ王の財宝が入っている可能性がある。(4・17毎)

混ぜるだけで合金

異なる金属原子が自然に混じり合う超ミクロの世界の不思議な現象を、大阪大教授と工学部の保田英洋助手らが電子顕微鏡で撮影した。

アンチモン原子が数千個集まつた直径約一〇ナノメートルの超微粒子を炭素薄膜の上におき、蒸発させた金の原子をふりかかると、金原子がアンチモン原子の



M R S A、わずか五秒で殺菌

大阪大微生物病研究所の本田武司教授らが、食塩入り水道水の電気分解によつて作られた低濃度次亜塩素酸が、M R S A(メチシリソ耐性黄色ブドウ球菌)に対して強い殺菌作用のあることを突き止めた。

本田教授らは既存の消毒剤よりも殺菌効果が強くて低濃度の消毒水を必要な時だけ取り出せる装置を、医療器具メーカーの「ティ・アール・ピー」と協同開発した。

この仕組みは、水道水に食塩を混ぜて電気分解させ、ある一定の濃度になつた次亜塩素含有水が蛇口から流れるものである。

作り置きの高濃度次亜塩素酸系消毒剤の五〇分の一から一〇〇分の一で済む五 ppmの次亜塩素酸濃度で、わずか五秒間手を洗つただけで M R S A が完全に殺菌されていた。(4・13読)

冥王星の外側に小天体

(4・28説)

四〇〇〇年前のアラカン

佐賀県西有田町の坂の下遺跡(縄文中期)から昭和四二年に出土したアラカン(右下の写真)が花をつけた。

(4・23説)

すい臓組織再生に成功

遺伝子工学を使って合成した特殊な蛋白質を投与することによって、すい臓の組織を再生する動物実験に、東北大医学部の岡本宏教授と金沢大医学部の米村豊講師らの研究グループが成功した。これが人に応用できると全国で五〇〇万人の糖尿病患者の完治に道が開かれる。

太陽系の最も外側にある冥王星の外側を回っている小天体を米国の天文学者が初めて発見した。これにより太陽系は従来の一・一二倍の大きさに広がる。ハワイ大学天文学研究所のデービッド・ジューン教授とカリフォルニア大学のジェーン・ルー博士が昨年八月に名付けられた。太陽からの距離が冥王星の約一・一二倍の円形軌道を三〇〇年周期で回っている。この軌道は最近の学説で彗星の発生地と考えられている「カイペールト」と一致していた。(4・22毎)

電解活性水に殺菌効果
水道水から電気分解された強酸性の電解活性水が、H I VやM R S Aなどの多くの殺菌やウイルスに対しても強い殺菌効果のあることが、東北大歯学部の奥田礼一教授と清水義信助教授、日本インテックの共同研究で明らかになった。(4・22毎)

電解装置に普通の水道水を入れて電流を流し、p Hが二・七以下の強酸性電解活性水を精製した。一cc当たり一〇〇万個あつたH I VやM R S Aのウイルスは一分以内に死滅した。

原料は水だけで副作用もなく、医療機器の洗浄などに活用ができるという。(4・23説)



アルツハイマー病、高精度で診断

東北大農学部の宮沢陽夫助教授と同大医学部附属病院の佐々木英忠教授らの研究グループが、老人などに痴呆症状を引き起こすアルツハイマー病を、血液検査によって七割の精度で診断できる方法を開発した。患者の赤血球に特定の過酸化脂質が多く含まれることを利用したもので、発病予測も可能となる。

研究グループはアルツハイマー病患者六一人と健常者一四六人から採血し、「光学発光検出・高速液体クロマトグラフ法」で赤血球の過酸化リソーム脂質の分布量を比較した。

その結果、患者の赤血球からは健常者の三一・一〇倍の過酸化リソーム脂質が検出された。診断的中率は約七〇パーセントに達した。(5・2説)



宇宙の夜汽車？
(4・21毎)

米国の地質学者によつて発見された「シユーメーカー・レビー彗星」は、昨年木星近くを通つた際に、木星の重力で碎けて二〇個以上に割れたものであることがわかつた。

写真はハワイ大学のグループがマウナケア天文台から捕らえたもので、二〇万キロに渡つて数珠つなぎになつてゐる。

(4・21朝)
（5・10毎）

日本列島での原人存在が決定づけられた。宮城県東北歴史資料館と県内の民間考古学研究グループが八年から発掘調査を続けていたが、今回富山大学広岡公夫教授と奈良教育大学長友恒人教授が地層年代測定値を出した。

広岡教授は地磁気の南北が何度も逆転したことを利用した古地磁気法で高森火山灰層の地磁気逆転を確認した。

長友教授は宇宙からの放射線が層内の石英粒子に当たつてできる傷を利用して熱ルミネッセンス法で年代を確認した。これらの測定値と遺跡地層の堆積順序とを併せた結果、資料館は「複数の測定に分布するウイルスが突然変異によつて哺乳類に対する感染力をを持つウイルスに変容することがわかつた。

例えば「A香港型」ウイルスの場合は、シベリアで繁殖するガンやカモが持つ「III型ウイルス」が、越冬地の中国南部で家畜のブタに感染する。次にこのウイルスがブタの体内で人間に感染する「A香港型」に生まれ変わる。そしてこの新しいウイルスが人間に感染し、日本に持ち込まれる。

同研究グループの国立予防衛生研究所の根路銘室長は、「地球上の生きものは、ウイルスから人間まで、皆お互いにプラスとマイナスの役割を抱えながら生きている。その仕組みを解説すれば、病気の予防や治療にもつながるだろう」と話している。（5・12読）

五〇万年前の日本に原人

宮城県栗原群集館町の「高森遺跡」が北京原人と同年代の約五〇万年前までさかのぼる遺跡であることが、石器出土層などの科学的な年代測定で導き出され、

日本列島での原人存在が決定づけられた。宮城県東北歴史資料館と県内の民間考古学研究グループが八年から発掘調査を続けていたが、今回富山大学広岡公夫教授と奈良教育大学長友恒人教授が地層年代測定値を出した。

広岡教授は地磁気の南北が何度も逆転したことを利用した古地磁気法で高森火山灰層の地磁気逆転を確認した。

長友教授は宇宙からの放射線が層内の石英粒子に当たつてできる傷を利用して熱ルミネッセンス法で年代を確認した。

これらの測定値と遺跡地層の堆積順序とを併せた結果、資料館は「複数の測定に矛盾がなく、地層の上下関係とも整合性があり、高森第1層より一〇・二〇センチ下部の遺跡は五〇万年前に近い」と判断し、原人遺跡との見解に達した。

(5・13毎)

砂漠の地下に巨大な湖

タクラマカン砂漠の地下に、八兆トンの地下水が存在することが中国科学院の調査でわかつた。

周囲の山脈から流れた雪解け水が地下に浸透したもので、同砂漠のタリム盆地では巨大な石油資源の埋蔵も確認されてゐる。

この砂漠の地下には、地下水を含んだ厚さ二〇〇から三〇〇メートルの地層があり、大半の地域で一〇メートルも掘れば地下水に突き当たるという。（5・20読）

超新星が2度の輝き

北天のおおぐま座で発見された超新星

恒星が最後に輝く現象であるため、生き返ったような二度の輝きは天文学史上でも初めての発見である。

この超新星はスペインのアマチュア天文家が発見した、地球から一四〇〇万光年離れた銀河M81の中にある「SN 993J」。三月三一日の一〇・七等で最高に輝いた後急速に減光したが、四月二〇日に再び明るくなり、一〇・八等の輝きになつた。（5・21読）

フロンガスを無害化する装置を開発

神奈川県工業試験所がプロパンガスの爆発に伴う熱衝撃波を利用して、環境問題を引き起こしているフロンガスを無害化する装置の開発に成功した。この装置は、内径三・五センチ、長さ一メートルのステンレス製のパイプに、空気と混合したプロパンガスとフロンを充填し、一秒ごとに点火プラグで爆発させる。

この時に生じる温度三〇〇度、秒速二〇〇メートルの熱衝撃波によって、瞬時にフロンを分解する仕組みである。八時間の運転で、家庭用冷蔵庫の冷媒で二〇台分のフロンが処理でき、製作費は約三〇〇万円という。（5・31朝）

ビタミンは心臓病・癌などに効く

ハーバード大学の疫学者ウォルター・

ウェーリットらの研究チームが五月に発表した報告によると、一二万人の男女を八年間追跡調査した結果、一日最低一〇〇IUのビタミンEを摂取している人は心臓病の発生率が通常より四〇パーセント近く低く、ビタミンDも癌細胞の増殖を予防する効果があり、その他各種ビタミンによる酸化防止剤は癌をはじめ六〇種の成人病を防ぐ万能薬だという。

A Life Full of Mysterious Incidents by Fukuzo Chiba

不思議な体験連続の人生

千葉福造

私は昭和二二二年一月四日に生まれました。その年はうるう年で二月四日が節分になります。それで私が生まれたときに「鬼は外、福は内」とやつてたらしくて、それで私の名前に祖母が福造という名をつけてくれたのです。

私は小さい頃からこの名前が大嫌いでした。

恥ずかしい話ですが、私は幼稚園の頃から人と話をすることができない性格でした。それで授業中も私だけは外でブランコをしたり滑り台で滑ったりして遊んでいた暗い性格の子だったのです。今ならば自閉症というレッテルを貼られたと思います。

小学校に上がつてからも同じ事をくり返していました。ある日、先生からこっぴどくお尻をたたかれました。それ以来、体は教室にいても心は常に野外にいるような性格でした。

中学、高校と進むにつれて、自分自身を変えたいという気持が起りました。柔道をやつたり空手をやつたりしました。

一試合で一生涯を体験

大学（國士館大学体育学部）に進んでからは学校の近くに「松陰神社前」という駅がありまして、そこである日、ポスターを目にしたのです。そのポス

ターには「キックボクシング」と書いてありました。そして沢村忠選手とタイの選手が戦っている写真が載っていましたが、私はそれを見たときに頭がガーンと叩かれた思いがしたのです。つまり私の内部から、それを「やれ、やれ」という気持がわきおこってきました。今回これを見逃すと、年をとつてから後悔するぞ」という気持をおこしまして、文京区にあります小石川のジムの門を叩きました。

そして試合に出るまでに約一年ばかり練習をしたのですが、デビュー戦のときに一ラウンド三分間で五ラウンド戦うんです。それはもう凄いもので、私は一つの試合に自分自身の人生といいますか、一生涯というものを感じました。

私は自宅でしばらく仕事をしていました。自宅の近所にやはり自閉症の小学生がいました。男の子です。その子はいつも母親に手を引っ張られて無理やり学校へ連れて行かれたのです。

そのうち、その子が中学へ上がってから体がしだいに大きくなってきたのです。そのため母親の手に負えなくなりました。するとある日、そのお母さんが私の家に見えまして、「千葉さん、手伝ってくれませんか」と言われました。

私はもともとそんな性格だったものですから、お互いに通じあうというか、すごく相手が私に好意をもつてくれまして、学校の授業が終わると私の家でアルバイトをしていました。今は社会人として立派に成長しています。精神薄弱児という言葉は本人を傷つけるだけですから、そんな言葉は使用しないようにするとよいと思いますね。

最初のUFO目撲体験

私が幼稚園から小学校に上がる頃ですが、家の前に原っぱがありまして、そこに子供たちが沢山集まっていたんです。それで私がなんの気なしに空を見上げていたら、西の方の空から楕円形の尾っぽを引いた光る物がフワフワと飛んで来たんです。

そこでいちばん大きな子供が「人魂だあ！」と大きな声で叫びました。私もわけがわからなかつたんですが、非常にびっくりして、無我夢中で逃げました。ところが私だけは家とは逆方向に逃げちやいまして、家へ帰るまでにすごく怖かつたことを今でも覚えていました。あれが人間の魂なのかなと思います。

やはり小学生だった頃ですが、ネコの人魂というのを見たことがあるんですね。私が捨てネコを拾ってきました。親に反対されたのですけれども、なんとか飼つてもらいまして、しだいに大

きくなつてきました。非常に可愛いネコでした。

近所に私の親戚がありまして、ネズミが出るからせひそのネコを貯してくれといふのです。それで弟が大きなネコを抱えて連れて行つたんです。そうしたら途中で車が来たときにネコが飛びだしちゃいまして即死したんです。

私と祖父と二人でネコを拾いに行きました、祖父がやさしくネコを毛布でくるんで、一緒に帰る途中のことです。私の家のある葛飾区（東京）というのは、昔、まわりは田んぼばかりで、二人で並んで歩いていますと、私のちょうど左手の二メートルぐらいの所に、丸い光る物が一緒について来てるんです。

それを私はしばらく見ながら歩いておりましたが、それが私の前にふつと来た拍子に、それがパッと消えました。そこで、そのことを祖父に話しましたら、「お前が可愛がったネコだから、最後のお別れにお前に姿を見せたんだ」と祖父が言いました。それで私は、それがネコの魂なのかとへんに感心した記憶があります。

未来のGAP本部上空に大母船？

一九六〇年前後なのですが、子供たちが集まる場所がありまして、そこへたまたま私が行つたんです。その日は寒くて風がすごく強かつた

んです。誰もいないものですから、なにかいつも感じが違うんです。景色を見回しますと、いつも見慣れない角度で傾いて浮かんでいるんです。

その煙突の上にもう一つの煙突（のよう見える細長い物体）が四五度くらいの角度で傾いて浮かんでいるんです。すぐに目が釘付けになりました、それをしばらく見ておりました。

それで、寒くて帰りかけたんですが、もつたいないというか、帰るわけにゆかないという気持になりました。一分か一五分くらいでしょうか、かなり長い時間、見ておりました。そして帰りかけては、また引き返して見続けるということをくり返した記憶があります。

その煙突のある場所は直線距離にして五〇〇メートルほどですが、最近わかったことですけれども、地図を出して直線を引いてみたんです。それで私が思うのに、五〇〇メートルの距離の所の煙突の上に別な煙突があつたのではないか、もつと遠い所に物体があつたのだと思います。

その直線距離を引いた煙突の所からさらに直線を引きますと、四・八キロ

先に現在のGAP本部があるんです。私は（昔見たもう一つの煙突のように見えた物体は）母船だったと思つていらっしゃるんですが、その母船が久保田先生に関係のある母船ではなかつたかと思つています。

意識による旅行？

私が日本GAPに入会したきっかけですが、平成二年の夏休み前でした。

非常に真実が知りたいといいますか、アダムスキーリーの本をすごく読みたくないのですが、その辺の大きい本屋さんに行ってきました。それまでアダムスキーリーに探しましたが、見つかりませんでした。

それで神田まで行きました。新アダムスキーリー全集を全巻そろえようと思いついては、また引き返して見続ける

ところを、私はしばらく見ながら歩いておりましたが、最近わかつた

ところをぜひとも見たいと思いまして、始めはドキドキしたんですね。思いましたが、意を決して参加しました。それが、意を決して参加しました。それ以来やみつきになりました、月例セミナーに参加しております。

『生命的の科学』の中に「あたかも自分が生きるかのように——」という部分がありますが、私はそれを実践したことあります。

（編注）新アダムスキーリー全集第3巻『生命的の科学』六九頁に「彼らは観察される個体があたかも自分であります。しかし、その個体について意識的にな

見て、その街路樹が自分自身であるようなフィーリングを起こすと同時に、その街路樹が自分を見ているといつもそれ以上は起き上がれません。そのときはあきらめました。

ある日曜日の午後ですが、ごろ寝しながら本を読んでいたのです。そうしたら、いつの間にか寝てしまいまして、目が覚めたときは体が硬直していました。女房がよく金縛りというのにありますので、私も金縛りにあつたと思って、すごく嬉しかったんです。そして手が動くかどうか試してみようと思って、両手を力一杯顔の前にもつてきました。そして薄目をして、見て見たんですが、自分の手が見えないんですね。両足も自分の視界に入る範囲内に持ち上げてみましたが、両足も見えないんです。

そこで体を起こしてみようと思いまして、近くの柱まで手を伸ばしました。寝ている状態では絶対に柱まで手が届く距離ではないんです。ところが、手が届いて柱の感触があるんです。自分で力一杯引っ張りまして、三分の一ぐらいい起き上がるのですが、どうしてもそれ以上は起き上がれません。

それが終わつたあと脱力感といいますか、すごく気持が良かつたんです。頭の中で風が吹いているようで、頭がすごくすっきりしました。

それから何日かたつて夜中に目が覚めたのですが、その覚め方がちょっとおかしくて、夢でもない現実でもない非常に奇妙な感じで目覚めたのです。そして私は玄関の外にいました。私は二階で寝ているんですが、階段の方から表の玄関の方へ回つて出て行つたという記憶があります。

そして空を見ますと星が出ていました。そのときに幽体離脱という言葉が適當かどうかはわかりませんが、それだつたのだと私は思いました。

玄関の右側に小さい庭があるんです。その庭に犬を飼つているんです。私が犬を見ますと、犬がこちらを見て一生懸命に尻尾を振つています。それで、「ああ、わかるんだな」と思つて犬の方へ近づいて行きました。

そして両手で頭を撫でたのです。すると犬が急に怖がりだしまして、自分の後ろ脚の股のあいだに尻尾を丸めて頭を低くして、私から逃げようとするんです。

その瞬間、私はやつぱりそうなつているんだという実感がわいて、玄関戸を通り抜けられるだろうと思つて、手で押してみたんです。そうしたら感触があつて、手が入つてゆかないんです。そんなわけはないと思つて何度かやってみましたのが、ダメです。

そこで今度は思いきり頭からぶち当たつていったんです。そうしましたら、急に布団の中で目が覚めたんですが、

覚めた瞬間も自分自身が表にいたという実感がありました。

次の朝はすごく気持が良かつたんです。ところが足が地についていないと歩くのが足りませんが、それだけ立つてられないぐらいになつたのです。

そこで病院に行きましたら、お医者さんは風邪じゃないかと言われまして、風邪薬をもらつて帰つてきました。

次の日はケロツとしてなんともないんです。

不思議な図形の連続出現

私はESPカードが大好きで毎日練習しています。これは家族みんなで楽しんでいるんです。どちらかといままで本の頁をめくるようにパタパタと変わってゆきます。するとそのとき家がめまぐるしく頭の中で回転する

んです。

毎日練習しているということで、自分自身の得意分野といつたものが引き出されてくるような感じを受けます。

ある日、布団に入りましたして、目を閉じていましたら、目の前に急にスクリーンが出てきました、いろいろな図形が出てきたんです。その図形といふのが、あらゆる形のものがぎつしり詰まつていまして、それに色がついているんです。その色といふのがすごく強烈で鮮明なのです。パステルカラーとい

いますが、そういう色が目の前に出でてきました。

それを見終わると、それがパタッと前に倒れるんです。すると次の絵が出

Pカードを練習することによって、自分の体の中にある原子そのものにスイッチが入るような気がします。

夜寝るために布団に入りましたして、目をつむつて心を落ち着けてきますと、原子同士が連鎖反応を起こすんです。スイッチがパッパッと入るんです。そのときにさつきのような事が起ころんだと最近思つてています。

私は毎日ESPカードを練習していまして、次に何が起るかなということがすごく楽しみなんです。ESPカードの結果というのは一進一退で、いいときもあれば悪いときもあつて、あまり効果は上がらないんですが、やつていれば必ず何か不思議な事が出でるんです。

先日は司会者の篠さんから（四月の東京月例セミナーで講演依頼の）お電話を頂きました。その次の日ですが、やはりその日は寝るときに体の細胞がザワザワして騒いでいるような感じがするんです。これはフィーリングですから、うまく説明ができません。そして布団に入つて今度の月例のセミナーでは何を話すかと考えておりました。

そうしましたら、頭の後ろの奥の右下の方に、色が三つ出でました。そうしたら目の前にスクリーンがパッと出てきましたして、男の方の顔が出てきました。上半身です。それがものすごく鮮明なのです。あたかも本当にそこ人がいて、その人を私が見ているかのように鮮明でした。全然見たことのいたんです。頭の中がものすごく明るいものですから、そのとき、ああ、ま

重要なESPカードの練習

Space People's Aura
by Mistutaka Kamiya

で見る オーラ 星人 放つた女性

紙屋光孝



で、他の人たちよりも際立つて目立ちました。

あとでわかつたことなのですが、その人こそ他の惑星よりこの地球へ来られた方だと思いました。

なぜ強く感じたかと申しますと、私はその方を見たときは、まだオーラを見る力が弱かった状態でしたが、それにもかかわらず見えたのですから、それが素晴らしい力強いオーラの持ち主であったと思われてならないからです。

あのとき何かがありました。見たくてたまらなかつたのです。

その方は、私がその方の方を見ていたのを感じていたと思われてなりませんでした。それで私とすれちがつたとき、顔をやや下向きにして私からの視線を避けるためにうつむく行動をとつたと思われます。

書店で異星婦人を見かける

日本GAPの会員の方のなかには、他の惑星人がこの地球に来て生活をなさつてることを、テレパシーやオーラ透視によつて知つた方が数名おられることが、東京月例セミナーのテレビで聞きましたが、私自身も同様に、その人たちを別々な場所で二人も見ました。

まず最初に見た人は次のとおりです。

私が鹿児島市内に馬蹄形の磁石を探しに出かけて、天文館通りより山形屋方面へなんとなく足が向いて、商店街を通り抜け、道路にさしかかったとき、ちょうど信号機が赤であつたために、信号に従つて立ち止まり、なにげなく向こう側の歩道を歩く人たちを見ていたときに、アメリカ人風の女性の方が人込みに混じつて前方を見ながら歩いていました。

私はすぐさまその方向へ視線がゆき、頭上のオーラを見たら、黄色の薄い色

じような日本人タイプの女性が私の方を見ているのです。

そのとき視線が合うと同時に、すぐ

に相手のオーラが目にとまりました。

その方は普通の人よりもオーラが鮮明で輝いていて、範囲が広く、なんと

その瞬間に思いました。

その方のオーラをよく見ましたら、薄い黄色で、他の色との混ざった部分がなく鮮明で、一般の人のオーラよりも頭上から高く光が出ていたことに気付いたときから、その方がこの地球の

人ではなくて他の惑星から来られた人だと感じました。

帰宅途中にUFOを見ました。

夕方の上空がなんとなく気にかかり、毎日の一番星である金星を気にかけて、車中より見ながら運転しておりました

ら、金星よりも距離にして見かけ上二〇〇メートルぐらいの所に、金星と並行して金星よりやや大きい光の玉が私の車の方へ迫つて来ました。

最初は飛行機じゃないかと一瞬感じたのですが、その物体がさらに大きく輝いたとき、UFOだとはつきりわかりました。

それからまもなくUFOが

こういう体験があつてから数日後、

この文章に書かれてある内容は、今まで本誌に書かれてきた文章や話題に似通つた点があろうかと思ひます。私は作文を書くのは小学校時代から苦手で、こちらの思つていることが読む人に伝わつてゐるだらうかと思ひます。

テレパシーがこの地球上で早く皆様に使いこなされるような時代になればよいがと考へます。明るい未来のことを考え、自分自身に磨きをかけて頑張つてゆきます。

私が住んでいる九州の田舎でも他の惑星の人たちが地球の事について情報を吸収に来ていらつしやるということを私自身実感したときには驚きました。

それはオーラ透視によつて感じたために確認できたと自分では自負していま

じたので、その方を見ると、我々と同通信教育の本が並べてある所から、誰かが私の方を見ているような視線を感じました。

「有難う」という言葉をUFOに発しました。

大きく輝いたとき、私はなにげなく

ましら、そのUFOはまたも輝きをまして遠ざかり、消え去りました。このUFOの出現と書店で見た他の惑星の人と何かの関連があると思われてなりません。

それ以来、UFOを見てはいませんが、何かあの事件が忘れられなくなりまして、私自身これからテレパシーの開発にもっと力をいれてゆかなければならぬと考へています。GAPの皆さんからも良きご指導と励ましの言葉と記事を伝えて下さるようお願ひ致します。

この文章に書かれてある内容は、今まで本誌に書かれてきた文章や話題に似通つた点があろうかと思ひます。私は作文を書くのは小学校時代から苦手で、こちらの思つていることが読む人に伝わつてゐるだらうかと思ひます。

テレパシーがこの地球上で早く皆様に使いこなされるような時代になればよいがと考へます。明るい未来のことを考え、自分自身に磨きをかけて頑張つてゆきます。

私が住んでいる九州の田舎でも他の惑星の人たちが地球の事について情報を吸収に来ていらつしやるということを私自身実感したときには驚きました。

それはオーラ透視によつて感じたために確認できたと自分では自負していま

私だけが見 UFO(1)——須山有美子

UFOs Are Coming To Me (1) —— by Yumiko Suyama

(1) 一九九二年八月二八日夜一〇時一五分頃、洗濯物を一枚しまい忘れていたことを思い出して窓を開けた。すると近所のNさん宅の上空にキラキラと輝く物体が見える。

よく見ると、少しずつ動いている感じがする。望遠鏡をのぞいてみると、赤・青・緑などの美しい光を発しながらものすごい速さで回転しているように見えた。

三〇分後、それは遠ざかって消えてしまった。「何だろう?」と首をひねるばかりだった。

(2) 二九日夜九時頃、昨夜の妙な物体が出ていた位置よりやや右方から、オレンジ色の、星よりもかなり大きな物体が出現した。強い光を放ちながら上へ上へと上昇して、こちらに近付いて来る。

そして空高く上がったと思うと急に光を消し、かわりにほんの小さな光を物体の前後にともさせて、北西へ行ってしまった。速さは飛行機よりも少し速いといったところだった。音はない。UFOかもしれないという思いが強くなる。

(3) 翌三〇日も夜空を見上げた。二日続けて不思議な物を目撃したのだから、きっと今夜も——と、なんだかワクワクするような気分だった。

しかし、この日はなかなか現れなかつた。何度も何度も窓を開けて夜空を眺めまわした。

一一時一〇分頃、これが最後と思つて窓を開けて、しばらく見ていると、最初の夜キラキラとした物体が出ていた位置で、ピカッピカッと光りながら動く物がある。

四〇五回その光は点滅しながら動いて消えた。まるでまちばうけをくつていた私へのささやかなプレゼントのようにで、なんだか嬉しかった。

(4) 三一日。この日見た光景は本当に凄かった。今でもこんなことが現実に起ころうかと思えるほどだ。

夜七時四五分頃外へ出た。この日は特に澄みきって、星もよく見える美しい夜空だった。それまでは家の中から観察していたのだが、今夜は外でもつとよく見たいと思った。

家を出て數十歩歩いて振り帰った時、西南の方からオレンジ色に光る物が飛んできた。

「あつ!」と思つて息をのんで見ていると、我が家のある低い山の上空で止まつた。そこは、まわりは木々が茂っているのだが、ちょうど真ん中だけ木々が切られている部分の上空で、私の位置の正面である。

「もしかしたら私はUFOを見せられているのだろうか?」

そんな気がして仕方がない。ドキドキしながら見ていると、そのあたりをUFOは少しずつ上下左右に回るようになつた。

そしてさらに気づいたことには、そ

のオレンジ色のUFOの周囲を、やつと目に見えるほどの小さな物が、虫のように飛んでいたのだ。いつだつたか、テレビで大きなUFOのそばを小さなUFOが飛んでいることもあると聞いたことがあるが、まさにこれだと思った。

じつと見ている私の近くを、文化祭を開催に控えた高校生たちが自転車でザワザワと遅い下校をしていた。しかし一人もそのUFOに気付いたらしい高校生はいなかった。他の位置からはUFOを捕めた場所だったのかもしれない。

二〇分ほどするとUFOたちは少しずつ移動して山の向こうへ行つて見えなくなつたので、家に入った。

そして興奮さめやらぬまま再び窓を開けた。すると、二九日にオレンジ色の光体が現れたのと同じ場所から、また全く同じ大きさと同じ色の物体が出現し、上空へと上がつて行く。

そしてここから見て見かけ上一〇セントほど上がつた所で突然消えた。その消え方が不思議だった。素早く去つて行つたとか、ほんやりと消えたとかではなく、パツとかき消すようにいなくなつてしまつた。そしてそのあとで黒い雲のような、煙のような物が浮かんだが、それもすぐに消えて、あとはどこまでも澄み切つた空が広がつてい

るばかりだった。

それにしても私はついこの間までは特別にUFOに関心を持っていたわけではないのに、それが毎晩こんな体験をさせられて、何がどうなつているのか、まるでわからない。しかもUFOを見るタイミングの良さはどうだらう。

じつと見ている私の近くを、文化祭を開催に控えた高校生たちが自転車でザワザワと遅い下校をしていた。しかし一人もそのUFOに気付いたらしい高校生はいなかった。他の位置からはUFOを捕めた場所だったのかもしれない。

(4) 九月五日のことである。九時三〇分頃、西の空の高い所から斜めにオレンジ色の物体が飛んできた。それほど速くなく、フワフワとして、どこかホタルの飛び方に似ている。

スーツとこちらに近付いて来たので、急に恐怖感にとらわれた。前にテレビでUFOは怖いものだ、内部で人体実験も行なつたりするというようなものを見たことを思い出したのだ。

するとUFOはゆるやかにカーブを描いてフワフワした感じで西南の方へ向かい、小さくなつて消えた。

以上が私のUFO目撲体験のすべてだが、実は初めてオレンジ色の物体を見たとき、「やはりオレンジ色だった」という思いが去来した。というのは、私の母は一七年前、UFOを目撲し、その話を何度も聞かされて、UFOはオレンジ色という固定概念のようなものがあつたからである。

私だけが見るUFO(2) 宮本浩子

UFOs Are Coming To Me (2) — by Hiroko Miyamoto

今回、ユーコン誌を初めて読ませて頂いて、さまざまに興味深い内容にふることができ満足しました。UFO観測会特集ということで、その様子が報告されていましたが、ぜひ私の体験をお話し致したく思い、ペンをとつた次第です。

私がそれに気付いたのは昨年一〇月中旬頃です。夜ともなれば二階の部屋の窓のほぼ正面にある連なった山々の頂上あたりに光体が現れるのです。二つの山の頂上付近に、日によつては両方、または片方だけというように、現れ方も光の放ち方も光の数も異なりますが、毎日のようになります。光は一定時間放たれていたり、あるいは短時間で消えたり、光量も肉眼でどうにか認められる程度のものから、ナイター照明に近い強いものまで、さまざまです。色はオレンジ色から赤、または青白い色で、光量が増すとオレンジ色に銀色を加えたように見えます。最初の頃は何か人工の照明にちがいないと思っていました。

しかし不自然さが残りましたので、明るい間に双眼鏡で見てみましたが、それらしい物は探し出せませんでした。この頃は光体を見るのが楽しみになりました。山々はどれも一〇〇〇メートルにも満たない低いものばかりです。「ここにいますか?」と頭の中で呼び

かけると、時間の差はあれ、頂上のあたりが輝くことが多いのです。

ときには反応がないこともあります

かかると、時間の差はあれ、頂上のあたりが輝くことが多いのです。

かけると、時間の差はあれ、頂上のあたりが輝くことが多いのです。

が、ほとんど反応してくれます。するととかさず手に持つている双眼鏡をのぞきこむのですが、なにしろ、

あたりは闇で、距離的なものもあるた

め、それが果たしてどのような物な

かは確認できません。

普通は定位位置で点滅するか、または

光をともしたままのことが多いです

が、ある日などはとても感動的に動いてくれました。言葉でどう描写したら

よいか分かりませんが、ちょうど野球のピッチャーが投げたボールの連続の軌跡を一枚の写真であらわしたかのようにはっきりとその移動の様子を見ることができます。それが現れていたのです。

光体は自在に動き、ときにはフット

消えて、また現れたりしていました。

このような動きを双眼鏡を通して見て、これは間違いなくUFOだと確信しました。ときには山の中腹あたりでも点滅しながら動くことがあります。UFOは案外低空でも飛びまわっています。

その部屋には別方向にもう一つの窓

がありますが、そこからも赤味がか

ったオレンジ色の光体が移動して行くのを見ることができます。多くは右方向

から現れ、ゆっくりと進みながら人家のかけへと隠れます。私の家は丘陵地

にあります。二階のその部屋に立つて、ほぼ私の目の高さの位置を飛行して行きます。

この光体の場合は、比較的近くを飛行しているにもかかわらず、飛行機特有のあの耳ざわりな騒音は聞かれません。あるときは飛び立つばかりで高度をそれほど上げていない飛行機の下方を光体が飛んだり、ニアミスとなると光の数が増えたり光量が増したりします。

おそらく偶然の一致だらうと思つていましたが、何度か私の正面に来るとなイトー照明ほどのオレンジ色を含んだ銀色の光をカーッと放つことがあります。そのようなことがあると、もしかして私はその光を見せているのではないかと思つたりもするのですが、はつきりしたことはわかりません。しかし

とても感動的でした。

でも、なぜ他の人々は何も気付かないのだろうかと不思議でなりません。

機だと言ひ切れないのは、前記の光の放ち方、そしてその動きにあります。

物体は日に一度が多くて二度くらい見られるのですが、左方向から飛行してきて、ちょうど私の正面あたりで止まり、光を強く放つた後、再び左方向へ戻つて行くのです。これなど飛行機の動きとは思えません。

また目撃報告によくあるように、光を放つていたかと思えばフツと消え、いつの間にか違う所に現れたりするこ

とも見受けられます。

私は通勤にバスを利用しています。

私の住む町（福岡県須恵町）が近くな

ると建物もそれほどたてこんでなくて、

パツと視界が開ける所も多くなり、地

上から空まで見渡せます。そのような

所では光体を見ることがあります、ときに
はバスと並ぶようにして連なる山々の
頂上あたりを飛ぶこともあります。

また飛行機としてオレンジ色の光
をともして光体が動いているところに、
ゴーツと騒音をたてて飛行機がいきな
り現れるところなど、見ていてなんと
もいえない奇妙な感じがします。とつ
さに双方を比べてみると、やはり飛行
機のほうが派手に存在を示しています
が、もう一方の光体は静かに光をとも
して飛んでいるという印象を受けます。

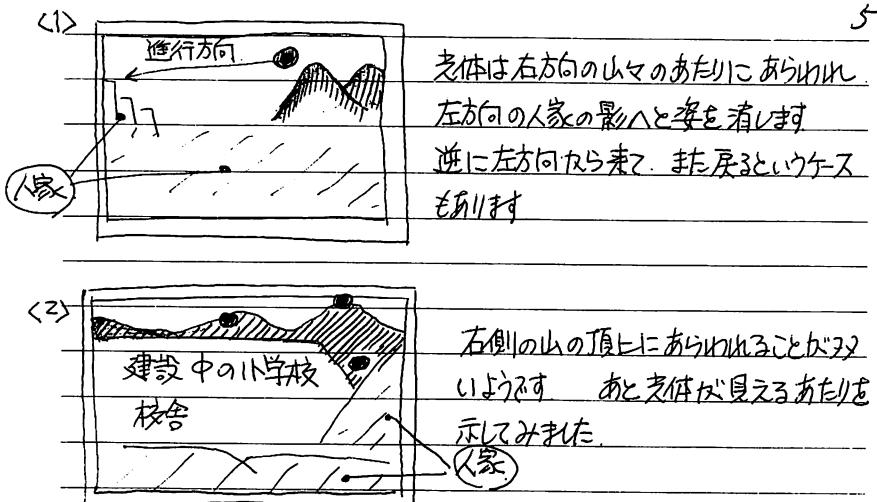
私が光体を見る時刻としては、バス
に乗っている時間も含めると、早くて
六時過ぎから床につくまで（一〇時過
ぎ）ですが、日によって頻繁に見る日
と、わずかしか見られない日と、さま
ざまで。こちらの心が解放的になっ
ている週末や祝日を迎える前の日や当
日などはサービスがよいというか、よ
く見るようと思われます。

町の上空を飛行するのは大体に午後
九時頃まで、あとは山々の頂上付近
や中腹あたりを飛んでいるようです。
山々に関しては、あたりが暗くなると
時間に関係なく光を示しています。光
体の数はおよそ二～四ぐらいでしょ
うか。

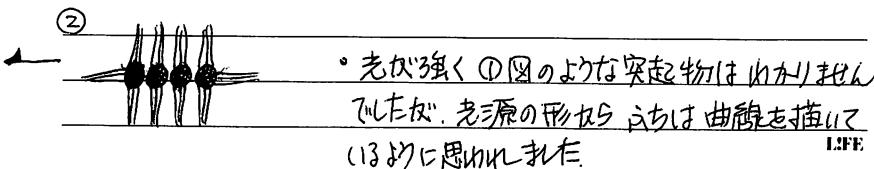
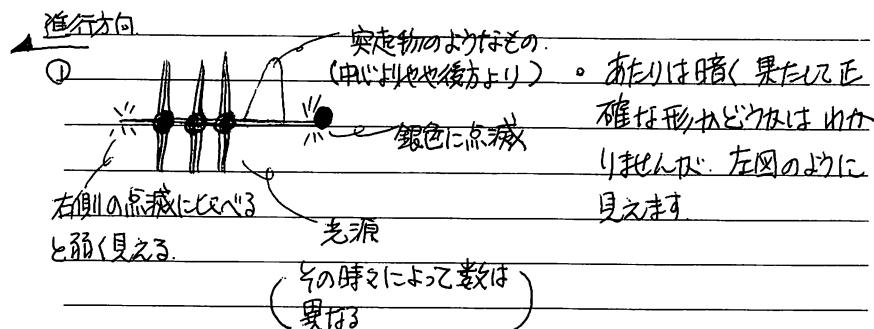
意図的に毎日光を示しているように
思われるUFOですから、それを動か
しているであろう異星人とも、きっと
意思を通わせられるのではないかと思
い、この頃は折につけて話しかけを始
めました。

今このところ成績はあります
が、気長に続けみるつもりです。そ
して、もし接触という機会に恵まれ
ば、おそらく私の人生観や物事に對す
る考え方も大きく変わることでしょう。

目撲者によるイラスト



（1）の図で、老体は、手動かねがら老の数を増やしたり光量を増したりしま
すが、いくつか描いてみれました。



万物は人間の想念に感應する

医学博士 塩谷信男

筆者・塩谷先生は九一歳ながらかくしやくとして健康と若さを保つ秘訣の指導を続けておられる。今回も素晴らしい体験記を寄稿されたので、ここに公開した。人間の精神のあり方について重要な示唆に満ちた記事である。

ら出る放射線を調べさせて下さいませんか」

差し出された名刺には「日本電気株式会社大津製造所 井上房太郎」と記されてありました。

実は私も昭和六年から、手のひらから出る放射線を生命線と呼び、「生命線研究所」という言葉を内科医看板の中に書き込んで、私なりの研究をしていましたところなのでした。

それで大いに喜んで、上がつてもら

べたいところですが、すべて割愛して一つだけ述べます。

ユーロン誌一二〇号を頂き、有難うございます。今号は実に素晴らしい内容に満ちております。色々感想を述べたいところですが、すべて割愛して一つだけ述べます。

手から出る放射線を測定

昭和二〇年一月（戦争中）渋谷の小生の診療所（戦争で焼かれる前）に未知の井上房太郎さんという人が見えて、

測れません。驚きました。今までだいぶ多くの人について実験しましたが、こんなことは初めてです」

とのことでした。

いろいろ話がはずみ、とうとう「今夜うちに泊まつて頂いて話しましょ

う」ということになり、その夜は世田

樹木も感情を持つ

ところがその夜、面白い話になつたのでした。

「実は先生、私は解釈のつかないことが起っているんです。植物（このときは木）の樹液の流れによって電位差が起こるんではないかと思い、この機械を木にとりつけて測定してみましたが、何の変化も起りませんでした。ちょっと失望して、ナーンダ、何の変化も起こらないのかといつて、木をちよつとぶつたのです。そうしたら、メーターが動いたのです。

こりやおかしい、振動で動くはずはないから、原因はほかにあるだろうと思つて、今度は木に針を立てて刺激してみました。そうしたら大きく動くんです。

これは面白いと思っていろいろやってみたんです。木をイジメルと針が動くことが分かったので、とうとう、こりや、ひょっとすると木にも感情があるのではないかと思うようになります。先生のお考えはどうですか」

この質問に私はびっくりしました。いや、喜びました。かねがね私は草木にも感情があることを知つていました。

別れしなに機械を一つ頂戴することにつけて実験してみたところ、針が活発に動くことを知つて嬉しくなりました。

翌朝、早速庭にあつた青桐に機械をかけて実験してみたところ、針が活発に動くことを知つて嬉しくなりました。だしひクロアンペーラーは頂けませんでしたので、東大工学部から借りてきて実験を重ねました。たしかに長くも借りておけないので返却しましたら、まもなく五月の空襲で診療所が消失し、機械も同時に燃えてしまいました。ただし借りた物を返したあとだったのホッとしました。

るのは事実なんですよ。感情というよりも知性があるんですよ。そして大昔の日本人は皆知つていたんですよ。神主が御神前であげる大祓祝詞にもあるでしよう。「言問いし岩根、木根、立草も言やめて——」と。

つまり大昔は岩も木も草もみな人間と意思の交換をしているんですよ。話し合つているんですよ。それが人間がだんだん心が悪くなつたために、草木のほうが相手にしなくなり、人間もその能力がなくなつてしまつたんですよ。ただし今でも心の優しい人が花や野菜を育てるときも育つていうでしよう」

そんな話からフェアリーやニンフの話や色々と尽きぬ話で夜がふけるのも忘れたことでした。

万物は一体

翌朝、早速庭にあつた青桐に機械をかけて実験してみたところ、針が活発に動くことを知つて嬉しくなりました。別れしなに機械を一つ頂戴することになりました。大変恐縮したことでした。ただしひクロアンペーラーは頂けませんでしたので、東大工学部から借りてきて実験を重ねました。たしかに長くも借りておけないので返却しましたら、まもなく五月の空襲で診療所が消失し、機械も同時に燃えてしまいました。ただし借りた物を返したあとだったのホッとしました。

講師 塩谷信男



▲今年3月31日、東京銀座のライフケア生活館において講演中の91翁・塩谷信男医博。講演テーマは(1)長く若さを保つ秘訣。(2)絶対にボケない方法。(3)苦しまないで楽に往生できる方法、となっている。

想念で樹木が曲がる

小生は七年ほど前に現在のマンションに入ったのですが、当時、東側の窓の下に常緑樹が一本植えて（いや、自然木らしい）ありました。二年ほどしてそれが大きく育つて、窓からの眺めを妨げるようになりました。

そこで木に相談をもちかけたのです。「君達にそのまま大きくなられると、空が見えなくなるんでオレは困るんだよ。頼むから海の方へ斜めに伸びていってくれないか。海風に逆らうようになつて困るかもしれないが、頼むよ」そうしたら、なんとその後に二本とも海に向かって斜めに伸びだしました。

常緑樹のほうは太い（比較的）ところから曲りはじめ、おかげで空が見えています。木に対してはまことに済まない気持ちで一杯なのですが、勘弁してもらっています。

常緑樹のほうは太い（比較的）ところから曲りはじめ、おかげで空が見えています。木に対してはまことに済まない気持ちで一杯なのですが、勘弁してもらっています。

立派な二人の青年

あることを知つておきましたが、それらについて実験をしないうちに機械をなくしてしまいました。

最後に一つ。天体現象も自然界の現象もみな人間の心に感應してくれるとおあります。つまり万物はみな一体といふことです。小さな私も広い私です。一段と工夫をこらして、針が動くだけでなく、音も出るるようにしたのを作りましたので、これを一つ求めて色々実験をしましたが、なかなか面白い結果が出ました。

橋本君は東大工学部在学中に井上さんの記事を読み、自分でこしらえて実

らも感心して、これを見せたのが、ただ一つの例外なのです。

その青年というのは、去る三月三日に銀座のライフケア生活館で私が講演をしたとき、その聴衆の一人から内容の一端を聞いて、ぜひもつと詳しく訪ねて來たのでした。年の若いのによくもと、こちらが感心したので、つい話がはずんでしまったのでした。

話がちょっとそれますが、銀座での話は健康法の話と、心の力の無限性について話したのですが、その心の動きの不思議さについてもつと聴きたくて訪ねて來たのでした。年が若いのによくもと、こちらが感心したので、つい話がはずんでしまったのでした。

シクラメンの実験

植物との交流は今までには（六〇年に及びます。木に対してはまことに済まない気持ちで一杯なのですが、勘弁してもらっています。

植物との交流は今までには（六〇年に及びます。木に対してはまことに済まない気持ちで一杯なのですが、勘弁してもらっています。

シクラメンの葉——同じ条件にあり、形も大きさも似たような葉を四枚とり、プラスティックの底の広い容器に並べました。

(1)(2)(3)(4)と番号をつけ、(1)と(4)を両端におき、(2)を見つめたまま(3)には三四センチの高さに掌をかざし、(2)だけ心の中で話しかけました。

「お前はエライな。お前は強いんだぞ。しっかりしろ。枯れないぞ」

その間、同じ時間だけ(3)に手をかざしています。これは見ないようにします。見ただけで目から力が行きますから――。

朝、以上のことをやって、翌朝(二四時間後)に見ますと、(1)と(4)は平べつたくなつて、桜の葉のようになつています。(2)と(3)は元のままです。シクラメンの葉はデコボコしていますが、そのデコボコも元のままです。

ここでまた(2)と(3)に同じことをしました。翌朝(1)と(4)は萎えはじめましたが、(2)と(3)は変わりません。一週間ぐらいい繰り返したとき、(1)と(4)は黄色い斑点が中央にでき始め、葉もすっかりしおれてしましましたが、(2)と(3)は変わりません。ただし勢いは減つきました。

二週間後には(1)と(4)は全くの黄色い枯れ葉になりました。(2)と(3)も次第に勢いがなくなり、黄斑が出始め、四週間(正確ではありません)後ぐらいに(2)がまず枯れ、次いで(3)が枯れました。(1)と(4)の差はありませんでした。

偉大な信念の力

なお、こういう実験もしました。シクラメンの葉を四枚とつて、以下の形に容器の底に並べて、トランクルームに入れておきました。そこは小生の部屋から直線距離で五〇メートル離れた

七階にあります。小生の部屋は五階です。

そして部屋から(1)にだけ元気づけの

想念を送ったのです。このとき(1)は萎えの上の葉よりは早く枯れました。このときは五〇メートルでしたが、この距離はどんなに離れていても変わりはないはずです。

(3)と(4)をつけて並べておいたのは、もしかしたら(3)と(4)はお互いに励ましあって枯れるのが(2)よりも遅れるかもしれないと思ったのですが、全部とも(2)(3)(4)同じでした。

なお、この切り取った葉に対する実験は、あなたが推薦された『植物の神秘生活』にも出ていますし、同一婦人の例かもしれません、ほかの刊行物でも見たことがあります。

なお、机の上において葉の実験で、(3)と(2)の枯れる順序が予想に反したと書きましたが、念力のほうが掌から出る力よりも強いと思っていたからです。私の場合は逆でした。ほかの人も実験されればまた違った結果が生まれるかもしれません。

実は小生、信念の力の偉大さをことあるごとに人に説いているのです。自分自身で前人未踏の体験を持つていますから、したがつて、このときも心の力を優先させた次第でした。

書き出すと色々と書きたい事が出てきますが、ここらでペンをおきます。

21世紀への情報発信基地 FASA-NET→ログイン！

★ Fujioka Archives of Space Age-NET は開局以来 UFO・超能力問題を多面的に取り上げ、真剣なアダムスキーリー支持者の方々の活躍の場となっています。

★ 海外情報通信網を駆使した宇宙画像ライブラリイも大好評。新設の "UFO 画像ライブラリイ" には "UFO contactee" 誌掲載の珍しい UFO 写真を満載、貴方のパソコンで簡単にご覧になれます。

パソコン通信初心者大歓迎！初めての方にも親切丁寧に指導いたします。

アクセス電話番号	0274-22-6857
Tri-P ニーモニック	CXFASA
通信速度	24時間（メンテナンス随時）
通信プロトコル	N81XN, XMODEM, ZMODEM 対応
ゲスト ID	GUEST でログイン後、オンラインサインアップ可能

連絡先 = 〒375 群馬県藤岡市藤岡1462-5 原 永庫 (はら ながくら) 日本GAP会員

NIFTY SERVE ID: GBG00771

CompuServe ID : 101016, 771

E-MAIL : hara@dmh.med.keio.ac.jp

The Four Senses, Breath of Life, Reincarnation
 by George Adamski / Translated by Hachiro Kubota
 © From Alice Pomeroy's "For an Example"

心・感・生命の息・転生

ジヨーディ・アダムスキー／久保田八郎訳 □アダムスキー講演集 連載⑤

四つの感覚器官を 調和せよ

今日私たちが知っている人間は、四つの要素によって作られています。人間が所持していると主張し、賛美している「心」は、その四つの要素によって支配されているもので、決して尊敬に値するものではありません。

人間の「心」は、四つの異なる人格群から成っているとも言えます。それは言うなれば、四人の異なる人々のようなのです。それらには、それぞれ、視覚、聴覚、嗅覚、味覚という名が与えられていて、人間はそれらを用いて日常の生活を営んでいます。そしてそれら四つの人格は、それぞれが強い自己主張をつづけています。

もしそれらの四つを所持していないなかつたならば、人間が頭を持つ必要などありませんでした。もし頭を持つていなかつたならば、彼らは人間ではなくて別の何らかの名前で呼ばれていたは

ずです。そうでしょう？　しかし、そなれらの人格群はこれまで決して正しく躊躇はさせませんでした。正しく生きるために教育を受けてこなかつたのです。それがいわゆる「心」であり、エゴであり、私たちが今日知っている人間なのです。

例えば、一〇〇〇人の人々をとでも

敏感な床の上に座らせたとします。一匹のハエが落下しただけで雷のような音が轟くほどに敏感な床の上にです。

そして、そこの通路に、ある「目に見えるもの」を送り込みます。それにそこを歩かせるのです。人々の「目」はすぐにそれを捕らえます。しかし、そこで、それが歩きながらも、全く音を立てないとしたらどうなるでしょうか？

結局、人間を作り上げているものは、それらの四つの感覚器官なのです。なぜならば、人間はその四つに対しても立てるのです。彼らの「耳」は「目」が見えると主張したものの存在を即座に否定して、「いい加減なことを言うなよ、お前は

何も見ていないはずだ。お前はまだ想像しているだけさ。もし何かがこの床の上を歩いたならば、音が聞こえないはずはないじゃないか」などと主張するでしょう。

次に、それと全く逆の実験を行なつたらどうなるでしょう？　今度は、通路を何かが歩く足音のみを作り出します。するとまず人々の耳がそれを敏感に捕らえ、その事実を主張するでしょう。しかし、彼らの「目」はそれを強硬に否定することになります。この種のトラブルは、嗅覚と味覚間でも、同じように発生します。

結局、人間を作り上げているものは、それらの四つの感覚器官なのです。なぜならば、人間はその四つに対しても立てるのです。彼らの「耳」は「目」が見えると主張したものの存在を即座に否定して、「いい加減なことを言うなよ、お前は

ところで、弦の調律がちゃんとなされていないヴァイオリンから、私たちはどうな音を作り出すことができるでしょう？　私たちは、それを用いて音を出すことはできます。しかしそれは、とてもなくひどい音です。その四本の弦が、互いに尊重し合い、敬意を示し合う完璧な関係となるように調弦されないかぎり、私たちは、そこから音楽と呼べるようなものは決して作り出すことはできません。

それらの弦が、同等の立場に立った相互尊重のもとで一つになつたときに初めて——それらが完璧な調和を手にしたときに初めて、私たちはそれを用いて美しいメロディーを奏でることができます。そうではありますか？　人間もまた、自分自身を同じように調弦しなくてはなりません。その観点から自分自身を知り、自分の四つの装置を正しく調和させ得たとき、彼は、自分が本当に生きていることを実感します。命に対する、これまでとは違った、全く新しい認識を手にすることがあります。なぜならば、そのとき彼は、自分自身はいつたい何者なのだろう、などと悩んだりすることになります。

そのとき人間は、調和した四つの弦が織りなす宇宙のメロディーを優れたヴァイオリニストに、奏でさせることでしょう。それは、これまでのように

人間の「四感」を通して流れ出る音ではなく、彼の本質を通じて流れ出る美しいメロディーです。

創造主の生命の息

聖書の『創世記』を思い出してみて下さい。神はまず最初に特定のアイデア、つまり想念を手にしなくてはなりませんでした。そしてその想念は、あらゆる想念同様、形を持ちませんでした。つづいて行なわれた彼の創造のための二番目の作業は、塵に——地の塵に形を成すよう命ずることでした。それはちょうど彫刻家が粘土の固まりから人物像など特定の像を作り出すのと同じような作業でした。

出席者「粘土細工をするみたいにですか?」

ええ、そうです。ただし、私は今、

人の創造について話しています。神は、彫刻家が粘土の固まりから人物像などを作り出すのと全く同じようにして、人を作りました。しかし、粘土の像は動くことができません。それは何もすることができません。それは単に特定のアイデアを現しているだけに過ぎないのです。分かりますね?

整理してみましょう。それは最初、神の想念でした。そしてそれが形あるものに変えられ、神はその形が気に入りました。なぜならば、それは、彼が前もって心の中に描きあげたものと、ほとんど同じ姿だったからです。

そこで彼は、次にその像の中に「生きる魂」となりました。「生命の息」によつて、それまでは動くことのなかつたものが、動くものへと変化したというわけです。

いかなる信仰の持主であろうと、いかなる肌の色を持つ人であろうと、いかなる人種に属する人であろうと、男性であろうと女性であろうと、あるいは、いかなる惑星や木々であろうと、とにかく、その「息」が存在しないところでは生きられるものがあつたならば、ぜひ教えて下さい。生命を持つあらゆるもののが、その「息」を必要としています。私たちが今このようにして生きていられるのは、その「息」を吸い込んでいるからなのです。生命を持つ他のすべての創造物にとつても全く同じことです。

私たちの「目」は、それ自身の存在はよく認識しているのに「生命の息」の存在はほとんど認識していません。耳しかり、口しかり、鼻しかりです。

私たち、それらが常に取り入れている「生命の息」に全くと言つていいほどの思いをめぐらしません。それが極めて自動的な行程だからです。しかしながら、それらは間違いなくその「息」を吸い込んでいます。肉体は「意識」を失うことになります(訳注)この場合の「息」は空氣ではなくて、もつと根源的なものを意味する)。

それなのに私たちはその「源」にいかなる思いもめぐらさないのです。私たちは、「目」が見たもの、「耳」が聞いたもの、「鼻」が嗅いだもの、「舌」が味わつたものののみに気をとられ、それらの源として存在するものには、全く気づかないでいるのです。それこそが最も重要なものであるというのに——。それは私たちにふんだんに与えられています。そしてそれこそが、あらゆるものの中なのです。それは万



▲ジョージ・アダムスキ (1960年前後の撮影)

物の中を流れる「神の生氣」です。それが万物の中を流れているということは、とりもなおさず私たちは常に神の中を生きているということになります。

私たちは自覚めて、この事實をしつかりと悟らなくてはなりません。その悟りでもって今の自分を変えることができないかぎり、私たちがこの場所を離れて他のどこかに行きたないと考え、そこに行けたとしても、その「どこか」は、私たちにいかなる快適さも提供してくれないでしよう。

人間の本質に自覚めること

私たちは、私たちという存在の本質に気づかねばなりません。私たちの肉体をこのような状態に保っている源を悟らなくてはなりません。それなくして私たちはこのような形で存在し得ないのです。そのことに気づかなければなりません。私たちの効果は期待できません。でも、さほどの効果は期待できません。つまり瞑想してもいくら本を読んでも、さほどの効果は期待できません。私たちが何よりもしなくてはならないことは、自分が何者であるのか、何であるのかに気づくことです。

まず肉体的側面を無視することです。それは肉体を虐待せよという意味ではありません。肉体の權威を無視するのです。そして、肉体を存在させているものの中に權威を見るのです。それにようて初めて物事の正しい理解が可能となるのです！

イエスが、ある素晴らしいコメントを発しています。今日でも充分に通用するものです。それはカトリック教会が支持しているコメントでありますながら、多くの人々によって無視されているコメントでもあります。正しく伝えられていないからです。

イエスが長い一人旅から帰ったときのことです。そのとき彼は皆さんや私と同じようなことを言いました。家をしばらく離れていて帰ったとき、あなたがたはおそらく、「私がいない間にどんなことがあった?」とか「誰がどんなことを言った?」と家族にたずねるでしょう。イエスも弟子たちに同じような質問をしていました。

「人々はわしを何者と言うとするか?」それに答えて弟子たちは、自分たちが知っていることをあれこれ語りました。

それを聞いて、人々がまだ真理を理解していないことに気づいたイエスは、次のように考えたのです。

「この連中は私と長く一緒に生活している。私の話も充分に聞き、私が人々を激励する様子も目撃してきた。だから連中は他の人々よりも当然多くこの事を理解しているはずだ」

そこで彼は弟子たちにこう質問しています。

「先生はキリスト（救世主）じゃあな。『生ける神』の子じやけえのう」

これを聞いてイエスはペテロを賞賛しました。人々は、イエスの「血と肉」すなわち肉体のみを見て彼を評価していましたが、ペテロは彼を別の側面から見ていました。ペテロの答を聞いて賞賛したあとで、イエスはこう言っています。

「それをおまえに悟らせたのは、血と肉ではなく、天におられるわしの父なんじや」

つまり、ペテロは「形あるもの」の内側の、その存在を可能としている「源」のことを言っています。イエスはそれを賞賛しました。

その「源」こそまさに「永遠なるもの」なのです。一方、肉体はそれを宿す寺院です。ペテロはそれを理解していました。

そこでイエスは、こうつづけています。

「この岩の上に。わしは自分の教会を建てるんじや。そうすれば黄泉の力といえども、それを打ち破ることは到底かなわんじやろう」

この場合、岩は「真理」を意味するのです。したがつてイエスは、

(1)イエスとその弟子たちは古代ユダヤ人の常用語であった標準アラム語でなく、当時のシリアの影響をもつ方言の西方アラム語を用いていたので、臨場感と人間味を出すために、ここでは訳者の出身地である西部石見地方の方言に訳した。

(2)アダムスキイは、「岩の上に教会を建てる」という言葉の眞の意味を、過去二〇〇〇年間、誰も理解しなかったのだと示唆している。つまり「岩」とは

答えました。

「先生はキリスト（救世主）じゃあな。『生ける神』の子じやけえのう」

うのは、それが完璧な『眞理』の上に築かれるからなんじや」

と語つたのです。

イエスは、自分の肉体を、教会、幕屋、寺院、神の家などと呼んでいます。皆さんのが肉体も全く同じです。聖書の中で、あなたがたの肉体は七つの呼び名で呼ばれています。そしてイエスは、「たとえこの寺院が破壊されたとしても、わしはそれを三日で再建するでえ」と語っています。

つまり彼は、自分の肉体について語ったのです。自分の肉体を「眞理」の上に築くつもりだと宣言したのです。私たちもまた同じようにしなくてはなりません。

これに関しては、これまで誤った解釈がなされてきました。人々はこれまでに「教会の眞の岩」を理解することなく、ただ岩でできた（石造の）教会を作ってきたのです。

（訳注）

(1)イエスとその弟子たちは古代ユダヤ人の常用語であった標準アラム語でなく、当時のシリアの影響をもつ方言の西方アラム語を用いていたので、臨場感と人間味を出すために、ここでは訳者の出身地である西部石見地方の方言に訳した。

(2)アダムスキイは、「岩の上に教会を建てる」という言葉の眞の意味を、過去二〇〇〇年間、誰も理解しなかったのだと示唆している。つまり「岩」とは

永遠不変の「真理」であつて、「教会」はそれに支えられている肉体を意味するというのである。この「真理」は万物を生かす「宇宙の意識」でもある。

出席者「ペテロは眞の教会への鍵を手にしたということなのですか？」

◀この記事の原編者アリス・ボマロイ女史。本年三月撮影。左の建物は女史の家。今冬メイン州は記録的な豪雪に見舞われたといふ。

彼は、天の王国（天国）への鍵を手にしました。天の王国は「原因」としての王国です。一方、地の王国は「結果」（現象界）としての王国です。

たとえば、今私は、ある「結果」を見ています。目の前にいるこのご婦人をただ漠然と見ているわけです。その

「結果」を突き抜けて、その存在を可能としているものに目を向けないかぎり、私は「結果」のみを見ていることになります。

でもそれを突き抜けて、その存在を可能としているものに目をやつたとき、私は「原因」を見ることがあります。そして「原因」を見ているとき、私は、天の王国を見ているのです。

さあ、皆さん。何か話して下さい。遠慮する必要はありません。

いいでしょ。その前に、もし私が「あなたは今どこにいるんですか？」とたずねたとしたら、あなたはどう答えますか？

出席者「私の肉体はここにいますが

でも、私は今、あなた自身についてたずねているんです。

出席者「うーん、よくわかりません。知りたいとは思いますが――

せつかくこうやって一緒にいるんですから、お互いに質問し合いましょうよ。なかなか良い質問ではありません

か？ では、あなたは今、ご自分が何者であるかを知っていますか？ 出席者「今回の転生に関して言えば、自分がどんな人間になるべきかということは知っています。いや、うまく答えられません」

転生について

それでは、まず、その「転生」というものをはつきりさせましょう。転生は「復活」でもあります。この二つはそもそも全く同じものなのです。たぶん人々は少し混乱しています。神智学では転生という言葉が用いられ、キリスト教では復活という言葉が用いられてるからです。しかし、この二つは全く同じ意味を持つ言葉なのです。

さらに、転生には別の側面もあります。「具現化」という側面です。私たちは今それを常に行なっています。私たちは何らかの知識を身につけたとき、たゞえそれがいかなる種類のものであれ、それを自分自身の中に具現化させたということになります。

それでもう一つ「移住」あるいは「転居」という側面があります。それは、ここから乗り物に乗って他の惑星に行くことを意味することもあれば、他の惑星に生まれ変わることを意味することもあります。とにかく、どこかに行つてここには戻つて来ないことを意味します。

転生にはこの三つの側面があるわけですが、あなたが今おっしゃつたそれはどんな形の転生なのでしょうか？

出席者「いや、そう言わても私にはむつかしすぎます。私がなぜこの話を持ち出したのかを聞いてください。

先日私は、ジエネラル・エレクトリック社の二人の技術者と興味ある会話をしました。一人は研究所勤務の技術者として、私がこの問題を話題に持ち出すると、その技術者は、彼らが最近行なつたある実験の結果を話してくれました。

それは、彼らの秘書の一人を被験者として、その彼女を何度も催眠状態に導いて前生の記憶を語らせるという実験でした。その実験中に彼女は彼らの質問に答えて、まず前生の自分の名前を語りました。顔も見えたそうですが、それに関するてはあまり明確には答えられなかつたそうです。でも彼女は名前その他にも生年月日、さらには生まれた場所まではつづりと語つたのです。彼女が生まれたところは、ノースカラライナ州のある小さな町でした。

次に、彼女から可能な限りの情報を引き出したあとで、彼らは彼女をつれてその町にでかけて行きました。そしてそこで、彼女がもたらした情報の追跡調査を行なつたのですが、その結果、まず前生の幼い彼女を知る二人の年老いた元教師を探し出すことに成功しま

した。その二人の名前を含む何人もの知人たちの名前を彼女は催眠状態の中で語つていたのです。他の人々のほとんどはすでに他界していました。

さらに彼らは、ある古い家庭用聖書に書き記された彼女の誕生記録も発見しています。その記録は郡の公式資料の中からも発見されました。

もちろん潜在意識の能力に関するさまざまな議論があるでしょう。しかし何はどうもあれ、それがある肉体から別の肉体へのある種の知性の移行に関係していることだけは確かなことだと思うのです」

率直に言います。あなたは他のすべての人間同様に肉体を持つています。そしてそれはこの地球が形成されて以来存在しつづけてきました。だからそれはあらゆる記録を内蔵しています。

あなたの肉体も他のすべての人々の肉体もです。それはこの地球の誕生以来、そこで発生したあらゆることの記録を保持しているのです。

それだけではありません。それは、さらに昔の記録をも収めています。果てしない過去の記録です。この地球を構成している元素群は——あなたの肉体は地球の構成元素群からできています——かつては宇宙空間に存在していました。気体状であつたり微粒子であつたりしたのです。それらは、そういう時代の記録をもしつかりと残しているのです。

それで催眠状態にあるとき、人間は自分の肉体の構成元素群が過去に体験したことによって、例の「四感」すなわち、四つの物質的、肉体的感覺である視覚、聴覚、嗅覚、味覚が機能を停止するためです。そしてその一方でわたしの言う「フィーリング」つまり「生命の息」が自身の知っていることを自由に表現し始めるのです。それが知らないことは一つもありません。それはあなたに、いかなる種類のいかなる情報をも提供できます。その結果、あなたの肉体を作り上げている特定の物質がかつてどこにあって、どんな役割を遂行していくか、といったことまであなたは知り得るのです。

例えば聖書の中でイエスは、「肉体を殺す者に気をつけなさい。しかし、魂を殺すものにはより一層気をつけなさい」と語っています。でも、形而上学者たちその他の人々は、魂が殺され得るということを認めがりません。そういうことをやつて彼らは永遠の生命を説きつづけています。確かに物質の本質、あるいは物質の形成に先行する知性は破壊され得ません。しかし、あなたや私はそのことに關してどれほどの知識を持っているのでしょうか?

すべてを知らないものは破壊されず。例えば人間を人間たらしめている目、鼻、口、耳は、肉体とともに誕生

します。その肉体人間が「全体」の中に埋没する、あるいは、それと一体化したとしましよう。すると、それまでのいくつもの体験の段階を経て、彼はそのときから一人の分離した人間としての機能を停止することになります。しかしその後も彼は全体の一員として存在をつづけます。それまでの彼は全体の一員としての自分を知りませんでした。全体から分離した自分のみしか知らないかったのです。それまでの彼は四つの感覚器官を通じてのみ自分自身を認識していたからです。

次のように言うとわかりやすいかもしません。雨の雲を考えてみてください。それは永遠なる存在です。液体になつたり氣体になつたりしますが、とにかくその存在は永遠です。

雨の雲の例え

そこで、ある雨の雲が地面に落ちて転がりつづけたとしましよう。それは転がりながら土や塵などを次々と吸収します。悪臭を放つ物質なども含めて、とにかく接触するあらゆるものを受け取っています。確かに物質の本質、あるいは物質の形成に先行する知性は破壊され得ません。しかし、あなたや私はそこにはすでにある意思が存在していました。「自然の力」の意思是です。それがそのボールを転がしたのです。

そうやつてそれは大量の水の中に進入します。同時にそのボールを支えていた水、つまり「湿気」は分離して、パワフルな海の水に飲み込まれます。つまり、それ自身の親と一体化する

つて止まります。

これはいわば泥のボールの誕生から死に到る物語です。まもなく内部の湿気は蒸発し、元の場所へ、永遠の原則へと戻つてゆきます。同時に「物質」もまた元の塵や埃へと戻ることになります。

この体験、すなわちボールを形成し限られた距離を転がり、干上がり、分解するというこの体験はわかりますね? 肉体的、物質的な人間も、これと全く同じことを体験するわけです。

次に、別の雨の雲が同じように地面に落ちて転がつたとしましよう。しかしそれは、大量の水を湛えたそれ自身の親である海に辿り着くまで転がりつけます。延々と転がりつづけ、身にまとつた塵や埃、つまり俗念とともに、ついには海へと達するわけです。

その俗念が、あるいはそのボールが、それ自身をそんなにも遠くまで転がつて行かせたのです。自分自身をそこまで転がらせようとする「力」に自分自身を完全に委ねたからです。それは、それ自身の意思ではありませんでした。そこにはすでにある意思が存在していました。

です。生命の一零がその全体と融合するときのようになります。

また、雑物から成る泥の固まり、すなわち物質的な俗念もまた海に浸つたときに、その姿は消滅します。身につけていた悪臭も跡形もなく消え去ることになります。それもまた海に入つたとたん、その姿を消滅させて水の一部となるのです。

分離した状態でいるかぎり、それはおそらく過去の体験を思い出せません。しかし全体の一員となつたとき、それはボールの形成開始から海の中で自身を消滅させるまでのあらゆる体験を、いつでも自由に思い出すことができます。なぜならばその記録は、その広大な海の中に入れられているのです。分かりますね？

個体は変化して奉仕する

今お話ししたのは、こういうことです。一つの魂は海に到りましたが、もう一つの魂は海に到ることがなかつたために破壊されました。死にました。それは自分の体験を忘れ、いつかまた最初から始めなくてはなりません。それが、人の魂あるいは物質的魂です。それは宇宙の魂を認知し、それと一体化しなくてはなりません。さもなければいつになつても分離したままであります。分離した状態にあるかぎり、それは混乱に満ちた変化の数々を常に体験しつつ、進まねばならないのです。そういうことなのです。分かりますね？

催眠状態にあるとき、人間は過去の

記憶を取り戻します。なぜならば、そのとき彼は「物質」ではなく「原因」とかかわっているからです。「すべてを知るもの」とです。

さて、先ほど私はあなたに「ご自分が何者だと考えるか」とたずねました

が、実は、今ここにいるすべての人間が、肉体を持つてここにいる皆さんのが、すべてが、すでに、あらゆるところにいるのです。ですから、あらためて行くべきところなど本当はどこにもないのです。肉体はそれに気づかねばなりません。そして、あらゆるところにいるものは次々と進歩し得るということを忘れないことです。

例え私がある木を切り倒したとしても、私はその形を変えました。次に私がそれから家を作つたとします。されども素晴らしい奉仕でした。その点は誤解のないようにお願ひします。

いずれにせよ、それが物質の変化のすべてです。常に進歩をつづける。常により優れた奉仕を目指す。それが変化の目的です。

あなたがたが心にいだく想念、あなたがたの肉体をつらぬいて流れる宇宙的想念が、ヴァイオリニストが行なうのと同じ仕事を遂行しています。彼はヴァイオリンを日々念入りに手入れし、演奏技術を磨き、良い音楽を奏でつづけることにより、ヴァイオリンの分子群をより素晴らしい状態に配列しなくてはなりません。それによってそのヴァイオリンは、より素晴らしい表現が可能となります。生命的メロディーを

らしい状態に配列して、そのヴァイオリンが天国のメロディーを奏でられるようにならなければなりません。それが人々により大きな喜びを与えるようになります。

さて、私は木を進歩させました。確かに私は一つの物質を破壊しましたが、その物から私はより優れた別の物を作つたのです。その結果、木は、人類に対して木のままでいたときよりもはるかに大きな奉仕ができるようになります。ただし木のままでいたときにも、それはとても素晴らしい奉仕でした。その点は誤解のないようにお願ひします。

いずれにせよ、それが物質の変化のすべてです。常に進歩をつづける。常により優れた奉仕を目指す。それが変化の目的です。

あなたがたが心にいだく想念、あなたがたの肉体をつらぬいて流れる宇宙的想念が、ヴァイオリニストが行なうのと同じ仕事を遂行しています。彼はヴァイオリンを日々念入りに手入れし、演奏技術を磨き、良い音楽を奏でつづけることにより、ヴァイオリンの分子群をより素晴らしい状態に配列しなくてはなりません。それによってそのヴァイオリンは、より素晴らしい表現が可能となります。生命的メロディーを

これが変化のすべてです。この事実

を理解したとき、変化は決して恐れるべきものではありません。それはまた、必死になつて乞い求めるものでもなければ、過度に賞賛されるべきものではありません。それはあなたがたの成長の一過程に過ぎないのです。

イエスが忍耐力を持つように説いたのもそのためです。忍耐には素晴らしい報酬が与えられます。しかし今の私たちは忍耐にいちじるしく欠けています。

私たちがあまりにも急ぎすぎます。そしてそれゆえに激しく混乱しているのです。

結局これまでに起つたあらゆることについて聖書が語っています。

「隠されているもので洩らされないものは一つもない」

またそれは、「いつの日か記憶の書がすべての者に對して開かれるであろう」とも語っています。

この人生において自分がしてきたことを、あなたがたは確實に覚えているはずです。中には思い出すことが困難な思い出もあるでしょうが、じつくりと振り返つてみれば、それも必ず思い出せるはずです。誰かに手伝つてもらうことも可能です。

だとすれば、私たちがこの肉体を持つ前に体験したこの記録も間違いくつ存在するはずです。果てしなく遠い過去の記録もです。そしていつの日か、この肉体、つまり「心」も——「心」は肉体の一部です——「物質」が、あ

るいはそれ自身が体験した過去のあらゆる出来事を思い出し得るほどの敏感さを持つ、充分に高いレベルへと進歩するでしょう。

宇宙にはあらゆる物事の記録が残されているはずです。未来同様、過去も永遠なのです。そして永遠であるということは始まりも終わりもないことだということを忘れないで下さい。したがつて私たちは未来と同じだけの過去を持つているとも言えます。どちらも永遠なのですから。結局、人間の真の自己には始まりもなければ終わりもないのです。

しかし形を持つ肉体には始まりと終わりがあります。それはヴァイオリンオリンと同じ材料を用いてです。それはあまり出来がよくないかもしれません。しかし次はもつと良いヴァイオリンを作ります。さらにその後ももつと良いヴァイオリン、もつと良いヴァイオリンといつた具合に、次々と新しいヴァイオリンを作っています。そのようにして、いかなる音楽をも完璧に演奏することの可能な最高のヴァイオリン作りを目指すのです。

私たちにはそれを行なつてゐるのです。しかし私たちは形あるものを、肉体をあまりにも重要視しています。肉体こそが自分自身だと公言しているのです。

そのために肉体が失われることを極度に恐れています。

でも、もし私のヴァイオリンが焼けてしまつたらば、あるいは踏みつぶされてしまつたりしたならば、私は別なヴァイオリンを手にすることができるので。おそらくもつと美しいメロディーを奏でられる、もつと優れたものをです。肉体に関しても同様です。

なぜならば肉体は知性ではなく、知性による支配下にあるものだからです。例えば、肉体を管理している小さな作業員たちがいるとします。彼らは私たちの「心」よりもはるかに多くを知る者たちです。昨日ここで私はこの件である人物と議論を交わしました。彼らはクリスチヤン・サイエンスの信奉者のようですが、私は誰をも敵視しません。そのとき私はただ精神的側面、意識的側面、肉体的側面からポイントを明確にしたかつただけです。「心」は決して高い評価を受けるには値しないのです。しかし、この世界においてはこれまで常に高い評価を得てきました。

でも「心」はいかなる高い評価にも値しません。それは混乱をもたらすこと以外には何もできないのです。それが「心」の行なうすべてなのです。混乱をもたらすことのみです。もつと詳しく述べてを知つてゐるわけではありません。しかし、この世界においては世界中に、いつたい存在するでしょうか？ 私たちの誰一人として知りません。この世界の最高の科学者たちでさえです。もちろん彼らは徐々に学びつつあります。しかしまだけつしてすべてを知つてゐるわけではありません。

少し前に、ここにいる私たちの全員が食事をしました。ところで私たちは肉食をすることがあります。しかしながら肉食をすることがあります。しかし私たちもそれを朝と昼と夜にとるという習慣を確立しました。他の時間帯にはほとんど食べません。

いずれにせよ私たちは先程食事をしました。でも例えば一ポンドのリンゴを食べたとして、私たちの肉体内で有効利用される、あるいはそこに保持される、そのリンゴの栄養素の量を正確に特定できる人間が、この中に、あるいは世界中に、いつたい存在するでしょうか？ 私たちの誰一人として知りません。この世界の最高の科学者たちでさえです。もちろん彼らは徐々に学びつつあります。しかしまだけつしてすべてを知つてゐるわけではありません。

さらに別の作業員もいます。もう一人の清掃人です。彼の仕事は排泄の過程を通じて不必要的物質を廃棄することです。

また、こんな作業員もいます。例えば、あなたがどこかから落ちて氣を失つてしましました。頭を岩に打ち当ててしまつたのです。頭がざっくりと割れています。その瞬間、あなたの足の親指のあたりにいた外科医タイプの細胞が、あなたの頭に向けて旅を開始します。それは人間の世界横断の旅に匹敵するほどの実に長い距離を行く旅です。でもその細胞は、その距離をあつといふ間に旅し、すみやかに怪我の修復にとりかかります。

世の医者たちが「私が治してあげる」と絶対に言わない理由がそこにあります。最近彼らは自然がその過程を司っていると言います。しかも患者の頭を

肉体内部の超高度な活動

少し前に、ここにいる私たちの全員が食事をしました。ところで私たちは肉食をすることがあります。しかし私たちもそれを朝と昼と夜にとるという習慣を確立しました。他の時間帯にはほとんど食べません。

少し前に、ここにいる私たちの全員が食事をしました。ところで私たちは肉食をすることがあります。しかし私たちもそれを朝と昼と夜にとるという習慣を確立しました。他の時間帯にはほとんど食べません。

開いたあとで！（一同爆笑）

さて、以上のような小さな作業員たちが、必要な作業をいつもつづけていけるわけです。彼らは自分たちが何をするべきかをよく知っています。そして、互いの完璧な調和のもとで働いています。彼らは自然の諸法則に従つて活動しているのです。そして私たちはその種の九〇億もの作業員たち（細胞）の助けを得て、人間としての機能を遂行しているのです。

彼らはさまざまな目的を持つたさまざまのグループに別れています。九〇億の人々が一つの国家を形成するように私たちの肉体を作り上げている、という言い方でできます。そして彼らの一人ひとりが自分自身で考えています。もちろん完璧な秩序と調和を基盤としているのです。彼らは私たちの肉体の福祉のために、私たちの肉体を維持するために、常に完璧な調和を保ちながら働いているのです。

「心」は小悪魔

そして実を言うと私たちの「心」は彼らのその調和を壊そうとする、いわば「小悪魔」です。例えばテーブル上に食べ物がセットされているとしましょ。人間が手にし得る最高の食べ物が並んでいます。悪いことなど起きようはずがありません。その食べ物を食べたなら誰もが幸せな気持ちになれるのみなのです。

はずです。しかし食事をしようとして

そのテーブルにつく直前に、もし私たちがイライラしたり悩んだり怒ったりしたならばどうでしょう？ 食後もなく胸焼けを起こし、たまらず胃薬に手をのばすといったことになるでしょう。

業員たちは、もはやあなたを助けてはくれません。彼らはあなたが苦しむのを放置しておきます。彼らは調和のもとでしか働かないからです。歪んだ混乱した状況下では働かないのです。それはいわば彼らのストライキです。そして私たちには消化不良に苦しみます。

一方、私たちが愛と優しさに満ちているのです。彼らは私たちの肉体の福祉のために、私たちの肉体を維持するために、常に完璧な調和を保ちながら働いているのです。

彼らは自然の法則に従つてのみ仕事をするのです。自然の法則に逆らっては絶対に働かないのです。しかし私たちの「心」は自然に逆ります。そのとき彼らは急速にストライキに入るのです。彼らは決してそれを支持しません。言いかえるなら、「彼らは悪魔とは絶対にゲームをしない」ということであります。彼らとともにゲームをするのは神のみなのです。

さて、皆さんの肉体の中で素晴らしい知性が機能しつづけているということですが、よくおわかりいただけたことだと思います。それが今あなたがたの人間としての存在を可能としているのです。それは「心」とは全く異なつものです。しかし私たちが「心」に与えている賞賛の大きさを見て下さい。そうする一方で私たちは例の作業員たちを延々と無視しつづけているのです。

それで治療は完全に終了します。私たちがその原理を完全に理解したならば、治療そのものさえも不必要的なものとなるでしょう。

異星人の高周波万病治療器

出席者「昨日、確かにあなたは波動つまり高周波を用いた実験の話をされましたね？」

はい。私は（異星人から）ある高周

波治療器を見せられました。そして彼

らが現在手にしているその高周波治療

器を用いたならば、メスを用いないで

手術を行なえるということを聞かされ

ました。例えばこの腕の骨に異常があ

つたならば、ここにその高周波を當てるわけです。手に異常があれば手に当てるということになります。その高周

波を当てるとき急速にその部分の肉が分離するんです。そして、骨に異常があつたならば直接その治療が可能になるというわけなんです。

次に、治療が終了すると、その高周

波は患部から離れます。その間、一滴の血も流れなければ痛みも全く感じません。その高周波が患部から離れる

とすぐに、分離していた肉は急速に元の状態にくつきます。傷跡を全く残しません。

それで治療は完全に終了します。私たちがその原理を完全に理解したならば、治療そのものさえも不必要的ものとなるでしょう。

そうですね。例えば靴のヒモを考えみて下さい。左右の穴に交互にそのヒモを通していくことで、靴の分離している二つの部分がくっつくわけです。そこで、片側の一連の穴をプラスの分子群あるいは細胞群と考えてみてください。そしてもう一方の一連の穴はマイナスの分子群です。私たちの肉体はそのようにできているのです。わかりますね？

彼らは、肉体の特定の場所に高周波を当てることで、そのプラスとマイナスの分子群を遊離させることができます。分子群を分離すればそこは空っぽになります。そこに空間ができるのです。分子群は互いに結び合つて初めて個体を形成します。彼らはこの原理を応用しているのです。

この原理が一般に用いられるようになつたなら、私たちが手術を行なう必要は全くなくなると彼らは言っています。そして先程のような治療を一日数回、三日も行なえばいかななる病気も完治するということです。それによつてあなたがたは完璧に健康な人間になれるのです。

（以下次号）

Letters

ユーロン広場



素晴らしいかった大阪支部大会

兵庫県 宇野秀樹

先日は大阪支部大会でたいへんお世話になりました。ありがとうございました。益々洗練された力強いご講演をありがとうございました。素晴らしい内容でした。

深遠なお話は、私たちが宇宙的に生き、また生きる目的を自分なりに自覚し、望ましい人生歩むために大きな道標となりますので、喜びを感じてやみせません。今大会は一〇〇名の参加者があり、国際級の会議場で開催できましたことは、先生をはじめ、平塚代表、支部のメンバーの実践と努力、そして上空の方々の温かいご援助の賜物であつたと心から感じ、今後地球上でのこの活動がいかに重要であるかを実感させられました。

真摯な質疑応答、和やかで楽しい夕食会、翌日の観光では天候にも恵まれ、のどかな明日香路をサイクリングと、最高の二日間でした。出席された東京本部役員の皆様、先生の大助手の加藤さん、その他、遠路よりご参加頂いた方々に深く感謝致したいと思います。

今後に至りましては、今大会の大成功とその意義を理解し、着実な努力と実行を重ねながら歩んでゆきたいと思っています。先生の今後のご指導とご教示を期待し、またご活躍

投稿歓迎 文字数を問わず。匿名発表可なるも住所氏名明記のこと。

を心から願っております。また一〇月の東京総会でお会いできることを楽しみにしております。たいへんありがとうございました。

パワー伝わる大会だった

大阪市 田辺健司

支部大会での素晴らしい御講演、本当にありがとうございました。私は中でも体験が重要というお話をいたく感動しました。実生活の中で体験が本当に大切なだと再認識させられた次第です。

今回の御講演は、先生のパワーが直接にこちらに伝わってくるのを実感させていただきました。本当に感謝の気持でいっぱいです。

では毎日大変お忙しいこと存じますが、お体にお気をつけ下さい。

待たるアダムスキーの映画

大阪市 西村悠子

新緑に萌える樹々に囲まれた奈良新公会堂での御講演、誠にありがとうございました。月例会のビデオの先生にも増して生の御声に感動致しました。

ユーロン誌二〇号で拝見しました。アダムスキーの伝記映画製作の計画が進行しているとかがい、何ともいえない明るいフィーリングに包まれました。穏やかでいます他の天体等の情報が公表されます前に映画が上映されることはなれば、隠された事実を地球人は冷静に聞くことができるでしょうし、その時こそが可能になります。哲学ができないようですが、その時にこそが最も重要なことがあります。哲学は、どうしようもないことのように思えます。ですが、それを可能にしてくれる素晴らしい内容に、人生は今こそ始まる！ という感じが致しました。

私自身も謙虚な心ですべて反省しなければならないと思います。

この映画は地球の興亡と未来につながりますことは確実で、出来ればオーソン氏やヒベース・ビープルの方は異星人が出演して下さればいいな

と勝手な空想をしております。

今地球は大変な転換にきておりま

す。これから世界は原因と結果の法則どおり、白人上位の社会が終わ

り、有色人種に光が当たりはじめて、全人類は皮膚の色の差別がなくなり、すべてが平等であることがわかつて、

その時こそ高度な文明を持った他の惑星の仲間入りが出来るようになる

と思います。その時を中心に描いて進んで行こうと思いましたら、目の前

がパッと明るくなつたように思えました。本当にありがとうございました。

久保田先生のご講演を聞かせて頂くのは今回で二回目で（昨年と今回）の大阪支部大会）二回とも姉妹と共に参加させて頂けること自体、私に

とりましては本当に感謝すべきこと

でありました。

人間は本を読んだり聞いたりすることよりも自分で体験する事によって成長し進歩すると言わされました

か。私はアダムスキー哲学に触れることが出来ました時には、もう本当に嬉しくて嬉しくてという状況でもあ

りました。ともかく久保田先生の翻訳されました壮大この上ない内容には、あれらる問題が含まれてあります。ありがたく感謝を申し上げたく思います。このような貴重な情報を接することでできましたことは、本当にありがとうございます。これがまた感謝を含まれてあります。

さらに情報としましても、自分自

身や周りの人間関係（身内や仕事

関係すべて）を、これほど深く問題

提起させてくれるもののが他では探す

ことができないようになります。哲学

がおかれ（暗れ男と聞いていますが

）で良くなりまして、サイク

リングの日などは暑くもなく寒くも

なく、これ以上はない天気でしたね。

私は岡山にいるものですから伝い

ができませんでしたが、支部の人は

そうとう準備が大変だったと聞いて

いましたので、本当にホッとしたま

した。

最近、仕事や何かでなまけており

ましたので、先生の講演を聞かせて

いただき、これは身をひいてがんば

らなければ、新たに心に決めた大

会でした。

でも本当に楽しい大会でした。あ

つ、二次会でへたな歌をうたつてご

迷惑をおかけしました。でも先生が

うたつて下さるとは思つてもみなか

つたので、トクしちゃったという感

じです。先生はむかしそうとうにう

たわれていたのでしょうか、すごく

お上手なので、こりやちよつとカラ

オケにでも行つて練習せねばと思つ

ています。ほんとうに、ありがとうございました。

先日、大阪支部大会に参加させて

頂きまして、久しぶりに先生の御講

演を拝聴することが出来て、大変有

意義な一日でした。昨年の総会以来

二度目の参加を夢見ておりましたら、

素敵な大阪支部大会と観光

岡山市 山崎真由美

先日はお忙しいところ大阪支部大会にお越しいただき、ありがとうございました。心配された天気も先生のおかげ（暗れ男と聞いていますが）で良くなりまして、サイクリングの日などは暑くもなく寒くもなく、これ以上はない天気でしたね。

私は岡山にいるものですから伝い

ができませんでしたが、支部の人は

そうとう準備が大変だったと聞いて

いましたので、本当にホッとしたま

した。

でも本当に楽しい大会でした。あ

つ、二次会でへたな歌をうたつてご

迷惑をおかけしました。でも先生が

うたつて下さるとは思つてもみなか

つたので、トクしちゃったという感

じです。先生はむかしそうとうにう

たわれていたのでしょうか、すごく

お上手なので、こりやちよつとカラ

オケにでも行つて練習せねばと思つ

ています。ほんとうに、ありがとうございました。

先日、大阪支部大会に参加させて

頂きまして、久しぶりに先生の御講

演を拝聴することが出来て、大変有

意義な一日でした。昨年の総会以来

二度目の参加を夢見ておりましたら、

有意義な大阪支部大会

広島県 聚田雅則

先日、大阪支部大会に参加させて頂きまして、久しぶりに先生の御講演を拝聴することが出来て、大変有意義な一日でした。昨年の総会以来二度目の参加を夢見ておりましたら、

今後も増して生の御声に感動致しました。

ありがとうございました。

念願かなつて参加することが出来、大変喜んでおります。

この日の御講演の演題は「アダムスキーワーク」と不思議な出来事 改め

「マインド世界から意識世界へ」と

なり、テレパシーの感覚力と宇宙の意識との一体化の重要性を説かれ、

そのためにはテレパシー練習と大宇宙観想を実践しなければならないと

力説されておられました。この講演の内容は私自身のテレパシー練習の大変な経験（絶対に能力が出てくるという確信）につながら、また続続するためのエネルギー再充電が出来ました。引き続きテレパシー練習を行ないます。

GAPに参加しますと、いつも会員の皆さんに「アダムスキーワーク」や「宇宙哲学」への高い関心がダイレクトに伝わってきました。励まされるとともに、久保田先生の力強い激励を含んだ御講演により勇気がわいてきます。地方に住んでいる私たちにとって、このような大会への参加は大切な栄養素の摂取と同じことだと思い、最近特に参加の重要性を感じております。次回の総会にもぜひとも参加したいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

GAPに参加しますと、いつも会員の皆さんに「アダムスキーワーク」や「宇宙哲学」への高い関心がダイレクトに伝わってきました。励まされるとともに、久保田先生の力強い激励を含んだ御講演により勇気がわいてきます。地方に住んでいる私たちにとって、このような大会への参加は大切な栄養素の摂取と同じことだと思い、最近特に参加の重要性を感じております。次回の総会にもぜひとも参加したいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

GAPに参加しますと、いつも会員の皆さんに「アダムスキーワーク」や「宇宙哲学」への高い関心がダイレクトに伝わってきました。励まされるとともに、久保田先生の力強い激励を含んだ御講演により勇気がわいてきます。地方に住んでいる私たちにとって、このような大会への参加は大切な栄養素の摂取と同じことだと思い、最近特に参加の重要性を感じております。次回の総会にもぜひとも参加したいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

(6)マスターの言葉から「人間は想念によって健康を維持できる」

(7)意識体として生きようとしている自分を、もう一人の自分が見ているようにイメージすることによって気楽にできる。

(8)瞑想タイプの人間になる。

(1)マインド世界から意識世界へと

いう事柄と、(8)瞑想タイプ（テレパシー）な人間になるという二点に講演内容が集約されている感じがいたしますが、(2)健康を保つて長生きして人生体験を積む、ということに

対しては、コリント書の中の「身体は神の宮である」という言葉を思い出しまいました。この「神の宮」

を大切にすること、ふだんの生活態度の重要性を感じます。

(3)植物への呼びかけ。

これは本当に素晴らしい事だと思います。そしてGAP会員などの感性の持ち主なら、ごく当たり前に実践できてる、当たり前のこととも言えます。マスター

ではない。全ては一つである」と語っておりますことからもわかりますように、私たちは他の動物や植物に語りかけて行くべきであると感じます。

大阪支部大会では先生の力強いご講演と支部の皆様の温かいおもてなしに感銘致しました。毎年、大阪支部大会を楽しみにしておりますが、今年は大盛況でしたね。

当日の先生の講演で私の心に残った事を列挙してみます。

力強い講演に感銘

横浜市 山本益巳

大阪支部大会では先生の力強いご講演と支部の皆様の温かいおもてなしに感銘致しました。毎年、大阪支部大会を楽しんでおりますが、

今年は大盛況でしたね。

当日の先生の講演で私の心に残った事を列挙してみます。

①マインド世界から意識世界へ。

②健康を保つて長生きをして人生体験を積む。

③植物などにも想念を發して呼びかける。

④物を大切にして壊さないようにする。

⑤意識体で生きる→四つの感覚器官に振り回されない。

⑥マスターの言葉から「人間は想念によって健康を維持できる」

⑦意識体として生きようとしている自分を、もう一人の自分が見ているようにイメージすることによって気楽にできる。

⑧瞑想タイプの人間になる。

(1)マインド世界から意識世界へと

いう事柄と、(8)瞑想タイプ（テレパシー）な人間になるという二点に講演内容が集約されている感じがいたしますが、(2)健康を保つて長生きして人生体験を積む、ということに

対しては、コリント書の中の「身体は神の宮である」という言葉を思い出しました。この「神の宮」

を大切にすること、ふだんの生活態度の重要性を感じます。

(3)植物への呼びかけ。

これは本当に素晴らしい事だと思います。そしてGAP会員などの感性の持ち主なら、ごく当たり前に実践できてる、当たり前の事とも言えます。マスター

一人母船の中でア師に対し、「分離はない。全ては一つである」と語つておりますことからもわかりますように、私たちは他の動物や植物に語りかけて行くべきであると感じます。

大阪に出发する日にアパートを出でて港南台の駅に行く道すがら、ツツジがその花を誇らしげに咲かせていて

ました。私はその花を見ながら「きれいだよ。もっとと咲いておく」

と呼びかけました。こうした事はもうタセとして身につけてしまつよいと思います。

そして、この偶然に本を手にいれただというのが電車の中でありまして、停車した電車からは誰も降りてこなかつたのに、座席についてみますと、まるで読んで下さいといわんばかりにこの本が置いてあつたのだそうで

す。かねてから船井先生の本を愛読していました。主人は、そのまま頂いた奈良まで行つて良かったという氣持です。

自分で本を読んで宇宙哲学を学ぶだけしか得られないものが、たくさんあります。久保田先生のお話を聞くことで得られるのだからという感じが強くしました。

大会当日、そして翌日の飛鳥めぐりは共にとても良い雰囲気で、暖かな楽しい気持で過ごさせて頂きました。二日間で得たものを、日常の生活の場で生かしていきたいと思ひます。これからもよろしくご指導のほどをお願い致します。

私も毎日「生命の科学」を読んでいますが、マイナスのことばかりです。かねてから船井先生の本を愛読していました。まだ修行が足りず超能力を持つことはできませんが、なるべく物事をプラスに考えて人生を良い方に向けてゆきたいと思います。

◆フランスのアダムスキーワーク研究家で日本GAPの良き支持者であるミシェル・ジルガード氏。アダムスキーワークの著書を手にしている。

していなかつたのですが、自分が尊敬する船井先生の本に久保田先生の御名前があつたので、なるほどと、私がやっていることもあなたがちウソの物ではないと認めてくれました。

そして、この偶然に本を手にいれたというのが電車の中でありまして、停車した電車からは誰も降りてこなかつたのに、座席についてみますと、まるで読んで下さいといわんばかりにこの本が置いてあつたのだそうで

す。かねてから船井先生の本を愛読していました。主人は、そのまま頂いた奈良まで行つて良かったという気持です。

自分で本を読んで宇宙哲学を学ぶだけしか得られないものが、たくさんあります。久保田先生のお話を聞くことで得られるのだからという感じが強くしました。

大会当日、そして翌日の飛鳥めぐりは共にとても良い雰囲気で、暖かな楽しい気持で過ごさせて頂きました。二日間で得たものを、日常の生活の場で生かしていきたいと思ひます。これからもよろしくご指導のほどをお願い致します。

私も毎日「生命の科学」を読んでいますが、マイナスのことばかりです。かねてから船井先生の本を愛読していました。まだ修行が足りず超能

力を持つことはできませんが、なるべく物事をプラスに考えて人生を良い方に向けてゆきたいと思います。

田先生をはじめ、いろいろな方が人々を宇宙的に覺醒させるために、日々御尽力させていると想りますと、頭の下がる思いです。

私も毎日「生命の科学」を読んでいますが、マイナスのことばかりです。かねてから船井先生の本を愛読していました。まだ修行が足りず超能

力を持つことはできませんが、なるべく物事をプラスに考えて人生を良い方に向けてゆきたいと思います。

い主人に、スペースピープルさんが

プレゼントして下さったみたいで、とてもハッピーな気分なのです。

それからこの本には深野一幸先生のことも紹介されました。久保

田先生をはじめ、いろいろな方が人々を宇宙的に覺醒させるために、日々御尽力させていると想りますと、頭の下がる思いです。

私も毎日「生命の科学」を読んでいますが、マイナスのことばかり

です。かねてから船井先生の本を愛読していました。まだ修行が足りず超能

力を持つことはできませんが、なるべく物事をプラスに考えて人生を良い方に向けてゆきたいと思います。

大会当日、そして翌日の飛鳥めぐりは共にとても良い雰囲気で、暖かな楽しい気持で過ごさせて頂きました。二日間で得たものを、日常の生

活の場で生かしていきたいと思ひます。これからもよろしくご指導のほどをお願い致します。

◆フランスのアダムスキーワーク研究家で日本GAPの良き支持者であるミシェル・ジルガード氏。アダムスキーワークの著書を手にしている。

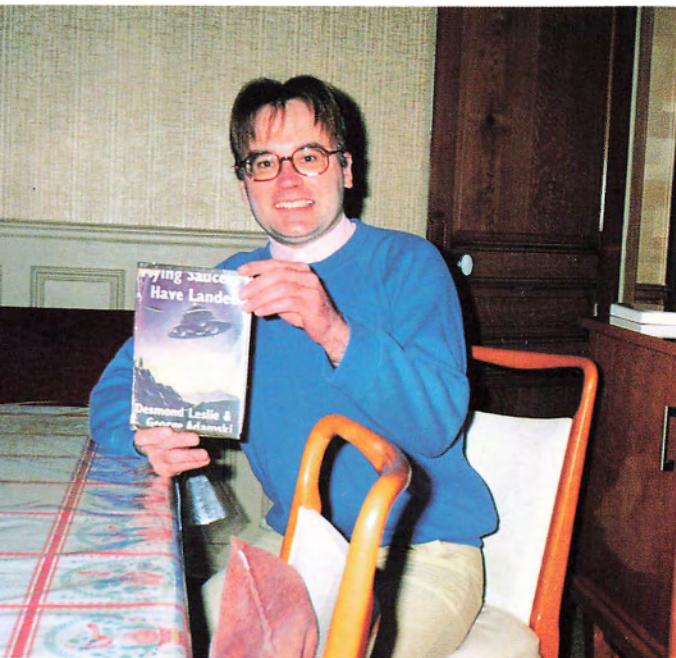
偶然と思えない出来事

神奈川県 M・S

先日とても嬉しいことがあります

た。それは主人が偶然手に入れました。本に船井幸雄先生の「直感力の研究」というのがあります。その中で久保田先生のお名前やGAPの専門誌「UFO コンタクティ」のことが載っていたからです。

主人はUFOにはあまり関心を示



不思議な黄金色の影——加藤純一

私は今年度の秋田支部のイベントであるUFO観測会と懇談会に参加させて頂きました。今回のイベントでは上空からの援助があつたことを確信しています。そしてそれは私が出発したその時からすでにはじまっていたようです。

五月二七日金。午前で仕事を終えて羽田から二時一〇分発の秋田行きの全日空便で飛び立つてから三〇分ほどたつた頃、快晴の中で大変良いあのフィーリングを受けた私は、山々の波動との違いを見い出しながら宇宙船(UFO)がいいないと周りを見渡しましたが飛んでいる物体は見えません。

しかしもののように自分の中の声は「見続けなさい」というので機体の下を流れゆく黒い影を落とす雲や、雲のつて緑から黒に染められる東北の山々眺めていました。するとその山々に移つている雲の真っ黒い影とは別に真円に近い丸い影が私の窓から地面に見えました。なぜあえて影だと表現したかと言うと、それは山々の起伏に応じて、形が雲の影のように変化するからです。しかし不思議なのは、その影はこの飛行機の私の見える横の視界上で等速でついてくること、その影(?)は黄金色に見えることの二点でした。また、大きさ

は道路との比較により約二五メートルから三五メートルは充分あつたと思ひます。ただ周りを見ても本体は確認出来ませんでした。

この時パーサーの方に現在の高度を聞いたところ、約六四〇〇メートル上空を飛行中のことでした。私が確認したのは秋田空港に着く直前にアナウンスが入り、機体が旋回しはじめた時にそれでそのまま見えなくなつたからです。やはりあのフィーリングは正しかつたのでしょうか?さてこんな風にして観測の前日から上空の方々の援助を感じながら久々の秋田での夜を迎えて深い眠りについたのでした。

翌日も晴れ。市内は少しばかり雲がかかつっていましたが伊藤代表にお会いしてからは元気が出てきて「晴れるぞ!」というイメージを頭に焼きつけました。

さて今日は全員で大きな円を作り、それぞれ外側の空を見上げるという方法で行なつて頂きました。この方法を客観的に観察すると、時間がたつにつれて皆、自分のフィーリングに合わせて移動し、やがてはほぼ全員が一定方向に目を向けているという状態に変化します。この時もやはり出現した方向をほとんどの人が見ていました。おもしろいですね。やはり皆さん何かを感じ取っていたのですね!

千葉旅館にて今回の企画の尽力者である創業明治二年という由緒ある宿である佐藤忠義夫妻と再会。代表の話では地元新聞社への呼びかけや、ポスターなどによる懇談会への参加募集などで佐藤氏がかなり足を運び地元の方々への気配りをされたとのこと。実際、翌日の懇談会では約三〇名の参

加者があり、地元の鹿角市内の非会員の方は七名もいらっしゃいました。さて午後八時。いよいよ観測開始。

た。一回目出現の時のUFOの図は、東京から参加された佐々木八郎氏からも提供して頂きましたが、私も同様の光体を目撃しましたので参考までに図として残していたものをそのまま書きました。私と伊藤代表は出現する瞬間から見ていましたが、かなり強く光りながら出現しましたので直感的にUFOだと思ったわけです。そして呼びかけに応じて光の強弱をくり返していましたが、飛行機じゃないのかという大宇宙瞑想は本当に心を鎮めてくれました。私は伊藤代表は出現する瞬間には出現してくれません。ただこそこそ声があがると同時に突然点滅信号に変化しました。しかし私の「意識の声」はやはり反応しています。双眼鏡で見てみると四角な2つの光が見えました。飛行機などのビーコンライトとは全く違いました。

すると突然その光が全く見えなくなりました。何人かは自分も見た、UFOに違いないと言う人も少なからずいましたのできつとまた出現されるだろうと思つていまつたら案の定、約一〇分後に今度は消えたところからフラッシュ光を出しながら出現しました。今度はほとんど移動せずにこちらの想念の状態に応じて(?)光を出しているようでした。

今回の観測会は色々な意味でのレッスンだったと思います。いずれにせよ大成功でした。以上を報告させて頂きます。このような企画を推進された秋田支部の方々に厚く感謝して、これからも私は頑張ります。

秋田支部UFO観測会・懇談会成功

秋田支部 佐藤忠義

五月二九日と三〇日に秋田県鹿角市で開催したUFO観測会と懇談会はきわめて有意義なものとなつた。観測会はこれまでにも何度か行なつたが、懇談会は今回が最初である。

これを開催した目的は、GAP活動の一端として、UFO目撃や関心のある人が情報交換を行なつたり、UFOや異星人問題に関する理解を浸透させようというわけである。

開催地を鹿角市にしたのは、大湯のピラミッドといわれているクロマンタ山があり、UFOの目撃事件が多発する地域なので、現地の人々のUFOに関する関心も高いものと考えたからである。

が、きわめて良好なファーリングを体験し、帰る頃にはパワーが充電したかごとく生氣を取り戻した。このクロマンタ山は、四月に実施された第二次学術調査の中レーダーによる探査結果によると、約四～五千年昔（縄文時代）に建設されたものであり、高さ八〇メートルのこの山は石が敷かれた七段の段丘で構築されている。

さらにその頂上部からは古代人が祭事用に使用したストーンサークルの一部が発見されているという。頂上に位置する神社の中に入つてみると、それらしき石が置かれていた。

さて、夜八時から始まつた観測会には二五名の参加者があり、いくつかの光体が出現し、多数の人が目撃した。観測会は九時四〇分頃終了し、旅館に引き揚げて皆で楽しいひとときを過ごした。

翌三〇日のUFO懇談会は参加者が三〇名あり、そのうち鹿角市から七名、県外からGAP会員九名の参加者があつた。会は支部代表の伊藤正治氏の司会により進められて、全員自己紹介のあと、秋田支部の渡辺朗男氏と東京本部の加藤純一氏の講演が行なわれた。

渡辺氏はUFOの目撃談や宇宙哲学の重要性を、加藤氏はアダムスキーフの体験やGAPについて、また自分の体験談等について講演し、参加者に感銘を与えた。その後、鹿角市から参加された方々の目撃報告があり、最後に質疑応答を経て終了した。

この懇談会の最中にも細い雲が大きくなり、また黒っぽいUFOも目撃されている。

鹿角市は秋田市から車で二時間半かかる所だが、いずれまたこのような機会を持ちたいと考えている。

今回の企画にご協力頂いた方々や県外からの参加者の皆様に深く感謝致します。



▲上から大湯における観測会、同、懇談会での伊藤正治秋田支部代表による挨拶、加藤純一氏の講演、懇談会会場。



1993年度

大盛況の大阪支部大会

●五月三日 奈良市・奈良県新公会堂
出席者 100名

支部代表 平塚和義

新緑に映える若草山のふもとの会場は日本調の建物で、周囲の景色と調和して素晴らしい雰囲気を感じさせる。

大会は宇野秀樹の司会で始まり、続いて日本GAP会長・久保田八郎先生の大講演となつた。今回は「マインド世界から意識世界」と題するもので、要旨は次のとおりであつた。

人間の進歩とは書物を読むことではなくて人生体験を通じて悟ることである。我々には無限の選択肢が与えられているが、どれを選ぶかは自分の内部に宿る宇宙の意識に従うこと。四つの感覚器官に頼つてはいけない。

これを実践する方法として、リアル自分（本当の自分）と、シャドウ自分（もう一人の自分）がいて、シャドウ自分がリアル自分を観察する方法がよい。また豊かな生活をするためにはイメージ法と反復思念を絶えず実践して、これに慣れること。草花を見ても視覚で表面だけを見るのではなく、生き物とみてテレビシーで呼びかけて、花の反応を待つようとする。その他、アダムスキー問題に関連して先生の身辺に発生した不思議な出来事を数件話す。

された。今回の先生のご講演はイメージが大きく変わって、非常に密度の濃い内容であった。

会場内も熱気に満ちながら静肅そのもので、先生のご講演内容を全身で吸収しようという熱意が皆さんに満ち溢れていた。

夜の夕食会も総勢八〇名の大盛況。その後の第二次会では名幹事・井原嘉彦が大活躍。ここではカラオケで終始して実に愉快だった。久保田先生の歌もたいしたもので驚いた。

翌日の観光は飛鳥サイクリングツアーレンゲの花が美しい田園風景の中を総勢六〇名が自転車で走行。吉川真帆が特別に作った色鮮やかなシンボルマーク旗を掲げて先頭を切る飛鳥路は

1. レンゲの花が美しい田園風景の中を総勢六〇名が自転車で走行。吉川真帆が特別に作った色鮮やかなシンボルマーク旗を掲げて先頭を切る飛鳥路は

大会は大阪支部が入魂の企画として全力を傾注した結果、空前の大成功をおさめた。特筆したいのは、半年前より準備した段階からスペーススピーピーの援助と思われる不思議な出来事頂いたことである。これで全員が勇気づけられて今後の支部活動に大いなる夢と希望を与えた。お世話になつた久保田先生、参加者の皆様方、スペーススピーピーに心から感謝致す次第です。

今回の大阪支部大会は地方支部の大會としては空前の大盛況であった。平塚代表を中心とする大阪支部の強固な團結力が存分に發揮された結果であろう。また代表の人柄も大きくものをいつているようだ。団体活動にとって中

心人物の統率力と人格が最強力な武器になることを痛感した次第。

私の講演の本当の題目は「マインド世界から意識世界へ」とする予定だつたが、これでは難解そうな印象を与えるので、表面的には「アダムスキーワーク」と不思議な出来事』とした。これは実際に副題であった。過去に私や他の人達が体験した不思議な事件を織り混ぜながらアダムスキーワークの真髄を平易に解説したつもりである。

講演中に東京本部役員の松村芳之君のカメラが異常をきたしたので「すわ、UFOか!」と同君が外に飛び出て撮影したら、やはりUFOが写っていた。

他の人たちにも奇妙な事がいろいろと起つたらしい。

謎の石として有名な『酒船石』は小高い丘の上にある。奇妙なすじが彫刻されたこの大きな石は古代に酒の醸造に使用されたという説がある。しかし私が受けた印象では酒とは関係なく、死後絶大な権力をふるつた蘇我馬子の墓といわれる。

翌日は快晴で絶好の行楽日和。エジプトの『王家の谷』に匹敵する古墳と遺跡だらけの飛鳥（正式には明日香村）一帯をレンタルの自転車で六〇名が周遊する。ただし私はタクシーで案内され遠藤昭則君も同様のことを言つていた。

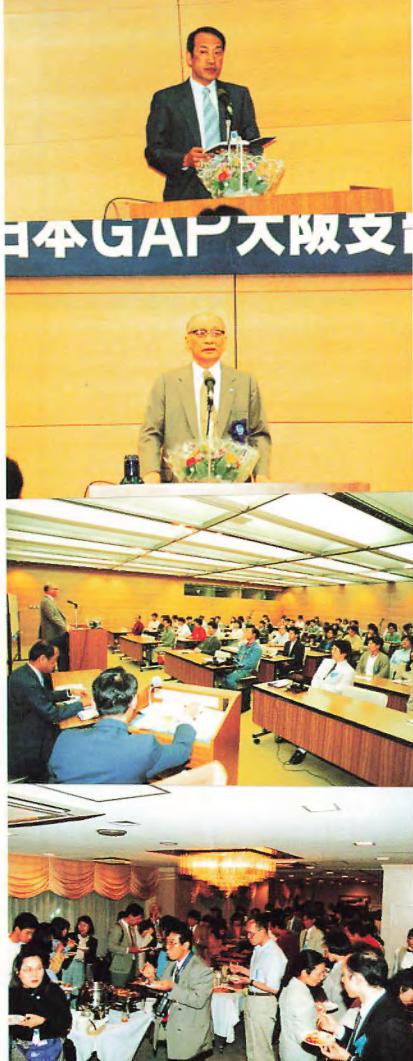
明日香村の岡に残る『板蓋宮』遺跡の草原地帯で一同昼食をとる。横暴を極めた蘇我馬子が中大兄皇子に暗殺され、大化改新的舞台になつた所だが、遠い過去の陰惨なイメージは蒼穹に消え去つて、美しい新緑と微風に包まれながら美味しい弁当を賞味する。

名高い高松塚古墳の壁画は閉ざされ魅力に満ちている。

ており、そばの壁画館で模写が公開されている。大きな絵かと思っていたが意外に小さい。人物の身長は約四〇センチ。女性の異様に長いスカートが印象的だ。現代にも通用しそうな堂々たるスタイルは唐の影響を受けているようだ。

驚いたのは明日香村島にある『石舞台古墳』。これは古墳を覆う土を除いて埋葬された遺体を納めた部屋をむき出しにしたもので、一個一〇〇トン近くの巨石群を積み上げた光景に啞然とするのみ。如何なる方法で運搬して吊り上げたのか想像もできない。七世紀始めに聖德太子と同盟し、太子の死後絶大な権力をふるつた蘇我馬子の墓といわれる。

日本GAP大阪支部



- ◀左上より
①平塚大阪支部代表の挨拶。
②久保田会長の講演。
③熱気に満ちた会場。
④夕食会。



- 右上より
①夕食会の一隅
②サイクリングツアー
③明日香村の石舞台
④板蓋宮遺跡で楽しい昼食。



本誌バックナンバー掲載記事目録

★下記の他に100号よりあります(102、103号なし)。ハガキでご注文下さい(代金後払い)。バックナンバーに限り送料不要。

No.121

平成5年1月25日発行 ￥900

- パロマー山にUFO出現 久保田八郎
宇宙ボタルはUFO
アダムスキー型円盤、超低空で東京をかすめる!
江戸川堤防の怪光体 鈴木 武
不思議な筒状の雲 沼倉孝彦
人間・イメージ・波動 佐々木八郎
驚異の超小型円盤と宇宙の永遠の活動 G.アダムスキー

No.120

平成5年1月25日発行 ￥900

- 宇宙的な信念と勇気を起こす方法 久保田八郎
二人の異星人からの忠告 辻 俊昭
テレパシーで植物を動かす方法 遠藤昭則
人間には生来テレパシー能力を持つ 堀江健一
夜空の不思議な“映像” 田辺優子
重力と宇宙の自然のパワー G.アダムスキー
モアイとUFOの島へ 伊東芳和

No.119

平成4年10月25日発行 ￥900

- 夜空に不思議な「U」の文字が出現 久保田八郎
私の超能力開発体験と異星人女性との出会い 佐々木八郎
瀕死の妻が宇宙哲学で奇跡的に全快 口ノ町一男
ミニミラクルワールドとイメージ法で腰痛が急速に治る 穴原美智子
神室山上空のUFO 沼倉 孝彦
UFO・異星人・地球人 G.アダムスキー

No.118

平成4年7月25日発行 ￥900

- イエスの実像と転生の法則 久保田八郎
計り知れぬ影響力をもつアダムスキー 中村省三
宇宙の意識とともに願望を実現させる方法 高梨十光
私のUFO目撃と不思議な体験 川野晶子
音楽は生命エネルギーを運ぶ 驚見 弘
UFO・異星人・地球人(1) G.アダムスキー
天地万物との一体化で長寿 塩屋信男

No.117

平成4年4月25日発行 ￥900

- 巨大宇宙船、デザートセンター上空に出現! 地球救済活動を続ける異星人(2) 秋山真人
飛行機を助けた謎のUFO 奇跡を起こす反復思念とイメージ法 久保田八郎
善だけを探し求めてテレパシーが発現 小川隆志
ひとりで物品が動く現象 大嶋順子
思いどおりに出現するUFO 中島直仁
ジョージ・アダムスキーと異星人(完) アリス・ポマロイ

No.116

平成4年1月25日発行 ￥900

- 地球救済活動を続ける異星人 秋山真人
南フランスの不思議なコンタクト事件 中村省三
奇跡的に願望を実現させる方法 テッド・オーウェン
病気治療の宇宙哲学的応用 高梨十光
ミラクル・ワードとミラクル・イメージ 久保田八郎
江東区上空のUFO 森田久恵
南九州支部からの声 曾我部勇人
プラザーズに助けられた? 藤沢清則
ジョージ・アダムスキーと異星人 アリス・ポマロイ

No.115

平成3年10月25日発行 ￥900

- アダムスキーとUFO問題の真相 ハンス・ピーターセン
金星表面に超長大な水路を発見!
28年ぶり宇宙からの帰還!?
突然消滅した10人の少年少女/
暗闇から現れた不思議な人々
円筒型の奇妙な物体を見る 服部哲雄
謎の飛行物体、米子に出現
UFOの色彩についての一考察 斎藤俊徳
UFOと古代マヤの謎 久保田八郎

No.114

平成3年7月25日発行 ￥900

- 日本GAP全国ネットワークテレパシーコール UFO観測会、大成功
北海道上空の物凄い光景 松村芳之
尽きぬ宇宙へのロマン 高木 澄
奇跡を起こす想念の力 遠藤昭則
私は巨大な円盤を見た! 松浦義教
タバヌイの謎の大爆発 ジャン・パジック博士

No.113

平成3年4月25日発行 ￥900

- ファティマの大円盤出現事件 久保田八郎
奇跡のベンダントと転生の法則 ハンス・ピーターセン
ティモシー・グッドのアダムスキー体験 中村省三
オーラ透視力開発法 遠藤昭則
壁画の奇跡 永山稔恭
江戸川区上空の巨大UFO 北館博子
クリスマス前のUFO出現 伊藤芳和
私のUFO自體体験 平井沙織
UFO-宇宙からの完全な証拠(完) ダニエル・ロス

No.112

平成3年1月25日発行 ￥900

- アダムスキー問題と日本GAP 久保田八郎
宇宙人の遺体はロボットだった! ハンス・ピーターセン
高度に進化した金星人の実態(完) G.アダムスキー
<真写>金星の不思議なスジ模様
青森県に頻発するUFO出現事件
UFO-宇宙からの完全な証拠⑭ ダニエル・ロス

No.111

平成2年10月25日発行 ￥900

- 高度に進化した金星人の実態 G.アダムスキー
金星から転生してきたイエスの大地へ 久保田八郎
長野県に出現した巨大母船型UFO 村田正道
美しいUFOが赤城山付近を飛ぶ 番場博次
松本市にもフットボール型UFO 茶谷健一
北海道に現れたアダムスキー型円盤 堀江健一
私のテレパシックな不思議人生 郡司典子
UFO-宇宙からの完全な証拠⑯ ダニエル・ロス

No.110

平成2年7月25日発行 ￥900

- UFOの正体と観測の仕方 本誌編集部
UFO・異星人とその遭遇体験記 藤本定雄
宇宙哲学で奇跡を起こして安全に生きる方法 久保田八郎
西郷隆盛の最期を透視 遠藤昭則
アダムスキー秘書との対話 向井 裕
アメリカGAP発足!(完) ダニエル・ロス
UFO-宇宙からの完全な証拠⑬ ダニエル・ロス

No.109

平成2年4月25日発行 ￥900

- 豊かで素晴らしい他の惑星と生命の連続 G.アダムスキー
UFO、朝霧高原に出現!
デザートセンター円盤着陸事件(2) 久保田八郎
強烈に輝くUFOを見た私たち 川野綾子
オーラ、宝石、超魔術、チャネラー 遠藤昭則/秋山真人
「アメリカGAP」発足! ダニエル・ロス
UFO-宇宙からの完全な証拠⑪ ダニエル・ロス



信念と希望と絶対に諦めない力を起こさせる 信念ミナリ

1993 GAP-JAPAN GENERAL ASSEMBLY 1993年度 日本GAP総会 〈開催予告〉

今年も日本GAPは下記の要領で盛大に総会を開催します。信念の固まりとして怒濤のパワーを發揮しながら超人的な活動を続けている久保田会長が、絶大な信念の力と勇気を起こさせる大講演を行ない、あらゆる人間に内在する偉大なパワーを引き出させます（会長のパワーを皆さん方に分け与えるではありません。皆さん方の内部に眠っているパワー自分で引き出す方法を伝えるという意味です。これが眞の人間発達です）。また役員が想念によって花を動かす実演、伊豆支部代表・高梨十光氏の有益な講話、大宇宙瞑想の実習、参加者全員によるテレパシー練習、質疑応答等、多彩なプログラムにより有意義な半日を過ごし、夜は大夕食会で歓談の花を咲かせて楽しい一夜を過ごします。年一度の大集会に多数ご参加下さい。役員一同あたたかくお迎えいたします。

日本GAP本部役員代表 篠 芳史

日本GAP総会 (予約不要)		大夕食会 (要予約)
●日 時=10月10日（2日連休の初日） 開場12:00／1:00開会	●日 時=総会終了後6:00→8:00（時間厳守）	
●会 場=機械振興会館 地下2階大ホール 東京都港区芝公園・東京タワー前 ☎03-3434-8216	●会 場=機械振興会館 6階65号室+66号室 (2部屋の壁を除去した大ホール)	
●交 通=都内 JR山の手線電車で浜松町駅下車（東京駅より三つ目）。 降りたホームを有楽町方向の端まで歩き、階段を降りると同駅の北口へ出ます（この駅から羽田空港へ行く大勢の人が同じホームの別の階段を登りますが、それを無視してホームの端まで行って下さい）。改札を出て駿馬の超高層貿易センタービルの正面前まで約50メートル行くと、東京タワー行きバス停留所があります。タワーまで約8分。料金180円。貿易センタービルの手前横にはタクシー乗り場もあります。タワーまで約5分。料金600円。タワー前の道路をへだてた所に機械振興会館があります。休日は会館正面の玄関は閉じられているので、右へ回って右側面の入口から入り、エレベーターで地下2階へ降りてすぐです。	●会 費=¥7500 会場受付で納入。（中高生割引なし。小学生以下は保護者同伴で無料） 料理豊富、ビール、酒、ウイスキー、ソフトドリンク等は飲み放題。	
●会 費=¥3,800 中高生¥2,000 小学生以下は無料。受付で納入。 ●プログラム=1:00 司会挨拶——篠 芳史 1:05 講演「信念と希望と絶対に諦めない力を引き出す方法と成功の秘訣」 (スライド映写付き)——久保田八郎 2:45 休憩 3:00 想念による花の応答実演——篠 芳史 出席者全員によるテレパシー練習（最高得点者1名に賞品贈呈） 3:30 休憩 3:40 私のGAP活動——高梨十光 4:00 質疑応答 5:00 閉会	●プログラム=6:00 司会者、会長挨拶。乾杯音頭=大阪支部代表 平塚和義氏。食事と歓談。 ※ご注意=大夕食会は立食形式で行ないますから自由に移動可能です。おおいに歓談し、旧交をあたためて下さい。余興は一切行ないません。飛び入り演芸禁止。この夕食会への出席は、ある程度きちんとした服装でお願いします。ラフな格好はご遠慮下さい。 ※二次会=9:00→11:00 大夕食会終了後、銀座8丁目の「椿茶屋（やぐらちやや）」で二次会を開催します。参加希望者はタワー前からタクシーで「銀座8丁目の三井アーバンホテル斜め前」と告げて直行の方が便利です。会費¥3,000程度まで。	
※ご注意=総会中のカメラ（ストロボ付き）やビデオによる撮影、テーブレコーダーによる録音等は自由ですが、会長の講演その他の発言内容の著作権は日本GAPに帰属しますので、日本GAP主宰者以外の個人または団体が無断で印刷物に使用することはできません。		宿 舎 (要予約)
<p>(1)大夕食会=ハガキに「総会後の大夕食会に出席予約」と書いて、住所・氏名・電話番号を明記の上、9月30日までに（必着）日本GAP宛お送り下さい。</p> <p>(2)宿 舎=「ホテル予約」と書いて、氏名・住所・電話番号・宿泊日・シングル／ツインの別を明記の上、宿泊料を現金書留で下記へ9月20日までに（必着）ご送金下さい。</p> <p>〒150 東京都渋谷区東3-24-9、サンイーストビル2F ワールドセブントラベル社 田中正（宛）</p> <p>(送金後にキャンセルした場合、宿泊日の15日前までのキャンセルなら全額返金しますが、14日前から7日前までの間なら20%、6日前から前前日までの間なら50%の取消料を差し引いて返金します。前日と当日のキャンセルの場合は全額返金不可能です。)</p> <p>(3)觀 光=ハガキに「観光参加希望」と書いて、住所・氏名・電話番号を明記の上、9月30日までに（必着）日本GAP宛お送り下さい。</p>		●ホテル=銀座キャピタルホテル（昨年と同じホテル） ●場 所=〒104 東京都中央区築地（つきじ）3-1-5 ☎03-3543-8211 ●料 金=シンプル ¥10,300 (朝食付、サービス料込み、税別。50室確保済み) ツイン ¥17,510 (" " 5室確保済み)
※ご注意=このホテルは団体予約ですから、必ずワールドセブントラベル社へ予約して下さい。		都 内 觀 光 (要予約)
<p>●日 時=10月11日（連休2日目）雨天決行 ●方 法=参加者全員を5~6名ずつの小班に分けて、本部役員2名が各班について誘導しながら全員一緒に行動。貸切バスを使用せず電車で移動します。</p> <p>●コース=9:00ホテル出発→東京駅（ここに不要荷物を預ける）→皇居前広場・二重橋→有楽町・銀座（しばらく自由行動）→浅草・仲見世（ここで昼食）→新宿（超高層ビル街の都庁展望台に登る）→東京駅（解散）。</p> <p>事情によってコースを変えることもあります。この観光は参加者と本部役員との懇親の機会でもありますから、語り合いながら楽しい一日をすごして下さい。</p>		
予 約 申 込		

絶賛発売中

※新アダムスキー全集全巻をまとめてご注文頂きますと定価の10%引き+送料がサービスとなります。

新アダムスキー全集

—全面改訂・改訳 全10巻—

久保田八郎・訳／各四六判



中央アート出版社・発行 〒104 東京都中央区京橋3-7-13 三成ビル5F ☎03(3561)7017 ●郵便振替 東京8-66324

超絶した大文明を持つ、太陽系の他の惑星群の人々とコンタクトしたアダムスキーを米政府機関は密かにマークしていた！ UFOや惑星群の驚異的実態と深遠な宇宙思想を伝える本全集は、地球人類に宇宙的覚醒の必要性と真の生き方を示す永遠の古典。UFOと宇宙哲学の研究者にとって必読の名著。旧全集を全面改訂した最新決定版。世界に類書なき金字塔！

アダムスキー

① 第2惑星からの地球訪問者

352頁・定価1980円

UFO研究家として世界的に著名なジョージ・アダムスキーの、1952年11月20日、米カリフォルニア州の砂漠に着陸した円盤から出てきた金星人ととの会見から始まる驚異的なコンタクト実録。著者みずから円盤や母船に乗り組み、他の惑星の超絶の大文明の実態を明かにする、本全集の中心の書。写真多数収録。

アダムスキー

② 超能力開発法（テレパシー、遠隔透視その他）

192頁・定価1300円

世間に氾濫する通俗的な超能力開発法とは根本から異なる宇宙的能力の発現法を説いたもの。目、耳、鼻、口、の四官をコントロールして、肉体内部の宇宙の意識から来るメッセージを感じし、真の意味でのテレパシー、遠隔透視その他の超能力を身につける方法を具体的に詳述。類書皆無の重要文献。

アダムスキー

③ 21世紀/生命の科学

208頁・定価1300円

アダムスキーが「他界する前年に出した12冊分の講座を一冊にまとめたもの。アダムスキー宇宙哲学の総括的な一大金字塔。特に人体細胞の実態と真実のテレパシー、及び靈界通信の誤り等を科学的に解説した超能力開発指導書。心霊現象への接近を警告する画期的な理論を明快に説く、第5巻の統編として必読のテキスト。」

アダムスキー

④ UFO問答100

216頁・定価1300円

1958年にアダムスキーは、世界中から来る質問の洪水を分類して質疑応答集を出した。全部で100問のUFO関係の質問に懇切な回答を与えている。現在の混沌した世界のUFO研究界に的確な示唆と回答を示すものとして、内容は今も驚くほど新鮮で有用である。UFO研究者の素晴らしいガイドブック。

アダムスキー

⑤ 金星・土星探訪記

380頁・定価2400円

アダムスキーが母船に乗せられて、想像を絶する進歩をとげた金星と木星を訪れた体験記。特に金星人の少女として生まれかわった亡き妻メリーとの劇的な対面が圧巻。第2部には1958年以来、日本におけるアダムスキーの代理人として啓蒙活動に専念している久保田八郎宛の多数の書簡を収録。

アダムスキー

⑥ UFOの謎

262頁・定価1980円

UFOの推進原理をはじめ、聖書とUFOとの関連などを詳述して様々なミステリーを解明した重要な文献。第2部はアダムスキーの世界講演旅行記で、各國GAP網の活動状況が克明に描かれていて1960年代のUFO研究界の実情と一般人の宇宙観がよく理解できる。第1巻の統編。

アダムスキー

⑦ 21世紀の宇宙哲学

148頁・定価1030円

地球人が真に宇宙的な成長をとげるための基本的思想として、マインド（心）と肉体内部に宿る宇宙の意識との一体化を説いた書。既成のあらゆる宗教や哲学では理解し得なかった人間の意識と万物との関係を説いて21世紀の思想を先取りした。第5巻、6巻と合わせてアダムスキー哲学の三部作をなす。

アダムスキー

⑧ UFO・人間・宇宙

370頁・定価2400円

アダムスキー支持活動団体として世界のトップクラスをゆく日本GAPの機関誌に掲載された、アダムスキーのUFOと宇宙哲学関係の論文、講演録等を編集。他界する直前の最後の講演が圧巻。第2部には訃音・久保田八郎が再三渡米してアダムスキーの今は亡き高弟たちと接したインタビュー記事を収録。

アダムスキー

⑨ UFOの真相

320頁・定価1980円 1991年4月刊！

アダムスキーの歴史を受けた人々の論説・講演録等を収録。宇宙的実像と人間味豊かな庶民性をあわせもつ偉人の素顔を多角的に描写。ア氏の高弟アリス・ボマロイ、キース・フリットクロフト、ハンス・ピーターセン、金星文字を解説して画期的な永久モーターを開発したバジル・バン・デン・バーグらの証言が白眉。「サンビエトロ大寺院の異星人」と題する久保田八郎の体験記も興味深い。

アダムスキー

⑩ 超人ジョージ・アダムスキー

232頁・定価1300円

壮大な新アダムスキー全集の最後をしめくる完結篇。アダムスキーの宇宙的な活動と深遠な哲学を集約して伝えるとともに、彼の伝記をも加えてこの1人の人間像を克明に描か。これ1冊でアダムスキー問題の何たるかが理解できる全集のコンパクト版。豊富な写真入り。国際的なアダムスキー研究家・久保田八郎が書き下ろし執筆。

UFO—宇宙からの完全な証拠

480頁・定価2800円

ダニエル・ロス著／久保田八郎訳

アメリカの気鋭UFO研究家ダニエル・ロス氏が全力で展開したUFO問題の真相。月、惑星探査結果に関するNASA(米航空宇宙局)の隠蔽工作を暴露し、アダムスキーの体験の真実性を科学的に実証した画期的な内容の本書は、UFOの研究者のみならず、宇宙科学に関心あるにもかかわらず有益な知識情報の源泉となる。写真多量収録。



全国書店で絶賛発売中

UFO・遭遇と眞実

★久保田八郎著

四六判・264頁
美麗カヴァー付

¥1,500 送料 250

かつて本誌に掲載された驚異的なUFO事件を8件選び、わが国UFO研究界の第一人者・久保田八郎が新たに書き下ろし読みやすく編纂した本書は、類書がないほどに不可思議な事件に満ちています。実証主義をつらぬく著者が各事件現場を検証、体験者や証人達に直接会って徹底的に調査した結果、眞実そのものであると確認した事件のみを流麗な筆致で活写。豊富な写真・イラストとあいまって読者を遙かな惑星群に誘う稀有の保存資料です。

(内容)

- ①関東大震災中に人々を救出した円盤（横浜の世にも珍しい大事件）
- ②東京タワーから目撃されたUFOと搭乗員（東京の晴れらしい目撃体験）
- ③超低空に降下した円盤と、手を振る異星人少年（高松市の驚異的事件）
- ④旭川市郊外の夜空に展開した物凄い光景（上富良野の仰天現象）
- ⑤UFOに乗ってエジプトまで飛んだ少年（松山市の物凄い事件）
- ⑥熱烈な願いに応えて出現したUFOを撮影（東京でのテレパシ一体験）
- ⑦尾道市に出現したアダムスキーモード（尾道市の偶発事件）
- ⑧円盤や母船に乗って別な惑星へ行ってきた！（秋山眞人氏の超絶的体験）



■書店で品切れの際は下記へ郵便振替か現金書留で直接ご注文下さい。

中央アート出版社 〒104 東京都中央区京橋 3-7-13 三成ビル ☎03-3561-7017 振替・東京8-66324

*上記の書籍は日本GAPでも取扱います。著者の署名捺印入り。ハガキでご注文下されば代金到着後払いにて直送します。

英文版「UFO contactee」No.8 発行 日本GAP

B5判／12頁／コート紙使用／¥500 送料¥175／3冊まで¥250

世界のUFO研究界で絶賛をあびている英文版ユーコン誌は、いまや各国の研究団体や個人研究家から注文が殺到、ロシアや南太平洋のフィジーあたりからも問い合わせがあるほどです。これは、小冊子ながら内容はきわめて重要な情報に満ちており、他に類似専門誌がないからです。No.8は「イエスの実像と転生の法則」の英訳、アダムスキーモードの講演、その他の記事、写真を満載。英語学習用にも最適。ぜひお求め下さい。(ただしNo.1～No.3は品切れです。)

日本GAP機関誌・季刊	編集発行人	UFO contactee	秋季号
一九九三年七月二五日発行	元13 東京都江戸川区本一色	久保田八郎	122号
※本誌掲載の全記事・写真共、他の印刷物	振替	4-3-3-6-5-1-12-A-8	1-0-9-5-1-2-8
※本誌価格九二七円(本体九〇〇円)・送料210円	郵便局	G-P	K

編集後記



▼本号は金星文字解説による反重力モーター開発特集号としました。むかしばん・デン・バーグによって開発されて以来、誰も手をつけていないと思われていた金星文字解説が、意外にも私たちの身边で行なわれていたという事実は一種の驚異です。これでアダムスキーモードの問題は、地球の運命を根底から揺るがすほどの大問題を含んでいることがわかります。

▼UFOは依然として出現しつつあります。思いがけぬ場所で一般人によって目撲されると、UFOなるものには本來誰にも見られる「普遍的なもの」と言えますが、本号の各レポートの執筆者をみると、何か特殊なカルマを持つ人が特によく目撲するようですね。形而上の問題を考えさせられますね。

▼アダムスキーモードの哲学はまさに宇宙の法則そのものと言えますが、その裏には異星人のテレビジョンが骨組みをなしているように思われます。四つの感覚器官のコントロールといふのは、かつていかなる宗教哲学も言及しなかつた理論です。何かもう素晴らしいメリットが潜んでいるようです。

▼UFO目撃報告、UFO写真、超能力開発、体験、宇宙哲学研究実践、宇宙科学等の原稿や資料を募集しています。原稿書きの苦手な方は面談して取材します。ふるつてご応募下さい。

▼本誌は多数のヴォランティアにより全国の主要書店に卸されています。この活動に参加希望の方はハガキでお申し込み下さい。説明書をお送りします。

平成5年度
日本GAP全国月例セミナー案内

支部名	日 時	会 場	会 費	プログラム・テキスト
東京本部	毎月第1日曜日 午後1:00→5:00 ※10月は総会のため月例セミナーは中止。	港区芝公園3丁目5-8「機械振興会館」地下3F第2研修室。 ☎03-3434-8216。JR浜松町駅下車。東京タワーの正面前。 連絡先=日本GAP本部 ☎03-3651-0958 ※日曜日は正面玄関が閉じられているので、右へ回って建物の右側面の入口から入る。	会場費 ¥1000 セミナー受講料 ¥1500 計¥2500	1:00→1:30 会員による講演。 1:30→3:00 久保田会長による講義。 テキスト=5月より「生命の科学」 3:10→5:00 超能力開発練習／近況報告／質疑応答。
大阪支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	大阪府吹田市出口町4丁目「吹田市民会館」 ☎388-7351。JRまたは阪急電車吹田駅下車。 連絡先=平塚和義 ☎06-436-3478 平成4年1~10月=「尼崎市立産業婦人会館」兵庫県尼崎市東大物町1-1-2	¥500	東京月例会における久保田会長の講義録音テープを公開。 テキストその他=東京本部に同じ。
新潟支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	新潟市東万代町9「新潟市青年の家」(万代市民会館と同じ建物) ☎025-246-7711。JR新潟駅より徒歩5分。 連絡先=星 富治夫 ☎02579-2-5562	¥500	同上
名古屋支部	毎月第2日曜日 午後1:00→4:30 ※9月のみ第1会議室に変更。 10月のみ第3日曜日の17日に変更。	名古屋市中区金山1丁目5番1号「名古屋市民会館」特別会議室。 ☎052-331-2141㈹。 JR東海・名鉄・地下鉄の金山橋より徒歩5分。 連絡先=林 国宣 ☎0586-45-6468	¥300	同上
仙台支部	毎月第3日曜日 午後1:10→4:20 ※当分の間、月例セミナーは中止。	仙台市青葉区米ヶ袋1-1-35「仙台市片平市民センター」会議室。 ☎022-227-5333。仙台駅からお靈屋橋経由動物公園方面バスで約7~10分。東北大正門前下車、真向かいの建物。 連絡先=笠原弘可 ☎022-284-2910	¥300	同上
山形支部	毎月第1日曜日 午後1:00→5:00 ※日時は変更があるため、毎月月例セミナーの前に柴田宛電話で問い合わせること。	山形県天童市老野森1丁目1-1「天童市中央公民館」 ☎026-54-1511。天童駅から徒歩10分、タクシー4分。天童市役所の裏側。 連絡先=柴田光明 ☎0233-25-3261	¥300	同上
札幌支部	毎月第1日曜日 午後1:00→4:30 ※日時・会場は不定につき、高野宛問い合わせすること。	中央区北一条西13丁目「札幌市教育文化会館」会議室。 ☎011-271-5821。 連絡先=高野省志 ☎011-783-6393	¥500	同上
旭川支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	旭川市五条4丁目「旭川ときわ市民ホール」3F 302研修室 ☎0166-23-5577 連絡先=川上三秀 ☎0166-61-0044	¥500	同上
沖縄支部	毎月第4日曜日 午後1:00→4:30	具市川市栄野比1213-1「具志川市野外レクセンター」会議室。 ☎09897-2-7722 連絡先=里 孝人 ☎098-869-9964	¥500	同上
秋田支部	毎月第2日曜日 午後1:00→5:00	秋田市八橋運動公園1-2「中央公民館」趣味の間。 ☎0188-24-5377。 連絡先=伊藤正治 ☎0188-62-2831	¥500	同上
横浜支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00 ※8月のみ第2日曜日の8日に変更。	横浜市中区万代町2-4-7「横浜市技能文化会館」7F 703号室。 ☎045-681-6511。JR 関内駅、地下鉄・伊勢崎長者町駅より徒歩3分。 連絡先=清水 正 ☎03-5951-3518	¥500	同上
茨城支部	毎月第4日曜日 午後1:20→5:00	水戸市梅香1-2「三の丸公民館」小集会室。 ☎0292-24-6600。水戸駅北口より徒歩10分。 連絡先=清水勝一 ☎0292-73-1903	¥300	同上
長野支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	塩尻市大門7番町「塩尻総合文化センター」第1会議室。 ☎0263-54-1253。 連絡先=博田文喜 ☎0263-58-8510	¥500	同上
紀南会	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00 ※日時と会場については小川宛問い合わせること。	和歌山県新宮市新宮6682-1「新宮市福祉センター」1F相談室。 ☎0735-21-2760。JR 西日本新宮駅下車、徒歩5分。 連絡先=(副代表)小川隆志 ☎0735-32-2834	¥300	同上
栃木支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	鹿沼市市役所裏「御殿山会館」1F 小会議室。 ☎0289-64-4334。JR 鹿沼駅から西へ1.5km、東武新鹿沼駅から北へ1.5km、市内行きのバスに乗り天神町下車。徒歩5分。 連絡先=渡辺克明 ☎0289-62-3319	¥500	同上
南九州支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	指宿市東方12000番地「指宿市民会館」 ☎0993-22-4105 連絡先=鶴田清則 ☎0993-25-3252	¥500	同上
高松支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00 ※日時と会場は変更があるため、閑宛に問い合わせること。	高松市番町1-8-22「高松市立市民会館」会議室。 ☎0878-39-2888。JR 高松駅より徒歩15分。 連絡先=閑 高明 ☎0875-72-2698	¥400	同上
伊豆支部	毎月第1日曜日 午後1:00→4:30 ※日時は変更があるため事前に高梨宛電話で問い合わせること。	静岡県三島市一番町20-5「三島市民文化会館」第3会議室。 ☎0559-76-4455。三島駅より徒歩3分。 連絡先=高梨十光 ☎0558-72-7832	¥500	同上

オーソン肖像写真

新アダムスキー全集第1巻に出てくる金星人の肖像。目撃者アリス・ウェルズ女史のスケッチにもとづいて女流画家ゲイ・ベッソンが描いた等身大の油絵の写真。10.5cm×17cm。

¥1,000 送料 ¥120

ESPカード

超能力開発練習用としてアメリカのデューク大学で開発されたカード。5種類の図形カード各5枚ずつ、計25枚1セット。堅牢な厚紙製。重さ40gの軽量。5.7cm×8.9cm。ポケットに入れて携帯するのに便利なので、どこでも気軽に練習できます。

¥1,600 送料 ¥175

GAPキーホルダー

多数の方の要望にお応えして制作したオリジナル・キーホルダー。シンボルマークの周囲を「WITH COSMIC CONSCIOUSNESS(宇宙の意識とともに)」の金文字が取り巻く優雅なデザイン。メタル部分は径3.2cm、全長9cm。

¥1,900 送料 ¥120

ブックカヴァー

新アダムスキー全集のカヴァー用に作られたものですが、同じ大きさの四六判の書籍ならどれにも利用できます。表側の中央にシンボルマークと「宇宙の意識とともに」という意味の英文が金色で箔押しされた濃紺色の優美なデザインです。人造皮革製。

¥1,200 送料 ¥175 5枚まで ¥250



金星のシンボルマーク

中央の眼は万物を見透すパワーをあらわし、周囲の4層の星は人間のマインド(心)の発達状態をあらわしています。9.3cm×8.8cm。

¥500 送料 ¥62

テレフォンカード

日本GAP特製テレフォンカードの第6弾。1952年11月20日、米カリフォルニア州デザートセンターでアダムスキーがコンタクトした金星人が、地面に残した靴の跡の不思議な图形を今回は取り入れました。これは今も謎のままになっています。

¥1,500 送料 10枚まで ¥62



会員バッジ

金星のシンボルマークが金色に輝く優雅なデザイン。表面の透明樹脂がキズを防ぎ、光を反射してキラキラ輝きます。男性用は裏の留め金が心棒ネジ留め式。女性用は安全ピン式。ご注文の際は、いずれかを明記して下さい。実物径1.7cm。

¥2,000 送料 4個まで ¥120

GAPシール

シンボルマークを「宇宙の意識とともに」の英文が取り巻く優雅なデザインのシールです。黒地のため黒カバンや黒い物に最適。色物の品物にも似合います。

¥200 送料 10枚まで ¥62



新アダムスキー全集★★★★記・著者 久保田八郎のサイン・捺印入り!!★★★★

中央アート出版社刊の新アダムスキー全集を日本GAPでも取り扱います。各巻とも扉に久保田八郎の直筆サインと捺印を入れてお届けします。全巻注文の割引はありません。送料はご注文内容によって異なりますので、ご注文の際は書籍代のみご送金下さい。書籍発送の際、送料の請求書と振込用紙を同封します。ハガキでご注文下されば代金あと払いでお送りします。(電話によるご注文はご遠慮下さい)

申込先

までに約1週間かかります。この欄の商品はすべて消費税は無関係です。

〒133 東京都江戸川区本一色1-12-1-511
日本GAP 振替・東京4-35912 ☎03-3651-0958

日本GAP能力開発テープ

●日本GAP東京月例セミナー

毎月開催される東京本部月例セミナーから、久保田会長の「生命の科学」解説講義と質疑応答のその他を録音したもの。これを聴けば絶大な信念と勇気がわきあこり、人生の荒波を超えて成功をめざして堂々と前進できます。

●テープ①

〈内容〉久保田会長による新アダムスキー全集第3巻「生命の科学」の講義。近況報告付

●テープ②

〈内容〉会員による講演、超能力開発練習。質疑応答。※1990年以前のバックナンバーあり。往復ハガキでお問い合わせ下さい。

●1992年度日本GAP総会

2巻セット ￥2700 送料 ¥250

〈内容〉久保田会長講演「宇宙的な信念と勇気を起こす方法」質疑応答。

申込先 品名「〇年〇月分」「個数」「お名前・ご住所・電話番号」等を明記の上、郵便振替でお申し込み下さい。



日本GAPビデオ

臨場感溢れる画像があなたを会場に引き込み、宇宙的な一体感を起こします。全巻VHS。

●東京本部月例セミナー

全1巻 ￥4000

〈内容〉久保田会長の解説講義、他、約120分。

●日本GAP総会

全2巻各 ￥3000

〈内容〉毎年開催される日本GAP総会を完全収録。(1989年度分から在庫あり)

●日本GAP海外研修旅行

全1巻 ￥3000

〈内容〉旅行のハイライトをまとめた楽しいビデオ。(1989年度分から在庫あり)

●1992年度デザートセンター調査行

全1巻 ￥3000

〈内容〉1952年11月20日、アダムスキーが金星人とコンタクトした地点その他の調査した記録。

送金はビデオ 1本￥360。2本以上3本まで￥670。4本以上7本までは距離に応じて変わります。

ご注文の際は品名、0年0月分、上下巻の区別、個数、住所氏名、電話番号を明記の上、郵便振替でお申し込み下さい。

〒162 東京都新宿区富久町36-18 富久マンション103

伊東芳和 振替・東京4-13811 ☎03-3351-9526

申込先

申込先 品名「〇年〇月分」「個数」「お名前・ご住所・電話番号」等を明記の上、郵便振替でお申し込み下さい。

〒133 東京都江戸川区本一色1-24-3-202

松村芳之 振替・東京0-162644 ☎03-3653-9387

先着500名様限り

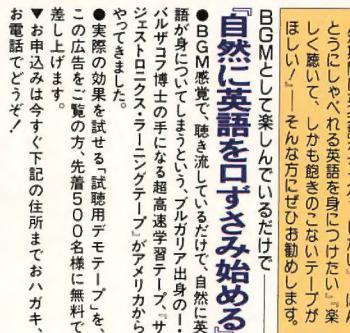
超高速英語学習 無料進呈

試聴用
デモテープ

自然に英語を口ずさみ始める

●BGMとして楽しんでいるだけで、自然に英語が身についてしまうという、「ブルカリ」出身の方へ。
●実際の効果を試せる「試聴用デモテープ」を、この広告をご覧の方、先着500名様に無料で差し上げます。

お申込みは、今すぐ下記の住所までおハガキ、お電話でどうぞ。



サブリミナルテープ®無料進呈!

サブリミナルテープ®の美しい音楽をBGMとして聴くだけで—
あなたの人生が変わる!

1.2.3のいずれかをお選び下さい。

サンプルテープ1 ●テーマ名=リラクセイション

●効果=心身の安らぎ・ストレスコントロール・大脳の活性化。●イラした時、勉強の前、気分が乗らない時などに聴くと効果的。

サンプルテープ2 ●テーマ名=マッサージ

●効果=心身の安らぎ・疲労回復・大脳、全身の血行促進。●疲れた時、風呂上がり、夜眠れない時等に聴くと効果的。

サンプルテープ3 ●テーマ名=記憶力高める

●効果=記憶力の向上。頭が冴えない時、勉強の前等に聴くと効果的。●繰返し聴く事により記憶力が徐々に向上していく。

●「記憶力・集中力強化」「魅力的性格」「学力向上」「減量」「心のやすらぎ」「最高の頭脳」等々を努力なしに現実のものにしてくれる「アメリカからやってきた「サブリミナルテープ®」がNHK等でも紹介された話題になっています。

●実際の効果を試せる「試聴用サンプルテープ」(心身の安らぎ・頭脳の活性化・記憶力の向上に効果あり)を、この広告をご覧の方、先着500名様に無料で差し上げます。今すぐおハガキ、お電話でお申込み下さい。

サブリミナルテープ®は、ストレスを解消し、気分をさわやかにする特殊な音楽で、特定の効果をもたらす「耳に聴こえない周波数に変換された心理的メッセージ」を同調させた特殊な音楽テープ。BGMとして聴き流しているだけ、自然に潜在能力が開発されたり、理想的な習慣が身につきます。試聴用サンプルテープ®と同時に能力開発「心身の健康」「性格の改善」等の各シリーズの案内書をお送りいたします。

能力を飛躍的に引き出す最終兵器
クリアなデジタルサウンドで潜在意識をダイレクトに刺激

更なる自己実現 サブリミナルCD

コンパクト・ディスク

*アメリカでは年間50万本以上の爆発的大ヒット! 全米の研究機関でも実証済み!!★

知能活性新シリーズとしてCD版登場!

多数のお客様より好評を頂いておりますサブリミナルテープシリーズ、従来はカセットテープのみの販売でしたが「是非ともCD化して欲しい」と数多くのお客様の声を頂き、その要望に応えるべく研究を重ねついにサブリミナルCDの開発に成功致しました。よりクリアなサウンドで音楽とともに更に楽しめるだけでなく、潜在意識の層で眠っている自分の本来の能力を引き出します。あなたのサウンド・コレクションの一つに加えて頂ければ幸いです。

特別特典サービス!

サブリミナルビジュアルサポート
ビデオソフト付

■ 頒布会方式 (5回目の発送時にビデオ1本同封)

商品代金4,800円×6回+送料・梱包代700円

■ 一括お届け方式 (発送料・CD6枚+ビデオ1本)

商品代金25,800円+送料・梱包代700円

(※ 各方式とも消費税は別)



知能活性新シリーズであなたもスーパーマンに!!

知能活性新シリーズは超人に変身する目的で開発されたサブリミナルCDのことです。超人に変身することは、従来ほんのわずかしか使用されていなかった能力を自覚させ、それを最大限に活かし能力的超人に変身させることです。そのためのCDが次にあげる6枚です。

① 基本知能の自覚め ② 総合知能の向上

③ 記憶能力の強化 ④ 脳波(アルファ波)強化
⑤ 思考力を身につける ⑥ 独自才能を目覚ませる
ご観頂いた通り異なる6つの角度から知能の活性化を行いビジュアルで能力開発を更にサポートします。自分の才能を伸ばし活躍されたい方にとっては、まさにピッタリのテーマです。

試聴用サンプルテープ・デモテープ、又はサブリミナルCD購入をご希望の方は、

住所・氏名・年令・職業・電話番号を明記の上、「無入希望」と左記までおハガキか、お電話の方は下記までお申込み下さい。(今回のお申込みでお届けたテープ・案内書等の返品義務や商品購入の義務は全(ありませんので安心してお申込み下さい。))

お電話でのお申込みは **0120・363・002** 受付時間AM8~PM23
(日・祝日も受付中)

○○○○希望

41

郵便はがき
元107

東京都港区南青山
アメリカライリー社
1904係

- 住所
- 氏名
- 電話番号
- 年令
- 職業